令　和　５　年　度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　恵泉会

－　目　　次　　－

① 恵泉会法人本部	1	～	10	ページ
② 障害者支援施設若草園	11	～	16	ページ
③ 障害者支援施設若生園	17	～	23	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	24	～	28	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	29	～	38	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	39	～	43	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	44	～	48	ページ
⑧ 就労継続支援Ｂ型さくらワークス	49	～	51	ページ
⑨ 多機能サポートセンターこじか	52	～	59	ページ
⑩ 南方保育所	60	～	64	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	65	～	68	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	69	～	73	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	74	～	80	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	81	～	86	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	87	～	91	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	92	～	96	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	97	～	102	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	103	～	107	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	108	～	114	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	115	～	120	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	121	～	126	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	127	～	132	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	133	～	135	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	136	～	141	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	142	～	146	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	147	～	151	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	152	～	156	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	157	～	159	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	160	～	164	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	165	～	169	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	170	～	173	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	174	～	178	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	179	～	183	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	184	～	186	ページ
【事故報告関係】				
㉟ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告			187	ページ

令和5年度
恵泉会法人本部　事業報告

【　　概　　要　　】

1．基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

2．利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者に選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

（1）各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。

（2）各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、令和4年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。

（3）情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌（2回）を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット（財務諸表等電子開示システム）とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。

（4）サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。

（5）若草園、若生園、若葉園において、宮城県ICT設備等導入支援事業補助金を活用して、介護ロボットの追加整備やウェブ会議用の機器を整備するなど、利用者サービスの向上及び職員の業務効率化を図りました。

3．経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

（1）令和5年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。

（2）日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。

（3）LPガス、灯油、重油、ガソリン等の燃料価格の高騰に伴い、宮城県の「障害福祉施設原油価格・物価高騰対策事業補助金」、「宮城県高齢者施設エネルギー価格高騰対策事業補助金」を申請し、補助金を財源として経費の負担軽減を図りました。

4．職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ9回開催しました。

5．職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

6．恵泉会創立50周年記念事業

令和5年5月21日、恵泉会は法人創立50周年を迎えました。
50周年を迎えた令和5年度、法人設立の当初から陰(かげ)に陽(ひなた)にお世話になった皆様へ感謝をお伝えし、さらに未来に向けた繋がりをより一層深めることを目的として各種記念事業を開催しました。

～実施した主な記念事業～

（1）恵泉会創立50周年記念式典
日　時：令和5年10月26日（木）13：00～15：40
会　場：登米祝祭劇場大ホール
参加者：招待者、関係機関、恵泉会役員・職員、記念講演一般聴講者
内　容：感謝状贈呈、記念講演（慈眼寺住職　塩沼亮潤 大阿闍梨）

（2）50周年記念誌（社史）の発行
編集・発行：社会福祉法人　恵泉会
印刷・製本：株式会社DSG（仙台市）
発行年月日：令和6年3月25日
発行部数：350部
主な内容：50年のあゆみ、祝辞、寄稿文、対談企画、事業所紹介 など

（3）創立50周年記念キャンペーンロゴマークの制定







【コンセプト】
50の文字をアイコン化し、文字の中に笑顔を配置。二つの笑顔が寄りそう姿は、恵泉会の基本理念をイメージしたもの。コンセプトカラーには、オレンジ色を採用。次の50年に新たに向かう恵泉会のエネルギー、そして福祉が持つ本来の意味である「しあわせ・幸福」を表す色であると考えました。
「福祉＝しあわせ」。そしてこれからは、さらに皆様の「しあわせ」を「笑顔」に変えていくことを使命とした恵泉会のイメージアップとブランディングの向上に繋がるデザイン。令和5年1月～令和6年3月31日まで使用しました。

＜活用例＞　記念品やポスター、名刺、車両用ステッカー、各種印刷物 など

（4）恵泉会ホームページのリニューアル
編集・管理：社会福祉法人恵泉会
構成・制作：有限会社キューポイント（東京都）
主な変更点 ①お知らせ機能の充実（50周年事業や各拠点の取り組み等）
②50周年特設ページの開設
③法人概要および事業所紹介ページの充実
④各種申込や問い合わせ、職員採用エントリーに関するオンライン窓口の開設
⑤情報発信手段の拡充（SNSサービスとの連携）
⑥個人情報保護およびセキュリティーの強化

7．地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

1）講師等派遣事業の実施
2）社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
3）オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施

8．恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和5年度は6名が研修を修了しました。

9．新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化リスクが高いといわれている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等においては、感染者が発生すると重大な事態となるおそれがあります。
このため、恵泉会では、職員それぞれが新型コロナウイルス感染症について正しい理解を持ち、国や自治体からの通知・通達に基づき、適切な感染症対策を実施しました。

（1）感染の疑いについてより早期に把握できるよう、施設長・管理者が中心となり、利用者及び職員について毎日の検温を実施するなど、健康状態の把握に努めました。

（2）感染経路の遮断という観点から、緊急やむを得ない場合を除き面会を制限する等の対応を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、一定の条件のもとで対面による面会を再開しました。

（3）利用者や職員が新型コロナウイルス感染症を発症した施設・事業所においては、「宮城県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金」、「宮城県障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業費補助金」を活用し、サービスを継続して提供するために必要となるかかり増し経費等の財源としました。

【行事・研修・会議・委員会等】

1．行事

(1)会務

年 月 日	内　　容
R5.04.04	辞令交付式
R5.04.18	南寿荘空調設備改修工事現場説明会（南寿荘）総括主任
R5.04.28	登米市委託事業履行確認（東和高齢者福祉施）総括主任
R5.05.11	ほたるの郷パッケージエアコン入替工事現場説明会（ほたるの郷）総括主任
R5.05.30	（仮称）南方認定こども園新築工事設計業務技術提案書（プロポーザル）に係るヒアリング審査
	審査員：理事長・常務理事・理事3名・参事・南方保育所施設長
R5.05.31	辞令交付式
R5.06.01	辞令交付式
R5.06.07	令和4年度決算に関する法人監事・監査法人打合せ
	恵泉会監事2名・理事長・常務理事・参事・総括主任
R5.06.17	恵泉会介護職員初任者研修開講式（迫風園）受講者4名
R5.06.22	東和高齢者福祉施設リース車両納車・検査（東和高齢者福祉施設）総括主任
R5.06.26	南寿荘空調設備改修工事完成検査（南寿荘）常務理事・総括主任
R5.07.04	就職ガイダンス（蔵ジアム）主任・副主任・事務員
	ほたるの郷パッケージエアコン入替工事完成検査（ほたるの郷）常務理事・総括主任
R5.07.13	南方町新高石浦土地境界確認（南方認定こども園建設予定地）常務理事・参事
R5.07.28	宮城労働局によるヒアリング
R5.07.31	辞令交付式
R5.08.30	令和5年度定年退職者再雇用説明会（対象10名）
R5.08.31	辞令交付式
R5.09.15	辞令交付式
R5.09.26	松風園食器洗浄機納品・検査（松風園）総括主任
R5.09.29	辞令交付式
R5.10.02	辞令交付式
R5.10.11	社会福祉施設等災害復旧費に係る机上調査（仙台市）参事・総括主任
R5.10.28	恵泉会介護職員初任者研修修了式（迫風園）修了者4名
R5.11.06	恵泉会永年勤続者表彰式　30年勤続表彰7名・20年勤続表彰5名
	登米市子ども・子育て会議（登米市南方庁舎）常務理事
R5.11.07	社会福祉施設等災害復旧費に係る机上調査（仙台市）参事・総括主任
R5.11.10	社会福祉施設等災害復旧費に係る机上調査（仙台市）参事・総括主任
R5.11.14	介護用ベッド納品・検査（松風園・萩風園・迫風園・南風園）総括主任
R5.11.28	松風園空調設備更新工事完成検査（松風園）常務理事・総括主任
R5.12.01	辞令交付式
R5.12.28	仕事納め
R6.01.04	仕事始め
R6.01.17	登米市子ども・子育て会議（登米市南方庁舎）常務理事
R6.02.16	障害者雇用納付金事務説明会（迫公民館）総括主任

R6.03.04	令和6年4月1日付け採用内定者入職説明会(対象者12名)
R6.03.21	登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)総括主任
	登米市委託事業(支援ハウス)見積合わせ(登米市南方庁舎)総括主任

※恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会(R5.10.09実施予定)は雨天のため中止

(2)採用関係

年 月 日	内 容
R5.05.08	職員採用試験(随時試験-介護支援専門員・介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者2名
R5.06.09	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R5.07.14	職員採用試験(随時試験-看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R5.09.01	職員採用試験(随時試験-看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R5.09.01	令和6年4月1日付け職員採用一次試験(看護職員・保育士・介護職員・事務員)<書類審査>受験者8名
R5.09.11	令和6年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員・保育士・介護職員・事務員)<筆記試験・人物審査>受験者7名
R5.09.14	職員採用試験(随時試験-介護支援専門員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R5.09.19	令和6年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員・事務員)<筆記試験・人物審査>受験者5名
R5.11.10	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R5.11.10	令和6年4月1日付け職員採用試験(保育士・事務員・介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者3名
R5.12.18	令和6年4月1日付け職員採用試験(保育士)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.01.22	令和6年4月1日付け職員採用試験(介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.02.19	令和6年4月1日付け職員採用試験(看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.02.26	令和6年4月1日付け職員採用試験(看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.02.29	令和6年4月1日付け職員採用試験(管理栄養士)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.03.11	令和6年4月1日付け職員採用試験(看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名

(3)法人創立50周年記念関係

年 月 日	内 容
R5.04.14	50周年記念誌座談会(会場:ゆりの郷)
R5.10.26	法人創立50周年記念式典(会場:水の里ホール)

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R5.04.24	人事考課者研修(新任研修)	理事長 常務理事 参事	対象職員8名
R5.07.12	新任職員研修	理事長 常務理事 グループホーム施設長 松風園施設長	対象職員15名
R5.09.01	人事考課者研修(現任研修)	経営企画メンバー	対象職員13名
R5.11.21	経営・管理職研修 「経営分析及び経営改善のポイントの研修会」	あすの監査法人 公認会計士2名	対象職員21名
R5.11.24	第44回恵泉会職員研修大会 職員発表撮影会 ※職員発表はインターネット環境を活用し、録画映像を各拠点に配信	新型コロナウイルス感染症対策のため、講演の部は中止	―
R5.12.18	職員フォローアップ研修	理事長 仙台青葉学院短期大学 佐藤和美氏	対象職員24名
R6.01.29	次世代リーダー研修	社会福祉法人あけぼの会 町田大介氏 若草園統括施設長	対象職員28名

R6.02.21	経営・管理職研修 「経営分析及び経営改善のポイントの研修会」	あすの監査法人 公認会計士2名	対象職員14名
随時	ケアマネジャー試験対策講習会　全12回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ11名
随時	介護福祉士試験対策講習会　全16回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ50名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.05.12	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R5.06.08	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	登米市	参事
R5.06.23	宮城県社会福祉法人経営者協議会 定期総会・セミナー	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R5.08.29	宮城県社会福祉法人経営者協議会 都道府県経営協セミナー	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R5.09.20	接遇研修会	福利厚生センターソウェルクラブ	ウェブ研修	事務員2名
R5.12.14	福祉サービスの苦情解決に関する研修会(第三者委員対象)	宮城県社会福祉協議会	ウェブ研修	第三者委員2名
R6.01.25	宮城県社会福祉法人経営者協議会 都道府県経営協セミナー	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R6.02.21	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事

3. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 数	参　　加　　者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	9回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・法人本部

(2) 理事会

開 催 日	内　　容
R5.04.27	第1回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R5.06.09	第2回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 令和4年度　恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議 監査報告 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 新たな期間の理事、監事候補者の選定について審議 報告事項 寄付金の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R5.06.27	第3回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 理事長の互選について審議 常務理事の互選について審議 社会福祉法人恵泉会特別養護老人ホーム入所規程の一部改正について審議

開 催 日	内　　容
R5.07.12	第4回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第1号)について審議
	業績手当の支給について審議
	基本財産の処分について審議
	評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
R5.08.10	第5回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	業績手当の支給について審議
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第2号)について審議
	社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R5.09.25	第6回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第3号)について審議
	不動産の取得について審議
	社会福祉法人恵泉会ヘルパーステーション運営規程の一部改正について審議
	報告事項
	社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R5.12.11	第7回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	業績手当の支給について審議
	社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第4号)について審議
	社会福祉法人恵泉会利用者預り金管理規程の一部改正について審議
	報告事項
	中間監査の報告について
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
	寄付金の報告について
R6.01.29	第8回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	社会福祉法人恵泉会慶弔規程の一部改正について審議
	義援金の支出の承認について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R6.03.07	第9回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議
	土地の取得について審議
	社会福祉法人恵泉会特別養護老人ホーム南風園運営規程の一部改正について審議
	義援金の支出の承認について審議
R6.03.15	第10回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	業績手当の支給について審議
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第5号)について審議
	施設長の任免及び配置換えについて審議
R6.03.25	第12回　(出席者:理事6名/6名　監事1名/2名)
	決議事項
	令和5年度　恵泉会収支補正予算(第6号)について審議
	社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会南方デイサービスセンター南寿荘運営規程の一部改正について審議
	役員賠償責任保険契約について審議

(3) 評議員会

開 催 日	内　　容
R5.06.26	定時評議員会　(出席者:評議員8名/8名　理事6名／6名　監事2名/2名) 報告事項 　令和4年度恵泉会事業報告について 　令和4年度恵泉会会計決算(計算書類及び財産目録)について 　令和4年度宮城県指導監査の指摘事項及び改善状況について 決議事項 　理事の選任について審議 　監事の選任について審議
R5.07.21	第2回評議員会　(出席者:評議員7名/8名　理事6名／6名　監事2名/2名) 決議事項 　基本財産の処分について審議

(4) 評議員選任・解任委員会

開 催 日	内　　容
無	

(5) 監査会

実 施 日	実　施　施　設　・　事　業　所	監　　査　　員　　等
【令和4年度決算監査】		
R5.05.09	松風園・百楽荘	恵泉会監事
R5.05.10	光風園・ゆりの郷	〃
R5.05.12	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R5.05.16	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R5.05.18	迫風園・翠風荘	
R5.05.19	ほたるの郷 こじか	〃
R5.05.22	南風園・南寿荘	〃
R5.05.23	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R5.05.25	若草園・若葉園	〃
R5.05.26	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R5.05.29	若生園・さくらワークス 法人本部・取りまとめ	〃
【令和5年度中間監査】		
R5.11.27 R5.11.29	全施設・事業所(書面監査)	恵泉会監事

(6) 会計監査人監査

開催日	内容	実施拠点区分	会計監査人
R5.8.22～ R5.8.23	令和5年度監査計画打合せ 令和5年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士2名
R5.11.20～ R5.11.21	令和5年度会計監査人監査(第2回)	〃	〃
R6.2.20～ R6.2.22	令和5年度会計監査人監査(第3回)	〃	〃

(7) 内部監査

開催日	内容	実施拠点区分	内部監査人
無			

(8) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
無		

(9)創立50周年記念事業関係

開催日	内容	場所	出席者
R5.05.12	法人創立50周年記念事業検討会議(全16回)	在宅サービス支援棟	理事長 常務理事 参事 グループホーム施設長 光風園施設長 職員2名
R5.10.13	法人創立50周年記念式典拡大実行委員会	在宅サービス支援棟	理事長 常務理事 参事 グループホーム施設長 光風園施設長 職員2名

(10) 各種工事等打合せ

開催日	内容	場所	出席者
【南寿荘空調設備改修工事】			
R5.05.16	工事打合せ	南寿荘	常務理事 総括主任
【ほたるの郷パッケージエアコン入替工事】			
R5.05.31	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【松風園空調設備更新工事】			
R5.10.05	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【迫風園キュービクル改修・空調設備改修設計打合せ】			
R6.03.25	設計打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【南方認定こども園設計打合せ】			
随時	設計打合せ(全17回)	在宅サービス支援棟 ウェブ会議	常務理事 参事 総括主任 南方保育所施設長 設計業者

（11）その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	老人施設長部会（全12回）	各特別養護老人ホーム	参事
随時	障害事業施設長等会議（全11回）	在宅サービス支援棟	障害サービス事業施設長・総括主任
随時	恵はあと・ヘルパーステーション・遠山荘・とよま介護支援センターサービス検討会議（全5回）	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 恵泉会介護支援センター施設長・各事業所管理者
随時	慶弔規程等検討会議（全3回）	在宅サービス支援棟	参事・こじか施設長 光風園施設長 迫風園施設長
随時	経営企画会議（全2回）	在宅サービス支援棟	常務理事・グループホーム施設長・光風園施設長・松風園施設長・迫風園施設長・法人本部職員2名
随時	NP事業に関する打合せ（全2回）	在宅サービス支援棟	常務理事 参事 総括主任

4. 委員会開催状況

開催日	内容	場所	出席者
R5.04.24	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 参事 グループホーム施設長
R5.06.01	第1回地震防災対策委員会	ウェブ会議	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R5.06.02	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部3名
R5.06.16	第2回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長 常務理事 若草園統括施設長 グループホーム施設長
R5.06.21	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	若草園統括施設長 松風園施設長・ほたるの郷施設長 南風園施設長・委員2名
R5.08.09	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 グループホーム施設長 委員13名・法人本部3名
R5.09.29	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 法人本部2名 委員15名（ウェブ出席）
R5.09.29	第3回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 グループホーム施設長 松風園施設長 法人本部1名
R5.10.16	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員14名・法人本部3名
R5.11.21	第4回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	若草園統括施設長 グループホーム施設長 松風園施設長
R6.02.05	第5回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 グループホーム施設長 松風園施設長

R6.02.05	第2回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 委員18名・法人本部3名

5．各種サービス評価実施状況

実施日	実施施設	評価員等
【令和5年度施設サービス評価】		
R5.11.22	萩風園・菊風荘	恵泉会第三者委員
R5.12.08	東和・東和デイサービス	〃
R5.12.12	松風園・百楽荘	〃
R5.12.15	迫風園・翠風荘	〃
R5.12.19	光風園・ゆりの郷	〃
R6.01.11	若草園・さくらワークス	〃
R6.01.12	若生園・若葉園	〃
R6.01.16	ほんわか・遠山荘	〃
R6.01.18	南風園・南寿荘	〃
R6.01.19	ほたるの郷	〃
R6.01.23	こじか・南方保育所	〃
R6.01.24	恵泉会グループホーム	〃
R6.01.30	パルめぐみ・キッズつぼみ	〃

令和5年度
障害者支援施設若草園　事業報告

【　基　本　方　針　】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人がその人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携・協働し、法令遵守もと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、健全な運営に努めるようにしました。また、地域で生活している障害（児）者や家族の福祉ニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会に応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

【　重　点　項　目　】

1.＜一般原則の遵守＞

運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。

①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適正かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供しました。

②利用者の意思及び人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めました。

③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じました。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞

①非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成するように努めました。

②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していましたが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として国や県からの通知等に合わせて対応しました。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成するように努めました。

③権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施しました。また、虐待防止の為の研修も同様に実施しました。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践してきました。

3.＜適切な介護＞

①高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めました。また、情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めました。また、職員の負担軽減や、ご利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を導入・拡大し活用しました。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成しました。

4.＜連携及び協働＞

①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討しました。

②「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるように努めなければなりません。よって、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たしました。

③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めました。

1. 年間延べ利用人員　　21,336 名(施設入所支援)　　15,115 名(生活介護)
2. 年 間 稼 働 率　　97.16 %(施設入所支援)　　93.30 %(生活介護)
   (目 標 稼 働 率　　98.00 %　　96.00 %)
3. 年間平均障害程度区分　　区分 4.76 (施設入所支援)　　区分 4.79 (生活介護)
4. 月 別 利 用 状 況

施設入所支援事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	30	31	30	31	31	0	0	0	0	0	0	0	153
区 分 4	808	829	779	775	755	750	782	780	803	763	722	772	9,318
区 分 5	570	549	540	613	614	609	651	630	647	648	609	641	7,321
区 分 6	330	340	356	403	402	390	403	390	403	402	353	372	4,544
計	1,738	1,749	1,705	1,822	1,802	1,749	1,836	1,800	1,853	1,813	1,684	1,785	21,336

生活介護事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	27	28	26	28	29	6	6	3	2	6	6	6	173
区 分 4	531	553	508	519	503	491	521	517	536	510	462	510	6,161
区 分 5	418	410	396	459	459	448	483	462	483	483	441	477	5,419
区 分 6	242	253	264	299	299	289	301	286	299	299	255	276	3,362
計	1,218	1,244	1,194	1,305	1,290	1,234	1,311	1,268	1,320	1,298	1,164	1,269	15,115

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退 所 者 数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
月末入所者数	59	58	58	59	59	60	60	60	60	60	58	58	－2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.4.10 R5.4.11	お花見	若草園食堂・地域交流スペースにて、男性と女性の二回に分けてお花見を実施しました。	利用者 55名 職員 10名
R5.5.10	端午の節句	男性は活動棟A・女性は食堂に集合し実施。魚釣りゲーム、風船バレー、輪投げゲーム等をし、ほぼ全員参加で楽しまれました。	利用者 54名 職員 10名
R5.5.19	創立記念日お祝い会	法人の創立50周年に合わせて、行事食を提供。理事長からの記念メッセージを上映し、その後管理者及び副主任から一人ひとりの利用者に記念品を贈呈しました。	利用者 54名 職員 9名
R5.5.30	若生園若草園交流会	若生園でコロナ陽性者が出ているため、分かれて実施しました。体操やカラオケで体を動かした利用者の方々は、多少ストレスの発散につながったものと思われます。	利用者 54名 職員 8名
R5.6.30	レクリエーション大会	コロナ禍でご家族と一緒に行う行事ができない状況が続いてきたが、やっと実施でき、ご家族もご利用者も一緒に楽しい時間を過ごされました。	利用者 54名 家族 27名 職員 21名
R5.7.28	スイカ割り	夏の風物詩であるスイカ割りを行い、全利用者に夏の味覚を楽しんでいただきました。	利用者 57名 職員 8名
R5.8.2	BBQ/花火大会	BBQや花火を行いながら、季節を感じ、他の利用者との交流が深められました。	利用者 20名 職員 4名
R5.8.24	法人創立50周年記念・4事業所合同夏祭り	若草園開園50周年記念、米川4事業所合同の夏祭りを開催。50年間利用している利用者には感謝状を進呈。ボランティアの協力も得て盛会に行われました。	利用者 56名 ボランティア 34名 職員 19名

R5.9.21、29	秋の紅白歌合戦	男女別でカラオケ大会を実施。多くの利用者の参加もあり楽しい時間を共有できました。	利用者　56名 職員　10名
R5.10.18	ハロウィン	ハロウィンという季節行事を通じて、季節を感じ楽しい時間を過ごしました。	利用者　57名 職員　8名
R5.11.17	秋を喜ぶ会	日中活動で栽培したさつま芋で焼き芋を作り、その味覚を楽しみ、季節を感じていただきました。	利用者　58名 職員　8名
R5.11.16	けいせんかいフェスティバル	法人内の障害関係施設事業所合同の行事を体育館で実施。久しぶりの対面での行事でステージ発表もあり、利用者の方々も楽しまれていました。	利用者　58名 職員　14名
R5.12.20	クリスマス忘年会	男子活動棟、女子食堂にて、季節行事としてのクリスマスを実施。1年間の労をねぎらい、楽しい時間を共有できました。	利用者　59名 職員　9名
R6.1.12	新年会	新年を健康で迎えられたことに感謝し、会食をしながら楽しく過ごしました。	利用者　54名 職　員　9名
R6.2.2	節分・年祝い	邪気を払う豆まきをしました。また、年祝いの方や還暦を迎える方を利用者と職員でお祝いしました。	利用者　56名 職　員　6名
R6.3.4	ひなまつり	ひなまつりということで歌やひなまつりにちなんだクイズ、茶話会を通して季節感を感じていただきながら楽しく過ごしました。	利用者　56名 職　員　8名

【短期入所事業サービス、他】

1. 年間延べ利用人員　511 名
2. 年 間 稼 働 率　34.90 %
   (目 標 稼 働 率　43.00 %)
3. 年間平均障害程度区分　3.83
4. 月 別 利 用 状 況【短期入所事業】 (年間延べ利用人員　511 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	6	2	0	2	2	2	0	0	0	0	0	14
区 分 3	18	21	21	21	22	21	17	26	14	16	20	19	236
区 分 4	6	3	12	10	6	13	11	13	5	9	7	10	105
区 分 5	18	18	18	18	10	7	8	8	8	12	8	0	133
区 分 6	0	0	4	4	4	4	3	0	0	0	0	4	23
計	42	48	57	53	44	47	41	47	27	37	35	33	511

5. その他の障害福祉サービス
   月 別 利 用 状 況【日中一時支援事業】(年間延べ利用人員　94 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登 米 市	1	5	2	0	2	1	3	1	2	1	2	1	21
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗 原 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	0	6	9	7	6	7	8	7	7	5	7	4	73
計	1	11	11	7	8	8	11	8	9	6	9	5	94

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講 師 (講 演 者)	参　加　者
R5.4.3	利用者小遣い管理と処理	副主任	職員4名
R5.4.27	コンプライアンス研修	統括施設長	職員24名
R5.5.31	業務継続計画(BCP)について	管理者	職員9名
R5.6.1	食中毒予防	管理栄養士	利用者54名、職員6名
R5.6.26	自閉症スペクトラム	職員(えくぼ)	職員3名
R5.7.24	強度行動障害	職員(えくぼ)	職員3名
R5.7.25	障害児者支援ワーキング交換研修	体験施設(若生園)	職員1名
R6.8.29	感染予防(ガウンテクニック)	准看護師	職員6名
R6.9.21	権利擁護研修(身体拘束)	統括施設長	職員8名
R6.9.28	権利擁護研修(虐待防止)	支援員兼サビ管	職員3名
R5.10.31	白十字(おむつ他介護用品)研修	白十字社員	職員7名
R5.11.22	リスクマネジメント研修	副主任	職員7名

R5.12.12	障害児者支援ワーキング交換研修	体験施設(こじか)	職員1名
R6.12.26	苦情解決研修	副主任	職員8名
R6.1.18	非常食の取扱い	管理栄養士	職員6名
R6.2.15	感染対策について(ノロウイルス)	准看護師	職員11名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R5.4.21	宮城県知的障害者福祉協会総会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R5.5.12	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R5.5.17	令和5年度障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.6.6	障害福祉サービス事業所の新型コロナウイルス感染症対策研修会	宮城県	オンライン	職員1名
R5.6.7	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	オンライン	職員1名
R5.6.22	障害福祉サービス事業所等集団指導	宮城県	オンライン	職員1名
R5.7.5	令和5年度精神保健福祉基礎講座Ⅱ	宮城県	大崎合同庁舎	職員1名
R5.7.12	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	オンライン	職員1名
R5.7.25	サービス管理責任者等更新研修	宮城県	オンライン	職員3名
R5.9.12	サービス管理責任者等実践研修	宮城県	オンライン	職員1名
R5.9.21	令和5年度登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R5.10.12	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R5.10.24	令和5年度給食施設集団指導	宮城県石巻保健所	県登米合同庁舎	職員1名
R5.11.8	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R5.12.3	サービス管理責任者等基礎研修	宮城県	オンライン	職員1名
R5.12.22	令和5年度宮城県知的障害者福祉協会施設長会議	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.1.17	宮城県障害福祉課との意見交換会	宮城県	県庁7階	職員1名
R6.2.27	令和5年度地域リハビリテーション推進強化事業障害の理解啓発セミナー	宮城県	オンライン	職員1名
R6.3.7	令和5年度権利擁護研修会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.3.14	令和5年度地域リハビリテーション推進強化事業自立支援に向けたアセスメント研修	宮城県	オンライン	職員1名
R6.3.21	障害福祉サービス事業所等集団指導	宮城県	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	年13回	施設長・管理者・事務員・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	年12回	施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	年12回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
ケア会議 (年17回)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援ワーキング部会 (年11回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理責任者 各担当職員
入所調整会議 (年3回)	次期入所予定者(施設入所者)の実態調査後の入所可否を決定。	若草園	統括施設長・管理者・サビ管・看護師・管理栄養士・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネージメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	年10回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	ｻｰﾋﾞｽの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ｾﾞﾛ」の取り組みや検討。	年10回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生のメカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。マニュアルの見直し。	年3回	看護師・管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・生活支援員
防災・防犯委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
年11回	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・管理者
年2回	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
年4回	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
年6回	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
年3回	入所調整委員会	若草園	統括施設長・管理者・サビ管・看護師・管理栄養士・生活支援員
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	統括施設長・管理者

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.8.24	登米産業高校福祉科　2年生・生徒	夏祭り、出店等の手伝い	20 名
R5.8.24	米川よさこいサークル	夏祭り演芸ボランティア	10 名
R6.1.18	佐沼中学校キャリアセミナー	統括施設長が講師として参加	10 名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.10.24 R5.10.26	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	10 名	10 名
R5.11.7 R5.11.9	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	12 名	12 名
計			22 名	22 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1.＜一般原則の遵守＞

運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守します。

①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適正かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供します。

②利用者の意思及び人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。

③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じます。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞

①非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。

②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。

③権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の為の研修も同様に実施します。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践していきます。

3.＜適切な介護＞

①高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めます。また、職員の負担軽減や、ご利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を導入し活用していきます。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成します。

4.＜連携及び協働＞

①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討します。

②「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるように努めなければなりません。よって、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。

③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。

令和5年度
障害者支援施設若生園　事業報告

【　基　本　方　針　】

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者（児）や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

【　重　点　項　目　】

1.　〈一般原則の遵守〉
運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。
・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供しました。

2.〈利用者満足度の向上とサービス向上〉
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活が送れるよう支援しました。また、基本的な感染対策に努めながら、ご家族とのふれ合える機会（外泊や外出・面会等）をご本人やご家族の要望に近づけられるよう配慮し、喜びの声が多く聞かれました。
・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケートや意向調査等)を実施し、事業計画へ反映しし、利用者の満足度の向上やサービス向上に努めました。
・利用者様の日中活動として、外出・レクリエーション・行事(数年ぶりの演芸ボランティア依頼)など、個々の特性に合わせたものを提供し、楽しんでいただきました。機能訓練についても楽しみながら自立支援向上や残存機能の維持や一人ひとりの感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助しました。
・利用者の意思及び人格を尊重し常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めました。

3.〈安心・安全なサービスの提供〉
・非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成しました。
・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新型コロナウイルス感染症に関しては5類へとなり、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に福祉施設として、基本的な感染対策に努めてきました。
・権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待の防止の為の研修も同様に実施しました。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践してきました。

4.　〈適切な介護の提供〉
・高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めました。また、ワイズマンシステムへの情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めました。また、職員の負担軽減やご利用者の安全確保の観点から介護ロボット(見守り)を4機導入、ネットワークカメラ4機導入し活用しています。今後も見守り介護ロボットを多く導入していきたい。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成しました。
・高齢化(利用者50名中、60歳以上の利用者様が、内25名)や重度化が進んでいる現状をふまえ、利用者一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、ご利用者様にとってよりよい福祉サービスを提供出来るよう努めました。

5.　〈連携及び協働〉
・恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討しました。
・地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たしました。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員	18,084	名	(施設入所)	13,177	名	(生活介護)
2. 年 間 稼 働 率	98.82	%	(施設入所)	97.61	%	(生活介護)
(目標稼働率)	98.00	%	(施設入所)	98.00	%	(生活介護)
3. 年間平均障害程度	4.70			4.71		

4. 月 別 利 用 状 況

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	90	85	90	93	93	90	93	90	93	93	87	93	1,090
区 分 4	641	682	660	682	682	630	651	630	651	651	609	640	7,809
区 分 5	330	341	330	322	333	370	403	420	434	434	421	465	4,603
区 分 6	420	428	405	403	403	390	403	360	367	343	319	341	4,582
計	1,481	1,536	1,485	1,500	1,511	1,480	1,550	1,500	1,545	1,521	1,436	1,539	18,084

生 活 介 護 事 業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	66	59	66	69	69	66	69	66	69	69	63	69	800
区 分 4	459	493	475	494	497	453	473	453	472	471	433	456	5,629
区 分 5	242	253	242	233	243	273	299	308	320	320	306	345	3,384
区 分 6	307	313	292	299	299	286	299	264	268	253	231	253	3,364
計	1,074	1,118	1,075	1,095	1,108	1,078	1,140	1,091	1,129	1,113	1,033	1,123	13,177

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
退 所 者 数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
月末入所者数	50	50	49	49	49	50	50	50	50	49	50	50	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事他

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.04.20	お花見会	のど自慢の利用者の「春」歌披露を皮切りに、花柄に装飾した紙コップを使用したゲームを楽しみました。手先の精緻性が求められるゲームでしたが、個々に合わせて職員がお手伝いしたことで、会場にいた皆さんが楽しまれました。	利用者 49名 職 員 10名
R5.05.19	恵泉会創立50周年 お祝い会	恵泉会創立50周年を記念して、恵泉会松坂理事長からのビデオメッセージと恵泉会の歴史をたどる映像を、利用者・職員ともに懐かしみながら鑑賞しました。また、昼食は彩り豊かなお祝い行事食を提供。利用者の皆さんは、視覚と味覚の両面で食事を楽しまれました。利用者一人一人に記念品もお贈りし、皆さん大変満足された一日でした。	利用者 51名 職 員 11名
R5.07.13	WKE夏の歌謡祭	WKE夏の歌謡祭と題して、利用者が思い思いの歌を披露し、楽しみながらストレス発散しました。	利用者 49名 職 員 8名
R5.07.06	七夕会	ボッチャをベースにしたゲームを実施。事前に各利用者に書いていただいていた願い事が叶うかどうか、願いを込めたお手玉をそれぞれ順番に的に投げ入れて占いました。利用者の個性豊かな願い事は、概ね「叶うでしょう」という幸せな結果となり、笑顔あふれる心温まる行事となりました。	利用者 50名 職 員 10名
R5.07.28	スイカ割り大会	ビニールボールをスイカに見立てて、スイカ割りを実施。個性あふれるアイマスクやサングラスを装着した利用者の姿に、他の利用者も笑いが絶えませんでした。行事終了後には利用者に甘いスイカが振る舞われ、夏の味覚に舌鼓を打っていました。	利用者 50名 職 員 6名

R5.08.17	線香花火会	夕食後、居住棟正面駐車場にて実施。夏の風物詩である線香花火や手持ち花火を、入所利用者と短期入所利用者ともに楽しまれました。外に出るのが困難な利用者は棟内リビングから、打ち上げ花火を見て楽しまれ、皆で過ぎゆく夏を惜しみました。	利用者　51名 職　員　9名
R5.08.24	創立50周年記念 4施設合同 夏祭り	若草園を会場に、若草園・若生園・若葉園・さくらワークスの職員が協働して夏祭りを実施。若生園利用者をはじめとした各施設・事業所の利用者に、外部団体のよさこいや歌謡ショー、盆踊り、射的、かき氷を楽しんでいただきました。 若生園においては、障害の特性から会場で楽しむことが出来ない利用者もいましたが、若葉園・さくらワークスのご協力を得て、午後に若生園居住棟にて射的とかき氷の提供をしていただきました。そのおかげで利用者それぞれが夏祭りを満喫することが出来ました。また、記念品の特製タンブラーを利用者おひとりおひとりに贈呈。利用者からたくさんの喜びの声をいただきました。	利用者　49名 職　員　17名
R5.9.28	お月見会	夕食後、エントランスにて実施。お月様を見ながら、収穫に感謝し手を合わせました。利用者様方と、炭坑節や色々な歌を歌ったり、踊ったりし会は盛況でした。又、職員のダンスも披露し、利用者様方も身振り手振りで一緒にダンスを楽しまれました。	利用者　27名 職　員　14名
R5.11.2	ハロウィン仮装大賞	ストラックアウトの要領でお化けを退治するゲームを実施。簡単なルールとしたことで、多くの利用者が楽しまれていました。また、それぞれが思い思いの仮面を身につけて参加されており、非日常的な仮装を楽しんでいました。	利用者　47名 職　員　10名
R5.11.16	けいせんかい フェスティバル	久しぶりの集合形式にて恵泉会体育館で開催。若生園利用者も22名現地参加、28名の利用者は居住棟にてweb同時配信された現地の模様を視聴して参加されました。現地参加された方々はステージ発表トップバッターとしてジャンボリミッキーのダンスと名生さん歌唱による「ultra soul」で会場の雰囲気を一気に盛り上げました。名生さんはのど自慢大会でも「空も飛べるはず」で見事合格され、皆さんから大きな拍手をもらっていました。お昼は現地で焼きそば・豚汁・肉まんに舌鼓を打ち、各種ゲームを楽しむなどお祭り気分を堪能しました。	利用者　50名 職　員　16名
R5.11.28	食欲の秋＆運動の秋	秋の野菜や果物を模した物をカゴに投げ入れるゲームを実施。しゃがんで拾い上げ投げるという一連の動作を、楽しみながら行うことが出来、利用者はうっすら汗をかくほど運動になったようです。終了後は、自分たちで栽培し収穫したサツマイモを焼き芋にして、秋の味覚を味わいました。	利用者　49名 職　員　10名
R5.12.21	クリスマス忘年会	クリスマスの装飾に彩られたうぐいすユニットにて、多くの利用者にカラオケを楽しんでいただきました。利用者の歌に踊り出したり、職員と一緒に歌ったりされて時間が足りなくなるほどでした。カラオケ後はプレゼント争奪じゃんけん大会を開催。サンタに扮した職員が次に出すじゃんけんを宣言し、それを基に利用者の皆さんは次々と勝ち上がり、無事皆さんプレゼントを獲得して笑顔を見せていました。	利用者　48名 職　員　12名
R6.1.18	新年会	恵泉会OGの方をお招きして、山形大黒舞を披露していただき、華やかな新年会となりました。また、職員と利用者がペアになっての二人羽織は会場の笑いを誘い、新年らしい暖かな雰囲気となりました。	利用者　48名 職　員　12名
R6.2.1	節分豆まき	職員が変装した鬼へ新聞紙で作った豆をぶつけて、外へ追い払いました。年男・年女、厄年の利用者は、居住棟正面玄関で鬼と一緒に記念撮影をしています。また、還暦・年男・年女の利用者様をご披露し、お祝いしています。短時間で何度も投げる動作は、利用者にとっては薄ら汗をかくほど良い運動になったようです。	利用者　49名 職　員　12名
R6.3.1	ひなまつり会	ひな祭りコップピンボールゲームを実施。車椅子の方も楽しめるよう、ボールを任意の場所に置くだけという簡単なゲームでしたが、ボールの予想外な動きは見ているだけでも楽しめたようでした。また、前月に入所された女性利用者が「春よ来い」を歌ってくださり、大盛況のひな祭りとなりました。	利用者　50名 職　員　8名

【宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会企画行事】

R5.9.26	ジェスチャークイズ大会	宮城県内障害系事業所21カ所とwebで繋ぎ、ジェスチャークイズ大会に参加しました。スポーツや食べ物、動物・歌など、各事業所のジェスチャーと職員からのヒントをもとに皆さんで答えを導き出し、解答していました。解答率は6割ほどでしたが、ジェスチャーされた方々の動きに笑ったり感心したりして、参加された利用者も感性を刺激されたようでした。後日、参加賞として県内就労系事業所よりクッキーをいただきました。	利用者　24名 職　員　7名
R6.1.24	得意芸大会	得意芸大会参加にあたり、中村伸也さんの趣味である「写真」を3分ほどの動画にして、県内十数カ所の障害系事業所へ配信しました。また、他事業所利用者による得意芸も視聴。達者な芸の数々を、利用者・職員ともに感嘆の声を漏らしながら楽しみました。後日、参加した中村さんには運営本部から、参加賞(クッキー)をいただきました。	利用者　32名 職　員　8名

【短期入所者・日中一時サービス】

1. 年間延べ利用人員　487 名
2. 年間稼働率　33.27 %
（目標稼働率　40.00 %）
3. 年間平均障害程度　3.86
4. 月別利用状況　〈短期入所〉　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	33	31	30	0	0	0	0	2	2	0	2	0	100
区分3	0	0	0	0	0	2	4	4	3	0	0	0	13
区分4	16	10	6	31	30	20	10	11	11	14	10	18	187
区分5	0	0	0	3	2	2	2	3	4	2	0	0	18
区分6	4	0	1	5	0	12	12	10	8	8	6	4	70
その他	0	0	0	4	4	4	8	2	0	0	0	0	22
計	53	41	37	43	36	40	36	32	28	24	18	22	410

（1）短期入所　（年間延べ利用人員）　410 名　（稼働率）　28.01 %
（2）日中一時支援事業　（年間延べ利用人員）　77 名　（稼働率）　10.52 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R5.4.13～14 17,21,24 R5.5.16,18 R5.6.16 7．31	新任・異動職員研修 （BCP、権利擁護、小遣い管理と処理、ﾜｲｽﾞﾏﾝ入力の仕方、記録の仕方、 服薬管理・ガウンテクニック、急変緊急時の対応他）	管理者・看護師・サビ管	サビ管他4名
R5.6.13,20,23	コンプライアンスについて	統括施設長	管理者他18名
R5.6.26	自閉症スペクトラムについて	「えくぼ」職員	管理者他8名
R5.7.24	強度行動障害について	「えくぼ」職員	管理者他11名
R5.8.3	食中毒について	管理栄養士	利用者49名、職員6名
R5.9.25,27	感染症予防研修①	准看護師	サビ管他9名
R5.10.4,10,17	虐待防止・身体拘束等の適正化のための研修①	生活支援員兼サビ管	管理者他15名
R5.11.27	介護ロボット	あかね福祉・職員	生活支援員他5名
R5.12.12,15,22	事故防止・リスクマネジメント研修	Web研修・リスク委員長	生活支援員他12名
R5.11.21～12.10	感染症予防とまん延防止のための研修	Web研修・白十字	管理者他21名

R6.1.31	介護技術研修『視覚障害者の対応について』	管理者	生活支援員6名
R6.2.20	安全運転・安全衛生について	統括施設長	管理者他9名
R6.2.23～24	虐待防止・身体拘束等の適正化のための研修①	権利擁護委員長	生活支援員8名
R6.3.6　3.8	苦情・クレーム対応研修	管理者	生活支援員9名
＜法人内研修＞			
R5.7.13	新任職員研修	法人本部	生活支援員
R5.9.1	人事考課・現任研修	法人本部	主任
R5.12.18	フォローアップ研修（3年以上経過した職員）	法人本部	生活支援員
R5.12.18	フォローアップ研修	法人本部	生活支援員
R6.1.29	恵泉会次世代リーダー研修	法人本部	生活支援員兼サビ管
R6.2.21	恵泉会経営者研修（施設長・管理者対象）	法人本部	管理者
R6.3.4	恵泉会人事考課者者研修（管理職対象）	法人本部	管理者
＜交換研修＞			
R5.7.12	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	若葉園	生活支援員
R5.12.7	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	恵泉会グループホーム	生活支援員

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.4.17	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R5.7.14	コミュニケーション技術・対人援助研修（基礎）	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R5.8.4	アンガーマネージメント研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R5.9.21	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待関係)	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R5.9.29	社会福祉施設・中堅職員研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R5.11.2	第2回福祉サービス事業所の新型コロナ感染症対策研修会	宮城県	オンライン研修	職員1名
R5.11.30	東北フォーラム研修会	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市アエル	職員1名
R5.11.30	東北フォーラム研修会	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市アエル	職員1名
R5.12.1,4,15,22	サービス管理責任者基礎研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R5.12.11	秋田県大仙市へ施設見学(社会福祉法人　あけぼの会)		秋田県	職員1名
R5.12.22	宮城県知的障害者福祉協会　施設長研修	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.2.27	『障害者の理解啓発セミナー』障害の理ある方が健康であり続けるために	のぞみの園	オンライン研修	職員1名
R6.3.13	職場の業務改善・成果報告会	宮城県	オンライン研修	職員1名

2．会議開催状況

（1）定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	施設運営全般に関する協議	13回	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	12回	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	5回	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	11回	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
連絡会議	管理職・専門職でよりよい施設運営や福祉サービスの向上に向けて協議する。	若生園	管理職・専門職
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案 等(年2回)	恵泉会事務局	防火管理者(落合管理者)
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議する。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・主任・サビ管・栄養士・看護師・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年7回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上分析・サービス評価の自己評価、集計、報告等	年5回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る	年2回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み・研修等	年6回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡予防対策、研修や訓練企画等	年6回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備点検 等	年5回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
R5.6.1	恵泉会地震防災対策委員会	オンライン会議	防火管理者
R5.6.13	第2回 障害児者支援ワーキング部会	法人本部	主任
R5.7.11	第3回 障害児者支援ワーキング部会	若草園	主任
R5.8.9	第4回 支援スタッフ部会	県障害者福祉センター	主任
R5.8.17	第4回 障害児者支援ワーキング部会	若草園	主任
R5.9.13	第5回 支援スタッフ部会	県障害者福祉センター	主任
R5.9.25	第5回 障害児者支援ワーキング部会	若草園	主任
R5.9.27	障害児者支援・施設長会議	本部	管理者
R5.10.12	第6回 支援スタッフ部会	県障害者福祉センター	主任
R5.10.31	第6回 障害児者支援ワーキング部会	こじか	主任
R5.11.8	第7回 支援スタッフ部会	県障害者福祉センター	主任
R5.11.14	障害児者支援ワーキング部会(フェスティバル最終確認)	若生園	主任
R5.12.21	第8回 障害児者支援ワーキング部会	若生園	主任
R6.2.5	恵泉会地震防災対策委員会	本部	防火管理者
R6.2.19	第10回 障害児者支援ワーキング部会	若生園	主任
R6.3.11	第11回 障害児者支援ワーキング部会	若生園	主任

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.11.16	登米産業高校　福祉科2年生	けいせんかいフェスティバル ボランティア	17名
R6.01.18	菊池咲子様(東和町)	新年会 舞踊ボランティア	1名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.10.24～26	登米総合産業高校　福祉科2年生	介護実習	9 名	9 名
R5.11.7～9	登米総合産業高校　福祉科2年生	介護実習	12 名	12 名
		計	21 名	21 名

【今 後 の 取 り 組 み】

1.＜一般原則の遵守＞
①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適正かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供します。
②利用者の意思及び人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じます。
④地域移行及び施設外の日中サービスの意向確認は、サービス管理責任者を担当者として選任し、意向確認マニュアルの作成をし、それに基づいて実施するように努めます。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞
①非常災害対策→委員会に置いて、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（事業継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。
②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（事業継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症等の感染症に関しては、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、福祉施設として基本的な感染対策に努めるのはもちろん、今後も国や県からの通知等に合わせて対応します。
③権利擁護→委員会において、身体拘束の原則禁止の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の為の研修も同様に実施します。さらに「身体拘束」や「虐待」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した権利擁護についても実践していきます。

3.＜利用者満足度の向上とサービス向上＞
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活が送れるよう支援します。
・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケートや意向調査等)を実施し、事業計画へ反映し、利用者の満足度の向上やサービス向上に努めます。
・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立心と自律心の向上や残存機能の維持や一人ひとりの感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
・利用者の意思及び人格を尊重し常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。

4.＜適切な介護＞
①高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めます。また、職員の負担軽減や、ご利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を導入し活用していきます。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成します。
5.＜連携及び協働＞
①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討します。
②「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるように努めなければなりません。よって、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。
③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。

令和5年度
生活介護事業所パルめぐみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成17年4月1日
5. 利　用　定　員　　35 名

令和5年4月は契約者数58名でスタート、年間の動向は、6名が生活介護利用契約、3名が生活介護契約解除となりました。
利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均35.7名の利用となるなど、昨年度の34名を上回った形となりました。感染症の影響で利用控えする利用者や入院となった利用者も複数名いたことが一部数字として表れた中で、新規契約は6名となりましたが、契約解除となる利用者は3名となり、増減は+3といった状況でした。また、高齢の利用者は介護保険サービスと併用する方も増えてきました。
日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み（主に土曜日）のときに利用するという状況が続いており、1日当たり2.4人の利用と、昨年度の2.4人と同等の形となりました。
日中活動においては、感染症対策をしっかり行った上で外出や行事を実施しました。臨機応変に内容を工夫しながら、職員一丸となって「意思決定支援」を実現しようと取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1. 生活介護

入浴および排泄を必要とされる利用者個々の状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々の希望に応じて食事をできるようにと提供時間に幅を持たせています。また、感染症対策として1つのテーブルに多人数にならないよう調整したり、時間をずらすなどの対策を実施しました。強度行動障害の利用者には、専門的に学習した職員を中心に個別化した支援の強化を行うことで、対象者が過ごしやすい環境作りを行いました。

2. 健康管理

ICTによりバイタルの管理を行いました。健康状態に不安がある方については、1ヵ月毎の表やグラフで状態の把握に努めました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。新型コロナウイルスに関しては、送迎時の検温・手指消毒、乗車後の車両消毒、日中2回以上の検温、サービス提供後の施設内消毒など、マニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

3. 機能訓練・療法的活動支援

昨年度から1日2回の体操を継続して行ってきたことと、機能維持のためできるだけリハビリ体操を行いました。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、音楽を通じて心身のリフレッシュを図ることができました。

4. 活動機会の提供

創作活動では、季節の壁紙作りを主とし、アルバム作りも継続しています。園芸では季節の花以外にも、ミニトマトなどプランターで作ることができる野菜を植えました。趣味活動では毎年参加していた障害者による書道・写真コンテストに出展し、一定の成果を収めることができました。
昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、季節の移り変わりを感じることができています。毎年恒例のお花見以外にも、夏には夏イベント、秋には焼き芋、りんご狩りなどを実施しました。社会資源の活用として、社会見学はおよそ5年ぶりに総勢60名を超える大人数で実施し、仙台市科学館の見学と青葉城本丸会館での食事を行いました。
昨年度から恵泉会体育館を行事の際に利用しています。いつもと違った活動の場を利用者に提供できるよう工夫して行事を企画しました。利用者主体の活動を実現するため、活動の際には一人ひとりが選択できるよう複数の内容を準備するようにしました。利用者の自己決定を尊重し、活動機会を提供しました。

5. その他

今年度は迫支援学校の体験実習の受け入れをしました。

11月には障害福祉サービスに関わる全8拠点合同で「恵泉会フェスティバル2023」を恵泉会体育館で実施。集合型の大きな企画に、サービスの種類に関係なく多くの利用者が参加することができました。

清掃活動では希望する利用者を募り、長沼フートピア公園などの社会資源のゴミ拾いや落ち葉拾いを行いました。

毎年12月に行っているトーンチャイム演奏会を今年は実施。数年ぶりに登米市役所迫庁舎で行ってきました。市役所の方々と一緒にトーンチャイム演奏することができ、地域交流の場となりました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　11,018 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　101.9% %　（生活介護）
4. 年間平均障害支援区分　　4.13
5. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 2	0	8	9	9	8	9	9	8	8	8	7	9	92
区分 3	240	261	221	213	198	201	180	173	175	175	167	157	2,361
区分 4	416	456	431	434	458	443	480	447	459	464	446	449	5,383
区分 5	192	211	227	221	229	197	210	201	191	189	186	187	2,441
区分 6	62	62	60	62	63	59	64	61	66	64	60	58	741
計	910	998	948	939	956	909	943	890	899	900	866	860	11,018

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	6
契約終了者数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
月末契約者数	60	61	61	61	61	61	61	61	61	60	59	61	+ 3

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.4.4,5,6,10	お花見	南方千本桜、平筒沼の登米市の桜の名所を巡り、桜を鑑賞しながら団子を食べてきました。	利用者 53名 職 員 11名
R5.05.11	パルウォークスタンプラリー	豊里花の公園でスタンプポイントを目指して散策しながらスタンプを集めました。	利用者 36名 職 員 10名
R5.05.19	創立記念日お祝い会	法人創立50周年を記念し、行事食を計画。また、管理者から利用者代表に記念プレゼントも贈呈されました。	利用者 46名 職 員 11名
R5.06.07	スポーツ大会	恵泉会体育館で巨大風船バレー、的あてゴルフ、輪投げの競技をしました。	利用者 45名 職 員 10名
R5.07.19	社会見学	スリーエム仙台市科学館で暮らしの中の科学の体験や特別展「化石動物園」を見学してきました。	利用者 48名 職 員 16名
R5.08.09	夏イベント	「がらポン抽選会」「クッキングアイスクリーム射的」を行い、夏祭り気分を味わいました。	利用者 8名 職 員 11名
R5.09.06	アロマストーン作り	珪藻土パウダーを使用しドーナッツ型に流して固めたストーンにアロマオイルを染み込ませて作りました。	利用者 49名 職 員 11名
R5.10.04	50周年記念文化祭	法人創立50周年記念イベントとして計画。家族を招待してボランティアの舞踊を鑑賞したり利用者の作品を展示しました。	利用者 44名 職 員 14名
R5.11.16	恵泉会フェスティバル	恵泉会体育館で恵泉会の障害福祉サービスを提供する8拠点が集まり、パフォーマンスの宏湯屋カラオケ大会を行いました。	利用者 10名 職 員 3名
R5.12.19	トーンチャイム演奏発表会	登米市迫総合支所でクリスマスソングのトーンチャイム演奏を発表し、地域の方々と交流してきました。	利用者 8名 職 員 3名
R5.12.25	クリスマス会	装飾やレクリエーションでクリスマスの雰囲気を演出し、サンタクロースからはプレゼントを受け取りました。	利用者 42名 職 員 12名
R5.12.26	お正月飾り作り	門松、みずき飾り、鏡餅作りを行い、お正月の準備をしました。	利用者 39名 職 員 11名

R6.01.11	新年会	甘酒で新年を祝い、おみくじゲームでカラオケ、書き初め、今年の抱負を発表しました。	利用者 42名 職　員 11名
R6.02.02	節分	鬼退治レクリエーションと年男・年女の利用者さんが中心になって豆まきをしました。	利用者 42名 職　員 11名
R6.03.01	ひな祭り会	紙皿にひな人形のぬりえを貼って、フェルトボールト桃の花でひな祭りリースを作りました。	利用者 40名 職　員 9名

【その他の利用者サービス】　日中一時支援事業

1．年間延べ利用人員　752 名
2．年 間 稼 働 日 数　309 日
3．月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	66	65	65	57	56	67	71	62	55	55	61	59	739
	栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	南三陸町	2	1	0	0	2	1	1	1	0	1	0	0	9
	計	68	66	65	57	58	68	72	63	56	57	62	60	752
	稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
	利用者/日	2.7	2.4	2.5	2.2	2.1	2.6	2.8	2.4	2.2	2.4	2.5	2.3	2.4

（1）日中一時利用者　（年間延べ利用人員）　752 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年　月　日	内　容	講　師（講　演　者）	参　加　者
R5.4.17,18,19.	安全運転研修	サービス管理責任者	職員
R5.6.7	虐待防止研修	管理者	職員
R5.6.19	食中毒対策研修	栄養士	職員　利用者
R5.7.13	熱中症研修	看護師	職員　利用者
R5.8.24	リスクマネジメント研修	生活支援員	職員
R5.9.21	防犯研修	佐沼警察署	職員　利用者
R5.9.27	強度行動障害研修	生活支援員	職員
R5.10.4	権利擁護研修	サービス管理責任者	職員
R5.10.31	感染症対策研修	看護師	職員
R6.11.27	腰痛予防研修	看護師	職員
R5.12.19	コンプライアンス研修	管理者	職員
R5.12.22	虐待防止伝達研修	サービス管理責任者	職員
R6.3.11	メンタルケア研修	生活支援員	職員

（2）外部研修

年　月　日	内　容	開　催　地	参　加　者
R5.6.6	障害福祉サービス事業所等の新型コロナウイルス感染症対策研修会	オンライン	看護師
R5.6.14,15	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	オンライン	生活支援員
R5.6.22,23	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	オンライン	生活支援員
R5.8.7	コミュニケーション研修・対人援助技術研修（基礎）	オンライン	生活支援員
R5.9.21	登米市障害福祉サービス事業所等研修会	登米市市役所南方庁舎	生活支援員
R5.9.30	社会福祉施設中堅・監督職員研修	オンライン	サービス管理責任者兼生活支援員
R5.10.10,11	サービス管理責任者実践研修	オンライン	生活支援員
R5.12,1,4,12,21	サービス管理責任者基礎研修	オンライン	生活支援員
R5.12.07	他事業所業務体験研修	若葉園	生活支援員
R5.12.18	恵泉会フォローアップ研修	オンライン	生活支援員
R5.12.20	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	オンライン	サービス管理責任者
R6.1.29	恵泉会次世代リーダー研修	法人本部	サービス管理責任者兼生活支援員

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害事業施設長等会議・ワーキング部会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R5.05.18	A.Kさんケア会議	パルめぐみ	パルめぐみ、保健師、相談支援専門員、本人、家族など
R5.06.23	T.Oさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.06.23	F.Iさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.06.29	K.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.07.24	M.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R5.07.26	F.Oさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.08.09	R.Wさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.08.30	T.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R5.09.19	A.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、保健師など
R5.10.17	A.Sさんケア会議	津山支所	パルめぐみ、保健師、相談支援専門員、本人、家族など
R5.10.19	T.Oさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、家族
R5.11.06	R.Tさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R5.12.12	A.Cさん担当者会議	GH	パルめぐみ、GHサビ管、保健師、本人、家族
R6.01.12	Y.Hさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、GHサビ管、本人
R6.01.16	A.Sさん担当者会議	津山支所	パルめぐみ、保健師、相談支援専門員、本人、家族など
R6.02.01	M.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R6.02.05	Y.Aさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R6.02.06	T.Sさん個別支援会議	迫支援学校	パルめぐみ、福祉事務所、支援学校教諭、本人、母など

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に向けた取り組み	月1回	サビ管・生活支援員
虐待防止対策検討委員会・身体拘束等対策検討委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	月1回	管理者・サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	月1回	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	全2回	管理者・サビ管・事務員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.10.04	あすか流清美会 あすか清美様	50周年記念文化祭で舞踊ショー	6名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.1.15～19	迫支援学校様	現場等における実習	1名	5名
計				

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていき、地域の社会資源としてより多くの方々に利用してもらえるよう努めていきます。

また、通所を通して基本的生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。ICTによるデータ管理を行うことによって、利用者個々のデータ抽出が容易になったため、より素早いアプローチを目指していきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和6年度も継続します。
また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士等に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動、園芸活動など以外にも、タブレットを使った楽しみ方を学ぶことで楽しみ方のバリエーションを増やしていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、利用者一人ひとりがその人にあった楽しみ方ができるよう自己決定支援を意識していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

5. その他

良質なサービス提供を維持するため、アンケート調査やサービス評価の内容を重視していきます。関係機関や地域、家族との連携を大切にし、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動の様子を「パルめぐみブログ」や定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

令和5年度
恵泉会グループホーム ・ はせやま相談支援事業所 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地　登米市中田町浅水字長谷山352－2
2. 設 置 主 体　社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　平成18年10月1日（障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定）
5. 利 用 定 員　106 名 （※R5. 4. 1現在, 内、2名は体験利用枠）
6. 施 設 状 況 等

（ホーム数）19ホーム:25住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借
かりんホームⅡ（サテライト型）	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字錦	一戸建て	賃貸借
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借
わたの実ホームⅡ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借
くりの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰﾎｰﾑⅢ(ｻﾃﾗｲﾄ型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有

令和5年は恵泉会にとって創立50周年の節目を迎える記念すべき年でした。この50年の歳月を支えていただいた全ての方々へ『おかげさま』の感謝の気持ちを表現すると共に、次の50年に向けて、利用者様に対する支援のあり方を新しい視点で築いていくことを念頭に職員一丸となって取り組んでまいりました。

これまでも、【恵泉会を利用する方々のためのサービスを追求する】ことを目的に取り組んできた法人内障害児者のワーキンググループについては、次世代のリーダー育成や若手職員の経験の場の設定し、11月には4年ぶりの集合式での恵泉会フェスティバルを実施することが出来ました。創立50周年を記念した行事やイベントも企画・実施し、利用者様への『喜び』と『サプライズ』の提供ができるような仕掛けを推進してまいりました。また、令和5年5月8日より5類感染症へと移行した新型コロナウイルス感染症への対応や非常災害対策、それに伴うBCP（業務[事業]継続計画）の適宜見直し、利用者様の権利擁護等の推進についても継続して取り組み強化を図り、障害児者支援事業所が共通のスローガンとマスコットのもと、職員全員で同じ目標に向かって、思いやりのある喜ばれる支援と職員としての資質向上に向けて取り組みました。

利用者様の重度、高齢化対策の推進として、フレイル予防に向けた法人内介護保険事業所との連携強化を継続しています。また、重度障害者支援体制の構築としては、職員の専門講習を強力に進め、併せて虐待防止・身体拘束適正化などの取り組みについても、虐待防止・権利擁護委員会を組織させ、職員はもちろんのこと、委託世話人に対しても利用者様に対する権利侵害や虐待と感じられるような言動・対応の是正、そして排除について高いレベルで要求し、日々の改善に努めました。

ユニファイドスポーツの推進については、令和4年6月より「恵泉会サッカークラブ」を立ち上げ、現在はアスリート11名、健常者サポーター8名で月2回～3回の活動を継続し、県外への強化合宿や選抜大会への出場も経験することができました。

【恵泉会創立50周年記念行事】

①創立50周年 行事食（5月21日の創立記念日に合わせてお祝い行事食の提供を企画、実施）
②創立50周年 レクスポーツ大会（恵泉会体育館において10月に運動イベントを企画、実施）
③創立50周年 大人の修学旅行（小グループに分かれて県内外への旅行行事を企画、実施）

【 重 点 項 目 】

1．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

(1) 利用者の皆様の人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
(2) 利用者の皆様を全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
(3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
(4) 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
(5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者様の年齢や特性に合った住環境を整備すること

2．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業

(1) 利用者様の重度高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化
①夜間支援体制の強化やフレイル予防対策として介護保険事業所との積極的な連携拡大
②BCP（業務継続計画）に沿った十分量の感染対策用品を確保し、職員研修と訓練を重ねながら、利用者様の安全確保と感染の拡大防止
③新型コロナウイルスの5類感染症移行後、国、県からの指示に従い対応
※ 感染症対策用BCP(業務継続計画)の改定…令和5年4月1日
※ 自然災害用BCP(業務継続計画)の改定…令和5年4月1日

(2) 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化
①指導監督職とサービス管理責任者から構成する虐待防止・権利擁護委員会の活動を継続強化し、全ての利用者様が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供
②法人内共通研修や事業所内研修、委託世話人向け研修等を企画・実施

(3) 利用者様の特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備、新規利用者の獲得
①少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業・他法人との連携強化

(4) 利用者様やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先との連携
①ご本人・ご家族と共に心身の状態を確認・見極めながら、安心した生活を支援できるよう、ケア会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討
②恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携の深化
※ 介護保険サービスの利用者
菊風荘（デイサービス）利用　6名→5名
東和高齢者福祉施設（デイサービス）利用　4名
迫風園（ショートステイ）および翠風荘（デイサービス）利用1名
南寿荘（デイサービス）利用　2名→4名
他法人ショートステイ利用　1名
福祉用具貸与サービス利用　5名（※他サービスとの重複あり）
※ 利用サービス等の変更・見直し
一般就労から福祉就労へサービス変更（0名）　一般就労から生活介護へサービス変更（0名）
福祉就労から生活介護へサービス変更（0名）　介護保険サービスへの新規移行及び併用開始（2名）
他法人から法人内サービスへの移行者（1名）
※ はせやま相談支援事業所への契約変更者（3名）

(5) IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進
①加算算定や医療提供状況についてはパソコンまたはタブレット端末での入力実施
②Wi-Fi環境を用いて、オンライン研修の受講を多数実施
③健康チェックアプリを用いて、職員の毎日の健康状態およびアルコールチェック記録を電子管理

(6) 相談支援事業の目標予算の達成と法人内拠点事業所との連携強化
①マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談支援体制の関係強化に努め、収入基盤の安定に努める
②施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有に注力

(7) 利用者様の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案
①趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者様の思いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援の実践
②ユニファイドスポーツ(障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを未来的としたスペシャルオリンピックスのプログラム)を通じた心身の健全育成を推進

(8) 経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けた取り組み
①収支目標達成のため、空床整理と業務委託費支出の見直し
②重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意した経営を実践

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人数　　37,704 名
2. 年間稼働日数　　366　日
3. 年間稼働率　　97.2 %
4. 年間平均障害支援区分　　3.53
5. 月別利用状況

(1)共同生活援助　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
区分2	449	457	450	420	425	419	434	420	426	430	377	400	5,107
区分3	960	989	930	986	957	960	961	957	990	977	914	988	11,569
区分4	1,377	1,387	1,349	1,400	1,394	1,377	1,425	1,364	1,381	1,381	1,304	1,394	16,533
区分5	270	301	320	334	320	299	311	297	324	330	318	339	3,763
区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
計	3,116	3,196	3,109	3,202	3,158	3,115	3,193	3,098	3,183	3,180	2,971	3,183	37,704
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
稼働率	98.0%	97.3%	97.8%	97.4%	96.1%	98.0%	97.2%	97.4%	96.9%	96.8%	96.6%	96.9%	97.2 %

(2)計画相談支援(※サービス提供時モニタリング加算を含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	8	2	13	7	4	8	5	6	7	2	10	2	74
モニタリング	25	22	21	25	28	45	17	27	22	21	34	32	319
ｻｰﾋﾞｽ提供時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ	41	45	55	42	41	57	31	38	50	35	101	82	618
合　計	74	69	89	74	73	110	53	71	79	58	145	116	1,011

6. 契 約 の 状 況

(1)共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
契約終了者数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	4
月末契約者数	104	104	104	104	104	103	104	105	104	102	102	103	－1

(2)計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	7
契約終了者数	0	1	0	0	0	2	0	0	1	3	2	0	9
月末契約者数	181	180	180	181	181	180	181	182	182	180	179	179	－2

【利用者サービスの状況】

1. 入 居 者 支 援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
来　所	13	19	16	20	13	15	12	11	15	8	13	12	167
電　話	28	42	48	41	50	52	42	32	42	51	45	56	529
訪　問	59	60	54	59	51	62	62	58	56	58	52	69	700
計	100	121	118	120	114	129	116	101	113	117	110	137	1,396

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
精神)佐藤医院	9	6	6	7	6	7	7	9	8	8	7	9	89
精神)三峰病院	11	11	8	0	0	4	8	5	13	3	3	1	67
精神)石越病院	2	2	2	2	3	3	1	3	2	2	2	2	26
登米市民病院	6	7	3	5	5	11	5	2	4	3	5	3	59
登米市立米谷病院	6	1	8	5	4	2	11	2	3	7	2	3	54
上杉皮膚科医院	21	13	7	6	19	11	9	15	21	16	16	10	164
その他(大崎市民病院他)	75	92	121	100	70	70	98	111	75	72	69	72	1,025
計	130	132	155	125	107	108	139	147	126	111	104	100	1,484

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市 内	108	108	137	117	94	90	115	126	104	100	93	91	1,283
市 外	22	24	18	8	13	18	24	21	22	11	11	9	201
計	130	132	155	125	107	108	139	147	126	111	104	100	1,484

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	72	71	75	75	69	72	70	68	75	78	74	75	874

(4) 余暇支援

実 施 月	行 事 名	内 容	参 加 者 数
4月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 14回 参加 29名
	運動支援	障スポ参加、サッカークラブとしての運動支援	回数 3回 参加 23名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 5回 参加 27名
5月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 9回 参加 15名
	運動支援	障スポ参加、サッカークラブとしての運動支援	回数 6回 参加 35名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 2回 参加 24名
	50th記念行事	ホーム単位で行う会食、食事会等	回数 16回 参加 85名
6月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 9回 参加 23名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 13名
	50th記念旅行	1泊旅行(山形方面1班)	回数 1回 参加 33名
7月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 9回 参加 25名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 3回 参加 24名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 1回 参加 6名
	50th記念旅行	1泊旅行(山形方面1班)、日帰り旅行(仙台方面)	回数 2回 参加 30名
8月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 11回 参加 23名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 15名
	50th記念旅行	1泊旅行(函館)、日帰り旅行(仙台)、個別希望日帰り旅行	回数 5回 参加 29名

9月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　7回 参加　17名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　2回 参加　17名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　1回 参加　18名
	50th記念旅行	個別希望日帰り旅行	回数　2回 参加　4名
10月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　7回 参加　16名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　2回 参加　13名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　5回 参加　37名
	レクリエーション大会	コロナ対策を実施しての行事支援	回数　1回 参加　28名
	50th記念式典参加	法人50周年式典に招待(利用50年の方)	回数　1回 参加　7名
11月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　14回 参加　23名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(福島県にて強化合宿)	回数　1回 参加　9名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　3回 参加　16名
	50th記念旅行	個別希望1泊旅行(ディズニーランド)	回数　1回 参加　4名
12月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　17回 参加　42名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(福島県にて強化合宿)	回数　1回 参加　8名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　8回 参加　49名
1月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　13回 参加　21名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　2回 参加　13名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　1回 参加　3名
2月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　10回 参加　20名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　2回 参加　16名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　2回 参加　10名
3月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　8回 参加　25名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(福島での選抜大会に出場)	回数　1回 参加　5名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　1回 参加　4名
実施回数		213 回	延べ参加者数　884 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	22	33	12	15	18	12	16	19	26	16	14	10	213

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.01	世話人OJT①	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	世話人1名
R5.04.03	転入職員OJT①	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員2名
R5.04.04	世話人OJT②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	世話人1名
R5.04.04	転入職員OJT②	施設長	職員2名
R5.05.06	ミニ研修:R4経営分析について	施設長	職員12名
R5.05.22	人事考課者研修	施設長	職員3名
R5.06.05	転入職員OJT③	施設長	職員2名
R5.06.05	ミニ研修:アンガーマネジメント	施設長	職員8名
R5.07.03	ミニ研修:相談支援の現状	相談支援専門員	職員14名
R5.07.03	ミニ研修:コロナ感染予防について	看護師	職員14名
R5.08.01	コンプライアンス研修	施設長	職員17名
R5.08.03	コンプライアンス研修	施設長	職員3名
R5.08.04	コンプライアンス研修	施設長	職員2名
R5.08.25	BCP研修(防災、感染症)	施設長、防災委員	全職員
R5.09.02	伝達研修:安全運転管理者講習より	施設長	職員15名
R5.09.21	預かり金についての研修	施設長	職員1名
R5.10.02	ミニ研修:虐待防止研修	施設長	職員11名
R5.10.06	人事考課伝達研修	施設長	職員2名
R5.10.18	世話人業務打合せ	施設長	世話人1名
R5.10.21	世話人OJT	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	世話人1名
R5.11.07	ミニ研修:半期経営分析について	施設長	職員11名
R5.12.12	家族研修会	迫包括支援センター	家族13名、世話人4名
R6.01.24	かごだん利用者の関わり方	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員4名
R6.02.05	ミニ研修:虐待防止、権利擁護研修	施設長	職員11名
R6.02.28	かごだん利用者の関わり方	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員4名

【内部研修　実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	4	2	2	2	4	2	4	1	1	1	2	0	25

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参加者
R5.04.24	恵泉会人事考課新任研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R5.05.11	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.05.17	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名、世話人
R5.06.22	県集団指導	宮城県	web	職員1名
R5.07.15	相談支援従事者初任者研修	県社協	仙台市	職員1名
R5.07.16		県社協	仙台市	職員1名
R5.07.12	恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R5.07.21	高次脳障害研修	県社協	web	職員2名
R5.07.13	恵泉会交換研修	恵泉会	レポス	職員1名
R5.07.25	サービス管理責任者更新研修	県社協	web	職員1名
R5.07.26	サービス管理責任者更新研修	県社協	web	職員1名
R5.07.26	迫支援進路指導研修会	迫支援学校	迫支援学校	職員1名
R5.08.03	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.08.08	社会福祉施設職員新任研修	県社協	web	職員1名
R5.08.09		県社協	web	職員1名
R5.08.31	安全運転管理者講習	公安委員会	南三陸町	職員1名
R5.09.01	恵泉会管理職研修	恵泉会	法人本部	職員2名
R5.09.07	介護講座	県社協	鹿島台町	職員1名
R5.09.09	相談支援従事者初任者研修	県社協	仙台市	職員1名
R5.09.10	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.09.14	虐待防止研修	県社協	鹿島台町	職員1名

R5.09.20	チームケア研修	県社協	鹿島台町	職員1名
R5.09.21	登米市福祉施設職員研修会	登米市	南方支所	職員1名
R5.09.29	介護研修(食事介助)	県社協	鹿島台町	職員1名
R5.10.19	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.10.28	相談支援従事者初任者研修	県社協	仙台市	職員1名
R5.10.29		県社協	仙台市	職員1名
R5.11.01	県児相職員向け研修会	宮城県	大崎市	職員1名
R5.11.15	障害者虐待防止研修	宮城県	大崎市	職員1名
R5.11.06	発達障害に関する研修	県社協	鹿島台町	職員1名
R5.11.21	恵泉会経営者研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R5.11.22	登米市障害福祉支援者サポート事業	登米市	南方庁舎	職員2名
R5.12.01	地域包括ケア研修	県社協	仙台市	職員1名
R5.12.05	恵泉会交換研修	恵泉会	支援センター	職員1名
R5.12.07	恵泉会交換研修	恵泉会	グループホーム	若生園職員
R5.12.08	県児相連携会	宮城県	大崎市	職員1名
R5.12.13	感染症対応強化研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.12.15	登米市障害福祉支援者サポート事業	登米市	南方庁舎	職員2名
R5.12.18	恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.01.24	市法人会新春講演会	登米市法人会	登米市	職員1名
R6.02.21	恵泉会経営者研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.02.27	障害の理解啓発セミナー	県社協	web	職員1名
R6.03.04	人事考課現任研修	恵泉会	法人本部	職員2名
R6.03.14	意思決定支援研修	県社協	web	職員1名
R6.03.21	県集団指導	宮城県	web	職員1名

【外部研修　参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	1	2	1	8	3	8	3	5	7	1	2	3	44

2.　会議開催状況

(1)定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事計画,支援課題, 事務連絡,ミニ研修　等	毎月1回	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画、モニタリング, 支援方針　等	毎月1回	利用者, 担当職員 他
世話人会議	情報共有,事業方針,業務連絡,ミニ研修　等	隔月1回	各ホーム世話人, 担当職員

(2)その他の会議・委員会

会　　議　　名	内　　容	開 催 数	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	22回	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	8回	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	2回	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	4回	担当職員, 関係機関
事業所間連携会議	感染症対策および対応状況等の共有	6回	担当職員, 他事業所
経営企画チーム	人事考課制度等の経営課題に関する打合せ	2回	施設長
創立50周年事業関連打合せ	恵泉会創立50周年に関する事業等の検討	34回	施設長
障害児者施設長会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	11回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	11回	施設長, 担当職員
恵泉会地震防災対策委員会	災害に備えた防災体制の確立	2回	防災委員
恵泉会ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実行委員会	障害系の事業所での合同フェス実施検討	6回	フェスティバル実行委員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・準備・調整・打合せ	2回	施設長, 担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
虐待防止・権利擁護委員会	事故や虐待、権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順,余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
防災安全委員会	災害や非常時に備えた計画の整備,訓練実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.09.13	迫支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(かごだん、こだま)	11 名
R5.10.23	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(わかばホーム)	4 名
R6.01.29	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(みなみホーム)	5 名
R6.02.13	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(かごだん、わたの実ホーム)	2 名
R6.03.19	新規入居希望者、登米市保健師	見学(梨の木ホーム)	2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数						1	1			1	1	1	5

(2) 体験ステイ, 体験入居(介護給付費対応)

年月日	対象者	内容	人数
R5.07.19	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.07.20	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.07.21	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.07.22	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.07.23	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.07.24	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.21	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.22	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.23	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.24	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.25	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.26	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.27	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.28	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.08.29	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.15	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.16	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.17	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.18	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.19	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.20	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.21	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.22	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.23	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.24	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.25	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.26	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.27	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.28	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名

R5.09.29	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R5.09.30	新規入居希望者	体験入居(かりんホーム)	1 名
R6.02.12	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.13	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.14	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.18	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.19	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.20	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.21	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.22	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.23	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.24	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.25	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.26	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.27	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名
R6.02.28	新規入居希望者	体験入居(みなみホーム)	1 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回数				6	9	16					14		45

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン(令和6年度～)

心紡ぐ こころつむぐ ～ あなたに よりそう けいせんかい ～

2.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

① 利用者一人ひとりの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
② 利用者一人ひとりを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
④ 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者の方々の年齢や特性に合った住環境を整備すること

3.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取組み

① 利用者の重度化・高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化
→夜間支援体制の強化とフレイル予防として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図る
→感染症対策については、県内および法人内での感染状況をモニタリングしながら、その状況に応じた支援や利用者への行動協力を要請していく

② 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化
→指導監督職とサービス管理責任者から構成する権利擁護・虐待防止委員会の活動を継続し、全ての利用者が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供する

③ 利用者の特性および年齢に合った住環境の提供を目指す，新規利用者の獲得に向けた営業強化
→少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業と他法人との連携強化

④ 利用者やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先・就労先等との連携
→利用者の心身の状況・状態をご家族と共に確認・見極めながら、安心した生活が提供できるよう、ケアカンファレンスやサポート会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討していく
→恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携強化を図る

⑤ IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進
→パソコンまたはタブレット端末の活用を推進し、加算算定や医療提供状況の記録を作成する

⑥ 相談支援事業の目標予算の達成と法人内および関係機関との連携強化
→マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談援助体制の関係強化に努め、収入基盤を安定させる
→施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有をさらに強化していく

⑦　利用者の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案
→趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者一人ひとりの想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践していく
→ユニファイドスポーツ（障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム）を通じた心身の健全育成を推進する

⑧　経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けた取り組み
→収支目標達成のため、空床整理と業務委託費支出の見直しを図る
→重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践する

4.共同生活支援事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

＊＊＊　共同生活援助事業の役割について　＊＊＊

サービスを提供する上で、職員と世話人は次の役割を理解して業務にあたります。

◇グループホームの役割は、利用者のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。
職員と世話人は利用者と一緒に、『その人の想いや夢の実現』を目指して業務にあたります。

◇グループホームは、利用者一人ひとりの『家』であり、生活する住まいの場です。
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではないことを理解します。

◇利用者は「困った人」ではなく「困っている人」という認識を持ち、構造化された環境で、医療と連携し、日常生活や精神状態に支障を来すような不安や刺激を与えないよう、個に応じた支援を追求します。

◇利用者の権利擁護や虐待防止の視点から、本人の「意思決定」のための支援を常に大切にします。意思決定の支援にあたっては、「意思表出支援」と「意思形成支援」を中心プロセスとしてアプローチします。

令和5年度
恵泉会地域生活支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成18年10月1日
5. 利　用　定　員　　なし　(利用者の障害種別は問わない)

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　5,835 名
○登米市障害者相談支援事業
○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業　　2,127 名
○宮城県障害児等療育支援事業
○指定特定相談支援事業(計画相談支　　2,110 名
○障害者就業・生活支援事　　1,598 名

2. 年 間 稼 働 日 数　　298 日

3. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援・マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業	185	222	205	191	176	206	165	141	145	180	159	152	2,127
指定特定相談支援事業	254	226	215	186	190	175	160	140	133	163	119	149	2,110
障害者就業・生活支援事業	120	133	148	136	130	145	129	109	114	137	150	147	1,598
計	559	581	568	513	496	526	454	390	392	480	428	448	5,835

4. 登 録 の 状 況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	1	3	1	0	1	3	1	0	2	0	1	13
月末登録者数	439	440	443	444	444	445	448	449	449	451	451	452	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	3	2	2	1	3	1	4	1	0	0	0	4	21
登録抹消者数	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
月末登録者数	332	332	334	335	338	339	343	344	344	344	344	348	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業/宮城県障害児等療育支援事業

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
126	66	27	385	0	38	128	1,357

指定特定相談支援事業(計画相談支援)

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
468	114	28	1,013	2	61	219	205

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業　　宮城県障害児等療育支援事業

相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等	相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等
126	9	29	36	104	2	6	13

障害者就業・生活支援事業

職場実習	就職者	定着支援
21	19	300

【利用者サービスの状況】

1. 日 常 サ ー ビ ス

(1) 療育相談・家族への支援

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R5.04.16	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士等による療育相談	5 名
R5.05.21	〃	〃	8 名
R5.06.18	〃	〃	10 名
R5.07.23	〃	〃	14 名
R5.08.20	〃	〃	12 名
R5.09.24	〃	〃	17 名
R5.10.22	〃	〃	9 名
R5.11.19	〃	〃	13 名
R5.12.17	〃	〃	6 名
R6.01.21	〃	〃	11 名
R6.02.18	〃	〃	8 名
R6.03.17	〃	〃	12 名
実　施　回　数	12 回	延　べ　参　加　者　数	125 名

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R5.09.05	ペアレント・プログラム	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム①	3 名
R5.09.19	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム②	2 名
R5.10.03	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム③	2 名
R5.10.17	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム④	3 名
R5.10.31	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム⑤	4 名
実　施　回　数	5 回	延　べ　参　加　者　数	14 名

(2) 療育行事・余暇活動支援・在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R5.06.04	たいあっぷ	運動とメンタルヘルスについて学ぼう！	7 名
R5.07.30	オープンはあとアクション・たいあっぷ	恵泉会創立50周年記念 歌って爽快☆夏のカラオケ交流会	23 名
R5.12.24	〃	防災を学ぼう★消防防災センター見学会	6 名
R6.03.06	ピアサポート活動	職場定着に至るまで	11 名
実　施　回　数	4 回	延　べ　参　加　者　数	47 名

(3) 技術支援・ネットワーク形成・研修会開催等(主な事業)

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R5.04.27	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会①	14 名
R5.05.23	マネジャー配置事業・療育支援事業	運動特化型放課後等デイサービスJump職員研修	8 名
R5.05.29	相談支援事業	障害支援区分認定調査員研修(講師)	80 名
R5.05.30	マネジャー配置事業	宮城県子ども・若者支援地域協議会①	15 名
R5.05.30	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修(事前研修)	11 名
R5.06.02	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会①	18 名
R5.06.06	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修①	6 名
R5.06.12	マネジャー配置事業	さわおとの森職員研修	10 名
R5.06.13	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修②	7 名
R5.06.20	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修③	7 名
R5.06.26	マネジャー配置事業	若生園職員研修	13 名
R5.06.27	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修④	6 名
R5.07.04	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修⑤	6 名
R5.07.11	マネジャー配置事業・療育支援事業	ペアレントプログラム実施者養成研修⑥	6 名
R5.07.27	相談支援事業	中田地区民生委員児童委員協議会(センター事業紹介)	20 名
R5.07.28	マネジャー配置事業	特別支援教育研修会	30 名
R5.08.17	相談支援事業	迫地区民生委員児童委員協議会(センター事業紹介)	45 名
R5.08.28	マネジャー配置事業・療育支援事業	第1回発達障害支援者圏域別研修会	30 名
R5.09.01	就業支援事業	迫支援学校授業協力(講師)	25 名
R5.09.22	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会②	21 名

R5.10.13	マネジャー配置事業	アセスメント技術を高める研修会 ファシリテーター協力		40 名
R5.10.19	マネジャー配置事業	障害福祉分野における児童期及び自立に向けた支援に関する研修会		20 名
R5.11.08	就業支援事業・マネジャー配置事業	宮城県子ども・若者支援地域協議会②		15 名
R5.11.14	マネジャー配置事業	令和5年度第2回栗原市特別支援教育Co連絡協議会		40 名
R5.11.20	就業支援事業	精神障害者雇用推進研修会③(登壇者)		40 名
R5.11.21	マネジャー配置事業	子ども家庭支援の対応力向上及び機関連携強化に関する研修会		20 名
R5.11.27	相談支援事業・就業支援事業	登米市手をつなぐ育成会しゃべり場(センター事業説明)		6 名
R5.11.28	マネジャー配置事業	栗原市発達障害支援体制について説明会		9 名
R5.12.12	マネジャー配置事業・療育支援事業	第2回技術支援研修会		20 名
R5.12.14	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会③		18 名
R5.12.19	相談支援事業	登米市社協職員研修講師協力(サービス等利用計画と個別支援計画の連動)		13 名
R5.12.22	マネジャー配置事業・療育支援事業	令和5年度宮城県発達障害者支援推進協議会		40 名
R5.12.26	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会②		8 名
R6.01.16	マネジャー配置事業	東部教育事務所児童生徒の心のサポート班 事業説明と情報交換		2 名
R6.01.23	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会③		18 名
R6.02.22	「ゆい」研修事業	『介護の現場ではたらくこと』		30 名
R6.02.29	マネジャー配置事業	成人期発達障害支援スキルアップ研修		30 名
R6.03.04	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会④		20 名
実施回数		38 回	延べ参加者数	767 名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	説明者・進行役・講師	参加者
R5.05.24	グループスーパービジョン(事例検討)※定例実施	職員(スーパーバイザー)	相談業務担当職員
R5.08.02	感染症発生時における業務継続計画	管理者、職員	〃
R5.08.23	自然災害発生時における業務継続計画	管理者、職員	〃
R5.10.18	虐待防止委員会職員研修①虐待防止は権利擁護につながる	職員3名	〃
R5.12.27	虐待防止委員会職員研修②虐待対策連絡協議会伝達	施設長	〃
R6.01.24	法令順守(コンプライアンス)に関する研修	施設長・管理者	〃

(2) 外部研修(主な研修)

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R5.05.17	障害福祉サービス事業所職員等研修会(初任者向け)	登米市	南方庁舎	職員3名
R5.05.29	障害支援区分認定調査員研修	宮城県保健福祉部	オンライン	職員1名
R5.06.07	宮城就業支援ネットワーク2023年度セミナー①	宮城就業支援ネットワーク	仙台市	職員2名
R5.06.28	障害者雇用支援連絡協議会	宮城障害者職業センター	オンライン	職員1名
R5.07.05	精神保健福祉基礎講座Ⅱ	宮城県精神保健福祉センター	大崎市	職員1名
R5.07.21	特別支援学校専門性向上研修会	迫支援学校他	迫支援学校	職員1名
R5.07.24	障害者就業・生活支援センター連絡会議	宮城労働局	仙台市	職員2名
R5.08.01	「産・福・学」障害者の一般就労に向けた情報交換会①	プラスワン事業	仙台市	職員1名
R5.08.04	宮城県ペアレント・トレーニング啓発研修会	宮城県	オンライン	職員1名
R5.08.07	就業支援基礎研修(～8/9)	宮城障害者職業センター	多賀城市	職員1名
R5.08.23	ひきこもり等支援関係者研修(基礎編)	宮城県ひきこもり地域支援センター	オンライン	職員1名
R5.09.12	ナカポツ就業支援担当研修(～9/15)	JEED	千葉県	職員1名

R5.09.21	障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待研修)	登米市	南方庁舎	職員3名
R5.10.02	Vineland－Ⅱフォローアップ	えくぼ	オンライン	職員1名
R5.10.19	栗原市障がい者就労セミナー	栗原市	栗原市若柳	職員1名
R5.10.24	登米市障がい者家族セミナー	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.11.14	精神障害者雇用推進研修会①	宮城県他	大崎市	職員1名
R5.11.16	精神障害者雇用推進研修会②	宮城県他	石巻市	職員1名
R5.11.20	精神障害者雇用推進研修会③	宮城県他	気仙沼市	職員2名
R5.11.22	障害福祉支援者サポート事業研修会①	登米市	南方庁舎	職員3名
R5.11.24	地域援助推進協議会及び発達障害児者支援にかかる情報交換会	法務少年支援センター他	オンライン	職員1名
R5.11.27	ナカポツ北海道・東北ブロック経験交流会議	福島労働局	オンライン	職員1名
R5.12.01	にも包括ケアシステム構築研修会	宮城県精神保健福祉センター	仙台市	職員2名
R5.12.15	障害福祉支援者サポート事業研修会②	登米市	南方庁舎	職員2名
R6.01.19	地域啓発セミナーinくりはら	あしすと	栗原市	職員2名
R6.01.22	「産・福・学」障害者の一般就労に向けた情報交換会②	プラスワン事業	仙台市	職員1名
R6.02.09	アメニティーフォーラム27(～2/11)	開催実行委員会	滋賀県大津市	職員2名
R6.02.10	宮城県障害者相談支援従事者主任研修	宮城県、MSK35	宮城県庁	職員1名
R6.02.11	上記研修全5日間(他 2/12,2/17,2/18)	宮城県、MSK35	宮城県庁	職員1名
R6.02.28	定着支援地域連携モデルに係る調査事業報告セミナー	全国就業支援ネットワーク	オンライン	職員1名
R6.03.01	宮城就業支援ネットワーク2023年度セミナー②	宮城就業支援ネットワーク	仙台市	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 月	参　加　職　員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	4.5.6.7.8.10.12.2	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	1月23日	相談支援事業担当職員
登米GSV	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	毎月	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月	施設長、相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	毎月2回(隔週)	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月(4.2.3月除く)	相談業務担当職員
地域支援ﾏﾈｼﾞｬｰ新規ケース検討会	子ども総合センターとの新規ケース検討(登米・栗原圏域別)	毎月	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合センターとの定期連絡会(登米)	毎月	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合センターとの定期連絡会(栗原)	2か月に1回	地域支援マネジャー

(2) その他の会議(主な会議)

開 催 日	内　容	場　所	出　席　者
R5.04.11	登米市地域生活支援拠点設置検討部会①	登米市南方庁舎	職員3名
R5.05.09	登米市地域生活支援拠点設置検討部会②	登米市南方庁舎	職員1名
R5.06.27	にも包括に関する検討会部会①	登米市南方庁舎	職員1名
R5.07.11	登米市地域生活支援拠点設置検討部会③	登米市南方庁舎	職員1名
R5.07.31	医療的ケア児等支援・連携検討部会①	登米市南方庁舎	職員1名
R5.10.23	医療的ケア児等支援・連携検討部会②	登米市南方庁舎	職員1名
R5.12.18	にも包括に関する検討会部会②	登米市南方庁舎	職員1名
R5.12.19	就労と定着に関する意見交換会①	大崎市図書館	職員2名
R5.12.26	医療的ケア児等支援・連携検討部会③	登米市南方庁舎	職員1名
R6.01.12	就労と定着に関する意見交換会②	南三陸歌津公民館	職員2名

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.07.07	宮城県立小牛田高等学園2年生・教諭	「ゆい」見学・センターの機能説明	2名
R5.09.13	宮城県立迫支援学校高等部3年生・教諭	「ゆい」見学・センターの機能説明	4名

【事業に伴う成果】

（1）登米市障害者相談支援事業

・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっています。
・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通した関わりも可能となっています。
・利用者のみならず、行政（保健師）や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっています。

（2）宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして令和元年度から新規事業化した取り組みについて、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置しています。
・県内の現状を踏まえ、課題や方向性を県に提言し、システム構築の一助となっています。
・登米エリアだけでなく、栗原エリアの発達障害支援体制も補完し、研修事業を充実させる取り組みを図っています。
・宮城県からの依頼により、各圏域においても、ペアレントプログラムに取り組めるよう、養成研修講師として協力しています。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の発達障害支援機関に広く認知されています。
・栗原エリアの発達障害支援体制の充実に向けた取り組みのなかで、学校側と協議する場に加わり、教育との連携を図っています。

（3）宮城県障害児等療育支援事業

・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、地域支援マネジャーと連携し情報共有しながら、発達の状況に合わせた適切な助言を行っています。
・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害（未診断を含む。）特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっています。
・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、本人や家族に寄り添った支援を心がけ、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげています。はあとタイムを毎月開催し、ペアレント・プログラム（支援者向け、家族向け）も継続して取り組んでいます。
・事業が地域に認知され、未就学児だけでなく、教育機関からの相談も多くなり、小学校へ訪問する機会が増えています。

（4）障害者就業・生活支援センター「ゆい」

・「ゆい」登録者のうち、今年度は19名（実人数）が就職に結びついています。
・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっています。
・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年4回開催し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っています。
・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っています。また、労働局の指針により、卒業年次在学時からの利用登録が可能になり（令和3年度以降）、就職をめざす学生との関わりが深まり、卒業後の切れ目のない支援につながっています。

令和5年度
多機能型事業所若葉園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所	在 地	宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16
2. 設	置 主 体	社会福祉法人　恵泉会
3. 経	営 主 体	社会福祉法人　恵泉会
4. 開	設 年 月 日	平成21年　4月　1日
5. 利	用 定 員	40 名（就労移行支援6名、就労継続支援B型34名）

【基本方針の実施状況】

1. 就労移行支援
一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指しながら支援を行ってまいりました。1名の方が令和5年3月にトライアル雇用を開始し、6月から正式雇用となりました。

2. 就労継続支援B型
個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図りました。結果、目標額の3万2,000円を超えることができました。

3. 就労定着支援
就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指よう支援し、離職者が0名という実績となりました。

【重点項目に対する評価、成果】

1. 個別支援の充実
サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施いたしました。定期的にモニタリング行いながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

2. 工賃の向上
各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めるながら実施し、費用対効果への意識を高めながら事業展開を行ってまいりました。特にグリーン工房においては、商品アイテムの見直し、価格帯の見直し等を行い過去最高水準の売上高となりました。その結果、月々の目標金額は順調に支払われ、一時金も大幅に増え、工賃向上計画の目標額の3万2,000円を超えることができました。

3. 就労支援体制のさらなる充実
関係機関と連携しながら、実施してきたが昨年同様コロナ禍の中、職場実習や企業合同説明会等がが中止となり、就労移行支援事業における就職者を出すことが難しい状況でした。令和6年度においては一人でも多くの利用者が就職出来るよう努力してまいります。

4. 就労定着に向けた専門的な支援
平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業であるが、令和5年度も1名も離職者を出すことなく定着支援の効果と思われる定着率が100％となりました。今後も各事業や関係機関と連携を密にし、就職者の定着に向けて支援していきます。

5. 虐待防止等
打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業　定員　34名

1. 年間延べ利用人員　8,391 名
2. 年 間 稼 働 日 数　244 日
3. 年 間 稼 働 率　101.1 %　（ 目標稼働率 ： 105% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	56	60	62	59	65	60	58	61	61	53	58	60	713
区 分 3	220	224	245	224	231	221	232	222	222	203	209	226	2,679
区 分 4	239	236	254	228	251	237	249	234	236	220	224	227	2,835
区 分 5	20	20	20	20	20	20	20	19	20	19	19	19	236
未 申 請	166	161	172	163	158	158	169	151	150	166	158	156	1,928
合 計	701	701	753	694	725	696	728	687	689	661	668	688	8,391

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
契約解除者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	41	41	41	+ 1

就労移行支援事業　定員　6名

1. 年間延べ利用人員　1,748 名
2. 年 間 稼 働 日 数　244 日
3. 年 間 稼 働 率　119.4 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	19	19	22	20	18	19	19	20	19	17	19	16	227
区 分 3	39	38	43	36	39	38	41	38	39	34	37	36	458
区 分 4	18	18	17	9	16	18	19	20	20	18	16	19	208
区 分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未 申 請	92	89	82	81	81	73	76	72	67	46	45	51	855
合 計	168	164	164	146	154	148	155	150	145	115	117	122	1,748

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
契約解除者数	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
月末契約者数	9	9	8	9	8	8	8	8	8	7	7	7	－2

若 葉 園(全事業合計)　定員　40名

1. 年間延べ利用人員　10,139 名
2. 年 間 稼 働 日 数　244 日
3. 年 間 稼 働 率　103.88 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	75	79	84	79	83	79	77	81	80	70	77	76	940
区 分 3	259	262	288	260	270	259	273	260	261	237	246	262	3,137
区 分 4	257	254	271	237	267	255	268	254	256	238	240	246	3,043
区 分 5	20	20	20	20	20	20	20	19	20	19	19	19	236
区 分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未 申 請	258	250	254	244	239	231	245	223	217	212	203	207	2,783
合計	869	865	917	840	879	844	883	837	834	776	785	810	10,139

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4
契約解除者数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
月末契約者数	49	48	48	49	48	48	48	48	48	48	48	48	± 0

就労定着支援事業

1. 年間延べ利用人員　　60 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　12 日以上
3. 年 間 稼 働 率　　100.00 %　（ 目標稼働率 : 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午　　前	午　　後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午　　前	午　　後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	721,600	711,480	771,320	703,010	743,050	712,800	746,460	702,240	701,250	675,290	694,210	706,970	4,642,633	13,232,313
1人平均月額	18,503	17,787	20,298	18,500	19,554	18,277	19,140	18,006	18,953	16,882	17,355	18,127	113,235	322,739

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	157,960	144,650	171,160	153,670	152,680	146,300	152,790	156,750	151,030	120,230	121,770	129,800	494,766	2,253,556
1人平均月額	19,745	18,081	21,395	17,074	16,964	18,288	19,099	19,594	18,879	17,176	17,396	18,543	70,681	281,695

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年　月　日	内容	講師(講演者)	参　加　者
R5.05.23	コンプライアンス研修	統括施設長	12名
R5.07.04	交換研修(他事業所業務体験研修)	体験施設(こじか)	1名
R5.09.26	車両安全管理研修	統括施設長	9名
R5.10.31	虐待防止研修	統括施設長	10名
R5.12.7	交換研修(他事業所業務体験研修)	体験施設(パルめぐみ)	1名
R6.02.21	恵泉会経営者研修	あすの監査法人	1名

(2) 外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.05.16	食品衛生責任者実務者研修	宮城県食品衛生協会	登米市	職員2名
R5.06.02	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員2名
R5.07.25	サービス管理責任者更新研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市(Web)	職員1名
R5.09.21	登米市障害サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.10.04	サトー商会展示会	サトー商会	仙台市	職員2名
R5.12.14	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R6.03.04	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名

2．会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職 員 会 議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開　催　日	内　　容	場　　所	出　席　者
12回	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3．委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	ﾋﾔﾘﾊｯﾄの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	2回	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	25回	若葉園職員5名
事業所ｻｰﾋﾞｽ評価委員会	ｻｰﾋﾞｽ評価に関することを検討	5回	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	4回	若葉園職員6名
防　災　委　員　会	消防計画に基づき防災にについて検討	2回	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年　月　日	団　　体　　名	内　　容	来訪者数
R5.05.17	利用希望者ほか	事業所見学	2 名
R5.05.19	登米村田製作所社員	事業所見学	6 名
R5.05.29	仙台青葉学院短期大学学生ほか	事業所見学	3 名
R5.06.01	利用希望者ほか	事業所見学	4 名
R5.06.12	こじか実習生他	事業所見学	2 名
R5.06.23	気仙沼支援学校保護者	事業所見学	2 名
R5.07.28	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	2 名
R5.09.19	こじか実習生他	事業所見学	2 名

R5.09.20	気仙沼支援学校PTA	事業所見学	7 名
R5.10.03	こじか実習生他	事業所見学	2 名
R5.10.23	こじか実習生他	事業所見学	2 名
R6.02.01	利用希望者	事業所見学	1 名
R6.03.21	気仙沼支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	4 名
計			39 名

(2) 実習

年　月　日	団　体　名	実　習　内　容	実人数	延人数
R5.06.05	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	1 名	10 名
R5.10.10	迫支援学校高等部(9日間)	産業現場実習	2 名	18 名
R5.10.24	登米総合産業高校福祉科(3日間)	障害者支援施設実習	10 名	30 名
R5.11.07	登米総合産業高校福祉科(3日間)	障害者支援施設実習	12 名	36 名
計			25 名	94 名

【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実

・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。

2. 工賃の向上

・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。

3. 就労支援体制のさらなる充実

・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。

4. 虐待防止等

・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。

・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認をくり返します。

5. 新規事業の検討

・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

令和5年度
就労継続支援B型さくらワークス　事業報告

【 施　設　概　要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年1月1日
5. 利　用　定　員　　30 名

【 基　本　方　針 】

事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令及び恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指しました。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力してまいりました。
①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えること で、希望する日中活動を保障するよう努めています。
②利用者の社会的自立を目指しましたが、就労移行、雇用に向けた支援については対象者がありませんでした。
③グループホームの支援と連携しています。

【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）。
生活支援（健康管理、相談支援、余暇支援）を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援しています。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めています。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高めています。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めています。

①自 立 支 援　…　生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつなげられるよう努力しています。

②主体性の尊重　…　利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しています。

③就 労 支 援　…　利用者の雇用及び就労移行事業へのステップアップに向けた支援を行っています。

④地域生活の充実 …　地域との連携を強めた活動を展開しています。

⑤家 族 支 援　…　利用者自身はもとより、総合的な支援体制を整えるには、家族の協力が大切です。家族の安定が利用者の生活を支える基盤となる事から支援に対する理解を深めてもらうため、状況報告や情報提供を細やかに行っています。

1. 受託加工
・（株）スタンレー宮城製作所　コンテナ洗浄作業　　◇2月より新規作業として開始
・（有）ミヤギトップ　　グッズ製作(梱包等)

2. 受託事業
軽作業（除草・草刈等）　39件
登米市軽度生活援助作業　26件　◇令和6年3月31日をもって軽度生活援助事業は廃止

3. 法人内受託作業

恵泉会事務局	園庭・駐車所除草（5回）	パルめぐみ	園庭・駐車所除草（5回）
光風園	周辺草刈(2回)	ゆりの郷	周辺草刈(3回)
ほんわか	畑耕運（1回）		
こじか園	園庭除草、周囲草刈り（3回）		
恵泉会体育館	草刈り（3回）		
若草園	洗濯、園庭及び周辺草刈り（3回）芝刈り（4回）		
若生園	洗濯、園庭及び周辺草刈り、除草（2回）庭木の剪定(1回)、園庭側溝清掃（1回）		

◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行きます。

【 利　用　状　況 】

1. 年間延べ利用人員　5,771 名
2. 年間稼働日数　243 日
3. 年間稼働率　79.16 %
4. 年 間 平 均 区 分　3.16

5. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	111	114	120	94	101	97	113	80	80	78	60	55	1,103
区分 3	180	173	182	198	209	191	213	212	218	194	207	209	2,386
区分 4	169	178	196	167	160	161	198	152	157	147	148	150	1,983
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	460	465	498	459	470	449	524	444	455	419	415	414	5,472
非該当	18	16	16	21	30	33	15	32	35	30	33	20	299
計	18	16	16	21	30	33	15	32	35	30	33	20	299
合　計	478	481	514	480	500	482	539	476	490	449	448	434	5,771

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
月末契約者数	25	25	25	24	25	25	25	25	25	24	24	24	－1

【 利用者サービスの状況 】

1. 週　間　予　定

曜日	午　　前	午　　後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	313,680	300,045	310,965	305,860	341,430	315,495	329,145	313,190	321,100	302,010	301,240	292,970	1,695,511	5,442,641
1人平均月額	12,547	12,002	12,439	12,234	13,657	12,620	13,166	12,528	12,844	12,080	12,050	11,719	67,820	217,706
													1人あたり	18,142

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R5.04.27	法令順守研修会	統括施設長	職員6名
R5.08.31	権利擁護について	統括施設長	職員6名
R5.10.31	障害者虐待について考える(伝達研修)	生活支援員	職員5名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.09.21	障害者虐待について考える	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.02.22	介護の現場で働くこと	支援センター「ゆい」	迫公民館	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員・相談支援担当・サービス管理責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
権利擁護委員会	利用者様の権利擁護と、身体拘束や虐待防止について検討	3ヶ月に1回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	年3回	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	年2回	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	年1回	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	年1回	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1)見学・実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.07.13	気仙沼支援学校	見学	7名	7名
R5.10.24	登米総合産業高校福祉科	介護実習	10名	10名
R5.11.07	登米総合産業高校福祉科	介護実習	12名	12名
計			29名	29名

【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）・生活支援（健康・相談援助・職場規律）を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループーホームとの連携、家族との相互理解を深めていきます。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行きます。
また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付ける。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図っています。

1. 受託加工事業について、2月から株式会社スタンレー宮城製作所様からコンテナ洗浄作業が受託となりました。今後は年間を通して作業が継続していけるよう企業との調整を図る。また、作業を通して利用者様の雇用及び就労移行へ繋がって行けるための支援を継続していきます。

2. 受託事業について、軽作業（一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等）の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、岩手県アーク牧場の作業委託を受け（除草・運搬等）1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していきます。

3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組んでいきます。

令和5年度
多機能サポートセンターこじか　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵　泉　会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵　泉　会
4. 開　設　年　月　日　　平成23年 4月 1日 （指定管理開始）
5. 利　用　定　員　　指定障害児通所支援事業
   ・児童発達支援（未就学児）　10名
   ・放課後等デイサービス（就学児）　10名
   ・保育所等訪問支援　定員区分なし
   指定障害者生活介護事業「レポス」
   ・指定生活介護　10名
   指定障害児相談支援事業（児童サポートセンター「バンビ」）
   ・指定障害児相談支援　定員区分なし
   ・指定特定相談支援（計画相談）　定員区分なし
   登米市および石巻市地域生活支援事業
   ・障害児日中一時支援事業　20名（障害児通所支援契約者を主とする）

旧こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成２３年度から指定管理施設として、質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。その後、登米市や計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びる状況となりました。

そして令和３年３月をもち登米市の指定管理施設から外れ、４月より運営主体が恵泉会へ移行となり、新たに生活介護事業所「レポス」を開設して「多機能サポートセンターこじか」と名称を改めてリニューアルしました。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練や生活介護の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、「恵泉会地域生活支援センター」との合同企画行事である、家族・支援者向けセミナー（通称：ペアレントプログラム）の開催も行いました。

【　重　点　項　目　】

1. ㋒ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

◇モニタリング件数　・・・　児童発達支援　５９件　，　放課後等デイサービス　８６件
（継続障害児・者支援利用援助）　保育所等訪問　６１件　，　障害児相談支援　６１件
生活保護　２５件
◇個別支援計画作成数　・・・　児童発達支援　５０件　，　放課後等デイサービス　７９件
（障害児・者支援利用計画）　保育所等訪問　６３件　，　障害児相談支援　５２件
生活保護　２５件
◇サポート検討（会議）　・・・　児童発達支援　５５件　，　放課後等デイサービス　８６件
（ケアカンファレンス）　保育所等訪問　２４件　，　障害児相談支援　５６件
◇担当者会議　・・・　生活介護　２５件
◇職員向けアンケート（運営・ｻｰﾋﾞｽ・行事分野）・・・達成度評価（11月実施）

2. (じ) 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

３つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

◇個別活動　・・・　生活訓練，学習補習，作業訓練，機能訓練
◇小集団活動　・・・　粗大運動，音楽療法，園芸活動，からだづくり(運動訓練)
◇全体活動　・・・　はじまりの会，かえりの会，リズム活動，各種行事
◇社会研修　・・・　実施回数 5回 ，参加児童 20名
◇親子遠足　・・・　実施回数 2回 ，参加児童 15名

3. (か) 家族の「想い」、家族と一緒の「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー（こじ豆）の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場(通称：こじカフェ)を設定し、定期開催させていただきました。

◇参加交流行事　・・・　療育参観，親子遠足，こじかまつり
実施回数…9回（家族等参加延べ人数 140名）
◇こじカフェ　・・・　実施回数…9回　営業日に実施（延べ44名利用）
◇家族･訪問先アンケート(運営･ｻｰﾋﾞｽ･行事分野)･･･12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

【 利 用 状 況 】

≪ 多機能型事業,障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　7,210 名　(多機能型事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ＋生活介護
2. 年 間 稼 働 日 数　242 日　(児童発達支援)
256 日　(放課後等デイサービス)
242 日　(保育所等訪問支援)
242 日　(障害児相談支援／バンビ)
308 日　(生活介護／レポス)
3. 年 間 稼 働 率　101.91 %　(障害児通所支援事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ
(83.39) %　(児童発達支援)　定員 10 名
(119.41) %　(放課後等デイサービス)　定員 10 名
15.8 件　(保育所等訪問支援　月平均訪問件数)
9.4 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
1.5 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
(69.32) %　(生活介護／レポス)　定員 10 名

4. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
児童発達支援	155	162	166	160	173	160	162	169	166	182	180	183	2,018
放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	256	273	264	252	265	264	279	273	236	215	243	237	3,057
保育所等訪問支援	10	18	20	16	9	19	20	9	9	22	24	14	190
障害児相談支援	9	11	9	10	11	5	10	11	12	7	7	11	113
障害者相談支援	3	2	3	0	0	3	0	0	0	2	1	4	18
生活介護	169	189	197	181	188	184	194	174	158	171	167	163	2,135
計	602	655	659	619	646	635	665	636	581	599	622	612	7,531

5. 契 約 の 状 況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
契約者数(児童発達支援)	20	2	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	3	30
契約者数(放課後等デイ)	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	49
契約者数(保育所等訪問)	29	1	0	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	36
契約者数(レポス)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
契約者数(相談支援)	56	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	62
契約終了者数(児童発達支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	15	16
契約終了者数(放課後等デイ)		0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	6
契約終了者数(保育所等訪問)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
契約終了者数(レポス)		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数(相談支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
月末契約者数	167	170	170	174	176	176	177	176	180	179	180	178	164	164

【 サ ー ビ ス の 状 況 】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.04.14	お花見外出	南方方面へ行き、南方千本桜をみたり南方農村公園で散策や遊具遊びを通して春の季節を感じました。	児 童 8名 職 員 8名
R5.05.12	療育説明会 保護者向け研修会	今年度の児童発達支援事業について療育・サービスの説明を行って共通理解を図り、保護者が就学に向けて見通しを持ち、準備を進められるようにしました。	児童家族 18名 職 員 8名
R5.6月 (7日間)	療育参観	利用児童のご家族にこじかでの児童の様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図り、こじかでの療育について理解を深めてもらいました。	児 童 21名 家 族 22名 職 員 10名
R5.07.07	七夕会	七夕会についてのお話やゲームを通して七夕の雰囲気を味わいながら楽しく行事に参加しました。	児 童 8名 職 員 5名
R5.09.02	恵泉会50周年記念事業 こじかまつり	恵泉会創立50周年記念事業のいっかんとして、飲食ブースやゲームコーナーを設けて、児発・放デイ・レポス合同の「こじかまつり」を実施しました。	家 族 多数 児 童 多数 職 員 21名
R5.10/6 10/13	親子遠足	うみの杜水族館にていろいろな体験をしながら、保護者と職員での交流を図り、共に外出時の療育や支援について考えることで、様々な社会体験へのきっかけ作りになりました。	家 族 24名 児 童 15名 職 員 4名
R5.11.16	第4回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同の、恵泉会体育館で開催した「恵泉会フェスティバル」に参加し、他施設の利用者さんとの交流を図り、ステージでｼﾞｬﾝﾎﾞﾘﾐｯｷｰを披露してフェスティバルを盛り上げました。	児 童 9名 職 員 10名
R5.12.15	クリスマス会	クリスマスのお話を聞いたり、サンタからプレゼントをもらってクリスマスの雰囲気を味わいました。	児 童 10名 職 員 7名
R6.02.02	豆まき会	節分のお話を聞いたり、各自製作した鬼のお面をかぶって鬼に向かって豆を投げ、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児 童 8名 職 員 8名
R6.02.13	まろにえの会	社会福祉協議会主催の独居老人「まろにえの会」の皆さんと「ダイナム」さんとの交流会で、着ぐるみｷｬﾗｸﾀｰとの触れ合いを楽しんだり、プレゼント交換を通して交流を図りました。	児 童 11名 職 員 6名
R6.03.01	ひなまつり会	ひなまつりのお話を聞いたり製作を通して、楽しみながらひなまつりの雰囲気を味わいました。	児 童 10名 職 員 6名

R6.03.09	卒園セレモニー	1年間の集大成となる行事として。こじかを終了する親子のみ参加していただき、証書や記念品の授与，思い出スライドショーの上映等行い、児童の成長を振り返りました。	児 童 12名 職 員 11名

② 放課後等デイサービス

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.06.24	社会研修① （南三陸311メモリアル）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 4名 職 員 4名
R5.07.07	七夕会	七夕の行事に関心を持ち、七夕にちなんだ紙芝居や飾りをみて楽しみました。	児 童 13名 職 員 5名
R5.07.22	社会研修② （南三陸311メモリアル）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 4名 職 員 5名
R5.08.26	社会研修③ （南三陸311メモリアル）	〃	児 童 4名 職 員 3名
R5.09.23	社会研修④ （南三陸311メモリアル）	〃	児 童 4名 職 員 3名
R5.10.28	社会研修⑤ （南三陸311メモリアル）	〃	児 童 4名 職 員 2名
R5.11.13	りんご収穫体験・上沼 （千葉りんご農園）	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、友達と一緒に喜びを共有しました。	児 童 8名 職 員 4名
R5.12.21	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けをいっしょに行い、DVDを上映して1年間の振り返りを行う。またレポス利用者とも合同で行事を実施しました。	児 童 14名 職 員 8名
R6.02.02	豆まき会	豆まきの意味や由来について、紙芝居を用いて学ぶ時間を作り、鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児 童 10名 職 員 5名
R6.03.01	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行いました。	児 童 13名 職 員 5名
R6.03.28	卒園生を送る会	1年間のまとめの行事として実施。思い出DVDの上映，記念品の贈呈，学習成果の発表をしました。（感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催）	児 童 12名 職 員 20名

③ レポス

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.04.11	お花見外出①	平筒沼ふれあい公園へ行き、散策等しながら春の季節を楽しみました。（※お客様が多数だった為、お花見ドライブがメインとなりました。）	利用者 6名 職 員 3名
R5.04.12	お花見外出②	南方千本桜通りを、朝送迎を兼ねてお花見ドライブしています。	利用者 1名 職 員 1名
R5.04.14	お花見外出③	長沼ﾌｰﾄﾋﾟｱ公園へお花見ドライブし、散策等しながら春の季節を楽しみました。	利用者 6名 職 員 3名
R5.05.30	社会研修 （奥松島縄文村歴史資料館）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	利用者 9名 職 員 5名
R5.06.26	花菖蒲あじさい見学	南方町方面へドライブし、大嶽山公園を散策等しながら初夏の季節を楽しみました。	利用者 9名 職 員 3名
R5.07.28	蓮の花見学	石越町方面へドライブし、海上連親水公園を散策等しながら真夏の季節を楽しみました。	利用者 6名 職 員 2名
R5.08.09	大相撲「時津風部屋」稽古見学	「道の駅よねやま」に来ていた大相撲稽古の見学と、同部屋所属（栗原市瀬峰出身）時疾風関と一緒に記念撮影をしてきました。	利用者 4名 職 員 2名
R5.10.06	バーベキュー	「レポス」テラスにおいてBBQを実施、焼き立ての肉など一緒に召し上がりました。	利用者 9名 職 員 6名
R5.10.27	柿狩り・渋抜き体験	職員G氏宅の柿の木を提供してもらい、柿狩りを行いました。その後レポスに戻り、焼酎を使用して渋抜き体験を実施しました。	利用者 5名 職 員 3名
R5.11.13	りんご収穫体験・上沼 （千葉りんご農園）	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、放ﾃﾞｲ児童とも一緒に喜びを共有しました。	利用者 8名 職 員 3名
R5.11.16	第4回恵泉会フェスティバル	米川の「恵泉会体育館」を会場に、障害者施設合同で実施した「恵泉会フェスティバル」に参加して、飲食ブースやステージ発表など楽しみました。	利用者 6名 職 員 3名
R5.12.21	クリスマス会	活動時にクリスマスツリーを松ぼっくりで作成、行事は放デイ利用児といっしょに、DVDを上映して1年間の振り返りを行いました。	利用者 7名 職 員 4名

R6.01.04	初詣外出	中田町上沼「八幡神社」へ行き、境内周辺を散策しながら、1年の無病息災などを願い、初詣しました。	利用者　5名 職　員　2名
R6.02.02	豆まき会	豆まきの意味や由来について、紙芝居を用いて学ぶ時間を作り、鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	利用者　6名 職　員　3名
R6.03.01	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行う。	利用者　7名 職　員　3名

【その他の児童サービス】

≪ 登米市日中一時支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　1,888 名
2. 年 間 稼 働 日 数　305 日
3. 年 間 稼 働 率　30.95 %
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日中一時	4時間未満	170	124	105	19	290	126	122	111	135	115	95	158	1,570
	4～6時間	5	7	1	3	1	12	4	7	1	7	0	16	64
	6～8時間	19	23	19	17	15	13	16	21	20	24	25	31	243
	8時間以上	3	1	1	0	0	3	1	1	1	0	0	0	11
	送　迎	69	47	24	60	122	37	38	51	56	43	39	22	608
合　計(送迎含まず)		197	155	126	39	306	154	143	140	157	146	120	205	1,888

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか主催・実施関係)

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.05.30	こじかペアレント・プログラム事前研修　支援者向け	地域生活支援C 職員	障害児支援者　11名
R5.06.06	こじかペアレント・プログラム①　支援者向け	こじか 職員	障害児支援者　7名
R5.06.13	こじかペアレント・プログラム②　〃	〃	障害児支援者　6名
R5.06.20	こじかペアレント・プログラム③　〃	〃	障害児支援者　7名
R5.06.27	こじかペアレント・プログラム④　〃	〃	障害児支援者　6名
R5.07.04	こじかペアレント・プログラム⑤　〃	〃	障害児支援者　6名
R5.07.11	こじかペアレント・プログラム⑥　〃	〃	障害児支援者　6名
R5.06.06	こじかペアレント・プログラム①　保護者向け	地域生活支援C 職員	保護者等　3名
R5.06.13	こじかペアレント・プログラム②　〃	〃	保護者等　2名
R5.06.20	こじかペアレント・プログラム③　〃	〃	保護者等　2名
R5.06.27	こじかペアレント・プログラム④　〃	〃	保護者等　3名
R5.07.04	こじかペアレント・プログラム⑤　〃	〃	保護者等　4名
R5.09.27	感染症について	こじか 職員	こじか職員　8名
R5.11.21	虐待防止について	こじか 職員	こじか職員　6名
R6.01.31	身体拘束について	こじか 職員	こじか職員　10名
R6.02.20	コンプライアンス研修	こじか施設長	こじか職員　19名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.07.28	障害児者支援ワーキング交換研修(若草園)	統括施設長、他	職員1名
R5.12.08	障害児者支援ワーキング交換研修(さくらワークス)	〃	職員1名
R5.12.18	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長、他	職員1名
	第44回　恵泉会職員研修大会(web)		職員20名
R6.01.29	恵泉会次世代リーダー研修	外部講師）町田大介氏	職員1名
R6.02.21	恵泉会経営・管理職研修	外部講師）あすの監査法人	職員2名

(3) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.05.17	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.07.25	サビ管・児発管更新研修	宮城県社協	WEB方式	職員2名
R5.07.27	〃	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R5.08.17	食品衛生責任者実務講習会	登米保健所	登米市	職員1名
R5.09.14	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R5.09.21	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.9/26, 27	宮城県社会福祉施設職員新任研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R5.10.19	障害福祉分野における児童期及び自立に向けた支援に関する研修①	児童相談所	大崎市	職員1名
R5.10.12	特別支援教育研修会		登米市	職員1名
R5.11.01	障害福祉分野における児童期及び自立に向けた支援に関する研修②	児童相談所	大崎市	職員1名
R5.11/22,12/15	登米市障害福祉支援者サポート事業	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.02.05	宮城県ペアレントプログラムアドバンス研修	宮城県子ども総合センター	名取市	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	〃	全職員対象

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
年 11 回	相談支援事業者 事例検討会	南方庁舎	相談支援専門員
R5.07.07	加賀野小学校 ケース会議	加賀野小学校	訪問支援員
R5.11.10	石越にじいろこども園 ケース会議	石越にじいろこども園	〃
R6.01.22	視覚障害児に関する情報交換会	こじか	児発管,担当職員
R6.01.26	加賀野小学校 ケース会議	加賀野小学校	訪問支援員
R6.01.31	放課後デイ新規利用児ケア会議	こじか	児発管
R6.02.09	視覚障害児に関する支援者会議	聴覚支援学校 小牛田校	担当職員
R6.02.29	支援学校連携会議	こじか	〃
R6.03.26	〃	迫支援学校	〃

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, ｻｰﾋﾞｽ提供時におけるﾘｽｸの評価・検討	年5回、随時	管理者,委員,関係職員
サービス向上・研修委員会	施設ｻｰﾋﾞｽ向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	随時	管理者,委員,関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年7回	管理者,委員,関係職員
虐待防止委員会	身体拘束に関する廃止の取り組み、人権侵害や虐待等の予防対策の検討、検証	年3回	管理者,委員,関係職員

(2) その他の委員会

○ 障害児者支援ワーキング部会
○ 事務部会
○ 看護師部会
○ 栄養士部会
○ 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.04.07	迫支援学校教諭	施設見学	2名
R5.04.07	児童発達事業見学希望家族(迫町)	見学・相談	3名
R5.04.24	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(登米町)	見学・相談	5名
R5.04.25	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R5.05.02	仙台青葉学院短期大学　学生	実習オリエンテーション	2名
R5.04.24	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(米山町)	見学・相談	4名
R5.05.23	児童発達支援利用児童担当保健師(中田町)	状況確認	1名
R5.05.25	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(迫町)	見学・相談	4名
R5.05.26	迫支援学校教諭、Iさん母	実習打合せ	2名
R5.05.29	仙台青葉学院短期大学　教授	実習生巡回指導	1名
R5.05.29	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(豊里町)	見学・相談	5名
R5.05.30	児童発達支援利用児童担当保健師(迫町)	状況確認	1名
R5.06.13	尚絅学院大学　教授	実習生巡回指導	1名
R5.06.13	迫支援学校教諭	レポス実習生巡回指導	1名
R5.06.14	放課後等デイサービス見学希望家族(米山町)	見学・相談	2名
R5.06.15	迫支援学校教諭	レポス実習生巡回指導	1名
R5.06.16	迫支援学校教諭、Iさん母	レポス実習反省会	2名
R5.06.20	迫地域支援センター(相談員)	レポス利用者状況確認	1名
R5.06.22	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(登米町)	見学・相談	3名
R5.06.21～23	さくらワークス	園庭除草作業	
R5.06.28	迫支援学校教諭	今後の実習調整	1名
R5.07.04	若葉園職員	ワーキング職員交換研修	1名
R5.07.04	放課後等デイサービス見学希望家族(迫町)	見学・相談	2名
R5.07.13	恵泉会グループホーム職員	ワーキング職員交換研修	1名
R5.07.27	迫支援学校教諭	情報交換会	3名
〃	登米市福祉事務所	利用児童実態調査	1名
R5.07.28	宮城学院女子大学　学生	実習オリエンテーション	1名
R5.07.31	迫支援学校教諭	情報交換会	4名
〃	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	2名
R5.08.01	迫支援学校教諭	施設見学	2名
R5.08.01	Jボラ体験(学生、社会福祉協議会担当者)	ボランティア	3名
R5.08.07	児童発達支援利用児童担当保健師(迫町)	状況確認	1名
R5.08.09	放課後等デイ利用児童担当保健師(登米町)	状況確認	1名
R5.08.30	宮城誠真短期大学　学生	実習オリエンテーション	2名
R5.08.31～9.1	さくらワークス	園庭除草作業	
R5.09.05	聖和短期大学教授	実習生巡回指導	1名
R5.09.05	レポス希望利用者・母親、担当保健師	施設見学	3名
R5.09.06	仙台子ども専門学校　学生	実習オリエンテーション	2名
R5.09.08	レポス希望利用者・叔母、担当保健師	施設見学	3名
R5.09.15	誠真短期大学教授	実習生巡回指導	1名
R4.09.22～24	さくらワークス	園庭除草作業	
R5.09.25	レポス日中一時希望利用者、父親	施設見学	2名
R5.10.04	アウトリーチ事業関係者	コンサート打合せ	2名
R5.10.11	児童発達事業見学希望家族・地域生活支援C職員(南方町)	見学・相談	3名
R5.10.16	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(南方町)	見学・相談	3名
R5.10.18	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(石越町)	見学・相談	3名
R5.10.24	児童発達支援利用児童担当保健師(中田町)	状況確認	1名
〃	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(豊里町)	見学・相談	3名
R5.11.11	アウトリーチコンサート演奏者、事業関係者	コンサート	5名
R5.11.13	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(米山町)	見学・相談	4名
R5.11.29	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(迫町)	見学・相談	3名
R5.12.18	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(迫町)	見学・相談	4名
R5.12.19	児童発達支援利用児童担当保健師(津山町)	状況確認	1名

R5.12.12	若草園職員	ワーキング職員交換研修	1 名
R5.12.22	ユメノセカイ	レポス多目的トイレ 手すり取り付け	1 名
R6.01.16	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(迫町)	見学・相談	3 名
R6.01.19	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(米山町)	見学・相談	3 名
R6.02.13	児童発達支援利用児童担当保健師(迫町)	状況確認	1 名
R6.02.14	事業所「おもちゃ箱」職員	摂食に関する技術指導	2 名
〃	児童発達事業見学希望家族(米山町)	見学・相談	2 名
R6.02.16	レポス希望利用者・母親	施設見学	2 名
R6.02.21	児童発達事業見学希望家族・基幹センター職員(石巻市)	見学・相談	3 名
R6.02.22	イオンカーブス佐沼店(もらい受けに赴く)	フードドライブ贈呈	
R6.02.26	迫支援学校教諭	就学予定児童状況確認	1 名
R6.03.01	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	2 名
R6.03.12	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(迫町)	見学・相談	3 名
R6.03.13	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(東和町)	見学・相談	3 名
R6.03.26	児童発達事業見学希望家族・担当保健師(津山町)	見学・相談	4 名
計			142 名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R5.05.22	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R5.06.05	尚絅学院大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R5.06.05	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(10日間) 生活介護体験	1 名	10 名
R5.08.14	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R5.08.28	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R5.09.11	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R5.09.25	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R5.10.16	小田原短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R5.11.06	仙台幼児保育専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
計			12 名	120 名

【今後の取り組み】

1. 【令和6年度に向けて】
◎児童発達支援センターとしてこれまで通り『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、将来に向けた生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練の実践し、『医療的ケア児』の受け入れにも適切かつ安全に対応できるよう体制を整えます。更に今年度は中核的な療育支援拠点として、切れ目のない継続的な相談・支援(保育所等訪問他)の提供、障害児サービス事業所とのネットワークづくりと機能強化支援として研修事業等、関係機関と連携していきます。
◎生活介護事業所「レポス」では、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の声を受け止めながら、身体面・精神面・環境面等の状態に配慮し、個別支援計画に基づいて、活き活きとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会見学・地域交流活動も多く取り入れ、利用者の主体的な活動を通して生活の質の向上を目指します。

以上をふまえ、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う、多機能サポートセンターとして更なる発展を目指していきます。

2. 【児童発達支援センターとしての役割】
◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言

3. 【施設機能の解放】
・保育士養成に係る現場実習の受入 (令和6年度受入予定…13名)
・学生の職場体験やキャリア教育, ボランティア受け入れに関する協力
・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
・「こじカフェ」の設置
保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催する
・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー(こじ豆)の実施
・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

令和5年度
南方保育所　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市南方町山成前1074－2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　昭和53年　4月　1日
5. 利　用　定　員　　70名

今年度は、恵泉会50周年及び南方保育所45周年の記念すべき年で関わる全ての方々に感謝の気持ちを込めながら盛大にお祝いする事ができました。1年を通して、恵泉会50周年のロゴマークを印刷物に使用したり、公用車に取り付けPRする事もできました。

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より5類に変更となり、行事や地域との交流の場を少しずつ広げる事ができました。子育て支援事業としまして、未入所児フレンズデーも再開し、地域の方に保育所を開放し交流の場を設ける事ができた事は、とても嬉しい事であり南方保育所の良さを伝える場にもなった様に思います。

保育では、年齢毎に指導計画に沿いながらその子に応じた支援を行い、子ども達がのびのびと心身共に成長していけるように保護者様と共通理解のもと、温かな保育に努めました。また、保護者支援にも気を配り、子育てに悩みや不安を抱えているご家族に対してゆっくりとお話しを聞き、共感したり共に考え、「子育ての楽しさ」を伝える様にしました。

南方保育所では今後老朽化に伴い新築移転し、認定こども園になる予定で準備を進めています。子ども達にとってよりよい環境となれるように、職員一丸となり準備を進めていきたいと考えております。

【　重　点　項　目　】

1. 子どもの発達段階をしっかりと把握し、その子に応じた支援を行う事ができました。また、個別支援を要する子に職員間で状態をしっかりと確認し合い、家庭との連携を密に取りながら保育を行いました。
2. 保育所での様子を保護者様にお伝えをし、また、家庭での様子をお伺いしながら子どもの状態を共有する努めました。様々な経験をする事を大切にし、安全面に配慮しながら一人ひとりの発達に合わせ援助を行うできました。
3. 離乳食や食事について栄養士と相談しながら専門的立場から各家庭に応じた進め方を伝える事ができました。未入所児フレンズデーでは地域の方に保育所を開放し、子育ての楽しさを一緒に共有できるように努めました。
4. 外部研修や内部研修で得た情報や知識を職員間で共有し、保育の中で実践する事ができました。
5. マニュアルの見直しを行い、感染症に対する知識を深める努力をしました。また、感染症の早期発見に努め本的な感染対策を継続して行っていく事により、感染症拡大防止に努める事ができました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　17,338　名
2. 月 別 利 用 状 況（名）　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	79	92	109	113	101	109	117	109	110	111	101	116	1,267
1歳児	214	214	203	207	216	193	231	222	201	211	220	224	2,556
2歳児	231	236	237	233	216	213	257	226	218	228	230	241	2,766
3歳児	307	320	336	315	293	303	329	306	296	284	284	306	3,679
4歳児	296	310	339	303	300	303	309	309	292	305	295	310	3,671
5歳児	295	284	315	285	276	270	300	289	267	270	278	270	3,399
計	1,422	1,456	1,539	1,456	1,402	1,391	1,543	1,461	1,384	1,409	1,408	1,467	17,338

3. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	75	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	79
退 所 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	75	78	78	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79

【利用者サービスの状況】

1．保　　育

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R5.06.06～R5.06.09	クラス別保育参観	感染症拡大防止の為、クラス別に保育参観を実施し、普段の保育所生活の様子を保護者様に見ていただいた	利用者	62名
			職　員	19名
R5.06.20	食育について(野菜の種類・栄養について)	栄養士により栄養素について色分けされた絵を見ながらご指導いただく　また、箸の持ち方について説明いただく	利用者	16名
			職　員	3名
R5.06.22	食育について(野菜の栄養と食事マナーについて)	栄養士により栄養素について色分けされた絵を見ながらご指導いただく　また、食事中の挨拶やマナーについて分かりやすく説明していただく	利用者	28名
			職　員	4名
R5.06.27	翔裕園交流会	利用者の方々とゲームをしたり、表現遊びを発表したりしながら楽しい時をすごした	利用者	13名
			職　員	3名
R5.08.08	おまつりごっこ(太鼓演奏)	南方農村環境改善センターを会場にゆき・にじ組の保護者様を招待し、太鼓演奏の発表を行う	利用者	32名
			職　員	7名
R5.08.09	おまつりごっこ(屋台巡り)	盆踊りを踊ってから、クラス毎に手作りの屋台巡りをし、お祭り気分を味わう	利用者	76名
			職　員	19名
R5.08.22	未入所児フレンズデー	保育所に入所していないお友達に保育所に遊びに来ていただき、年齢ごとの活動に参加していただき保育所体験を行った	利用者	1名
			職　員	2名
R5.09.15	敬老の日プレゼント配布	近隣の老人施設へ敬老の日にちなみ子どもたちの手作りプレゼントを配布した	利用者	0名
			職　員	2名
R5.09.24	登米市子どもまつり	登米市子どもまつりに保育所紹介の掲示物を作成し、掲示していただき南方保育所の良さをPRした	利用者	0名
			職　員	0名
R5.09.27～R5.09.29	運動会	感染症対策のため、3日間、2クラスずつ運動会を南方定住促進センターにて行った 保護者様は1家族2名まで参加いただき実施した	利用者	78名
			職　員	18名
R5.10.05	幼年消防クラブの集い	登米市消防署の職員の方々が保育所に来所し、煙体験をしたり、防火の意識を高める取り組みを一緒に行った	利用者	30名
			職　員	5名
R5.10.12	翔裕園交流会	翔裕園の庭にて子ども達の遊戯を披露したり、利用者様と交流を行った	利用者	16名
			職　員	3名
R5.10.16	事業所内保育所交流	キッズつぼみにて2歳児クラスの交流を行う　広々とした芝生にて様々な遊びを楽しむ事ができた	利用者	10名
			職　員	4名
R5.10.17	クッキング(手巻き寿司)	昼食時に自分で食べる手巻き寿司を作り、食への関心を深めた	利用者	30名
			職　員	4名
R5.10.17	南寿荘との交流	南寿荘の職員が来所し、ゆき組代表者2名に利用者様の手作りプレゼントを渡していただいた	利用者	2名
			職　員	1名
R5.10.18	未入所児フレンズデー	保育所に入所していないお友達に保育所に遊びに来ていただき、年齢ごとの活動に参加していただき保育所体験を行った	利用者	3名
			職　員	5名
R5.11.02	東郷小学校交流会	小学校に入学することに期待感を持ちながら各ブースに分かれて様々な遊びを楽しんだ	利用者	1名
			職　員	1名
R5.11.02	保幼小交流会	学校探検や授業体験を経験し、小学校に入学する事に期待感を持つ事ができた	利用者	9名
			職　員	2名
R5.11.02	西郷フェスティバル	小学生が作った遊びのコーナーで小学生に案内されながら体験をし、楽しい時間を過ごす事ができた	利用者	5名
			職　員	1名
R5.11.20	勤労感謝の日プレゼント配布	日頃の感謝の気持ちを込めて、南方駐在所の職員をお招きし、子ども達の手作りプレゼントを配布した	利用者	23名
			職　員	5名
R5.12.02	恵泉会50周年・南方保育所45周年記念お遊戯会	クラス毎に日頃の表現活動の様子をご家族様に発表した また、恵泉会50周年を記念し、職員発表を行った	利用者	71名
			職　員	19名
R6.01.30	クッキング(クレープ作り)	クレープに生クリームやチョコレート、フルーツなどをトッピングし、自分で作ったものを美味しく食べた	利用者	32名
			職　員	4名
R6.02.02	保幼小交流会(佐沼小学校)	1年生の授業を見学する事で小学校入学への期待感を持つ事ができた	利用者	1名
			職　員	1名
R6.02.13	光風園よりバレンタインプレゼントをいただく	光風園職員が来所し、ゆき組の子ども達へプレゼントをいただく　また、保育所からも手作りのプレゼントをお渡しする	利用者	16名
			職　員	3名
R6.02.14	クッキング(カップケーキのトッピング)	バレンタインデーにちなみカップケーキにフルーツやチョコなどトッピングをして楽しみ、おやつに食べた	利用者	27名
			職　員	4名

R6.03.13	お別れ会	修了児をお祝いし手作りプレゼントを渡したり、ゲームをして楽しんだり楽しい時間を過ごした	利用者	75名
			職　員	16名
R6.03.23	修了式	令和5年度修了児のお祝いの会を行った	利用者	16名
			職　員	16名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.27	保育研修	施設長　保育士	保育士　7名
R5.05.24～25	コンプライアンス研修	施設長	保育士　16名
R5.05.29	実習生指導者研修	保育士	保育士　9名
R5.06.12	救命救急講習（気道異物の除去方法）	登米市消防西出張所	保育士　9名
R5.06.28	水遊びについて　首の座っていない子の対応について	保育士	保育士　7名
R5.06.29	気になる子の支援について	こじか職員	保育士　10名
R5.08.30	消毒の効果的な仕方・便の時のオムツ交換の仕方について	保育士	保育士　8名
R5.10.03	消火器の使い方について	登米市消防西出張所	保育士　18名
R6.02.27	人権擁護・虐待予防研修	仙台法務局登米支局	保育士　8名
R6.03.26	人権擁護のためのセルフチェックリスト		全職員

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R5.04.13	令和5年度保育士養成校保育実習協議会	宮城県保育士養成校連絡協議会	大崎市	職員1名
R5.04.28	令和5年度登米地方保育所協議会総会	登米地方保育所協議会	登米市	職員2名
R5.05.15	宮城県保育協議会総会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R5.05.19	令和5年度第1回幼保小連絡会	登米市	登米市	職員1名
R5.06.14	令和5年度第1回特別支援教育研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.06.21	令和5年度宮城県社会福祉施設　事務担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.06.22	令和5年度第1回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.06.22	女川しおかぜ保育所　アスイク保育園見学	自主研修	女川町他	職員2名
R5.06.26	幼児教育指導者研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.06.29	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.07.07	豊里こども園見学	自主研修	登米市	職員2名
R5.07.11	保育施設職員研修	宮城県保育協議会	オンライン	職員1名
R5.07.13	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.07.24	児童文化普及事業「児童文化講座」	宮城県子ども総合センター	大崎市	職員1名
R5.07.26	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.07.27	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.07.28	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.08.02	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.08.03	令和5年度登米市保育所・こども園・幼稚園・小学校関連研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.08.10	公の施設使用料等の見直しに係る説明会	登米市	登米市	職員1名
R5.08.17	登米市担当課と登米市内学童保育民間施設情報交換会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.08.29	令和5年度登米市保育所児童館等中堅・監督職員研修	登米市	登米市	職員1名
R5.09.06	アーム開閉式刺股の使用方法について	登米市	登米市	職員1名
R5.09.14	安全運転管理者等法定講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R5.10.11	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.10.12	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.10.12	令和5年度第2回特別支援教育研修会	登米市	登米市	職員1名

R5.10.13	令和5年度第1回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.10.20	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.10.26	社会福祉法人恵泉会創立50周年記念式典	恵泉会	登米市	職員3名
R5.10.30	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.11.05	令和5年度登米地方保育所協議会全体研修会	登米地方保育所協議会	登米市	職員11名
R5.11.14	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.11.29	令和5年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R5.12.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員2名
R6.01.11	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.01.16	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.01.23	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.01.26	保幼小連絡会	登米市	登米市	職員1名
R6.01.29	次世代リーダー研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.02.06	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.02.09	令和5年度登米市特別支援教育コーディネーター連絡会	登米市	登米市	職員1名
R6.02.21	経営者研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.02.26	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.02.29	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.03.04	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	法人本部	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、保育士、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
年8回	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
年2回	地域交流委員会	事務室	委員他
年12回	研修委員会	事務室	委員他
年3回	サービス向上委員会	事務室	委員他
年3回	事業計画検討委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.08.02～3	登米市社会福祉協議会	職場体験	3名
R5.10.11～12	登米市立南方中学校	職場体験	2名
R5.10.24～26	宮城県登米総合産業高等学校	職場体験	1名

2．実習受入状況

年 月 日	団　　体　　名	実　　習　　内　　容	実 人 数	延 人 数
R5.06.05～06.16	仙台こども専門学校	保育実習Ⅰ期	1 名	10 名
R5.07.03～07.14	仙台こども専門学校	保育実習Ⅱ期	1 名	10 名
R5.09.11～09.22	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1 名	10 名
R5.09.25～10.06	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1 名	10 名
R5.11.20～12.01	宮城学院女子大学	保育実習Ⅰ期	1 名	10 名
計			5 名	50 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

(1)子どもの最善の利益を考慮

子ども一人ひとりにとって何が大切なのか、どのような支援が必要なのかを最優先に考えた生活の場を提供します

(2)養護と教育を一体的に行う

家庭と緊密な連携を取り、子どもの命を守りながら情緒の安定を図り(養護)、発達を促す活動の援助(教育)を行い

(3)保護者と地域の子育て家庭に対する支援

保護者様や地域の子育て家庭に対して支援を行います。

(4)保育士の専門性の向上

計画的に研修会に参加し、職員の資質向上に努めます。

(5)児童及び児童に関わる人々の健康管理の徹底

健康管理を徹底する事により感染症のリスクを下げ、基本的な感染対策を継続して行っていく事により、安心安全な環境で保育を行います。また、感染症の対応におきましては、今後も国や県からの通知に合わせて柔軟に対応していきます。

令和5年度
事業所内保育所キッズつぼみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成28年 4月 1日
5. 利　用　定　員　　19名

【　基　本　方　針　】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

重　点　項　目

（１）子育ち、子育ての拠点として:新型コロナウイルスが5類へ移行となるも、夏祭り当日に感染症の報告を受け急遽中止になるなど、感染症の状況に応じて園外活動や交流会を行いました。保護者様にはその都度連絡し、連携を密にしながら保育を行うよう努めました。

（２）地域ニーズ:登米市の動向を視野に入れながら、保護者様のニーズを把握するよう努めました。

（３）保護者との連携:個々に応じた保育を行いながら、保護者様と子ども達の成長を喜び合い、感染症対応時には密に情報交換をしながら、日々の保育に努めました。

（４）社会的使命感:事業所内保育所として法人で働く職員が安心してお子さんを預け、働くことができるように努めました。また、地域の方々には、保育所をご利用していただけるように今後も保育所のPRを継続して行っていきます。

（５）研修:保育状況を見ながら外部研修に参加しまた。内部研修に重点をおき、職員の知識向上に努めました。

（６）連携:登米市子育て支援課、石巻保健所登米支所、嘱託医との連携を図り、保護者様に状況をしっかりと周知しながら感染症拡大防止に努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　3,380 名
2. 年間稼働率　　64.93 %
3. 月別利用状況（名）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	22	24	35	68	96	98	112	111	110	86	96	106	964
1歳児	81	95	102	91	87	91	98	89	93	72	85	96	1,080
2歳児	109	120	128	116	105	106	119	114	105	90	105	119	1,336
計	212	239	265	275	288	295	329	314	308	248	286	321	3,380

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	13	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	17
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	13	13	13	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17

【利用者サービスの状況】

1. 保　　育

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.04.19	クッキング（おにぎり）	自分たちで作る楽しさを、お友達と共有しながら行いました。	利用者　6名 職　員　2名
R5.05.02	トマト・ピーマン苗植え	食育の一環として、2歳児6名で夏野菜の苗を植えました。	利用者　6名 職　員　3名

R5.05.08	登米図書館 塗り絵掲示参加	登米図書館よりお声がけ頂き、作成した塗り絵を図書館内に掲示して頂きました。	利用者　6名 職　員　2名
R5.05.19	はじめましての会 創立50周年記念行事	保護者様と一緒に、創立50周年記念として理事長のメッセージを拝聴した後、保育参観を行いました。	利用者　10名 職　員　9名
R5.05.26	ピクニック	季節を感じながら、遠山荘のウッドデッキにて開放的に昼食を楽しみました。	利用者　13名 職　員　8名
R5.06.02	お楽しみ会 （歯磨き教室）	むし歯予防デーにちなみ、歯磨きに関するペープサートを見せ、歯磨きの大切さを分かりやすく子どもたちに伝えました。	利用者　12名 職　員　6名
R5.06.05	光風園との交流会	光風園を訪問し、お遊戯・手遊びを披露し、利用者様と和やかな時間を過ごしました。	利用者　8名 職　員　4名
R5.07.07	七夕会・七夕交流会	午前中、保育室にて七夕の由来を聞いた後ゲームを楽しみました。午後、遠山荘にてお遊戯を披露し利用者様方と和やかな時間を過ごしました。	利用者　13名 職　員　6名
R5.07.11	トマト・ピーマン 収穫	畑にて、トマト・ピーマンを収穫しました。収穫した野菜は、昼食時に提供しました。	利用者　6名 職　員　2名
R5.07.14	事業所内交流会	こじかの利用者7名・職員4名来所され、園庭にて玩具遊びを行いました。未就学同士で追いかけっこや虫探し等を楽しむ様子が見られました。	利用者　8名 職　員　3名
R5.07.19	クッキング （トウモロコシの皮むき）	自分でトウモロコシの皮を剥く事で出来た喜びや、達成感を味わいました。また、季節の食材に触れる経験をしました。	利用者　9名 職　員　4名
R5.07.26	じゃがいも収穫	毎日水掛をして育てたじゃがいもを収穫しました。土から掘り出すたびに歓声が上がり、栄養士に依頼し、昼食時に提供となりました。	利用者　5名 職　員　2名
R5.08.07	夏祭りごっこ	8月4日に予定されていた夏祭りが中止になった為、後日保育士と夏祭りごっこを行ないました。	利用者　12名 職　員　6名
R5.08.31	プール納め ゼリーすくい・スイカ割り	プール活動最終日なので、スイカ割りやゼリーすくい等夏ならではの活動を楽しみました。	利用者　13名 職　員　5名
R5.09.01	絵本原画展参加	水の里ホールにて、絵本の読み聞かせを聞いたり、様々な絵本に触れる良い機会となりました。	利用者　5名 職　員　4名
R5.09.08	保育参観	保護者様に、子ども達の保育の様子や成長した姿を見て頂きました。	利用者　15名 職　員　7名
R5.09.29	登米秋祭り	登米市観光物産協会よりお声がけ頂き、4年ぶりに地域行事に参加し、地域の方々との交流を楽しみました。	利用者　9名 職　員　3名
R5.10.06	運動会	屋外遊技場で開催する予定で進めていましたが、強風のため急遽保育室内で開催しました。月齢に合わせた運動を行い、身体を動かす事を楽しみました。	利用者　13名 職　員　9名
R5.10.16	事業所内交流会	南方保育所の2歳児と、ゲームをしたり一緒に活動を通して楽しく交流しました。	利用者　6名 職　員　3名
R5.10.18	戸外活動	地域の児童館の敷地内遊具を使用し、身体を十分に動かして、楽しく遊んできました。	利用者　10名 職　員　3名
R5.10.30	お楽しみ会 （ハロウィン）	ハロウィンの由来にふれ、楽しく仮装し遠山荘を訪問しました。	利用者　16名 職　員　6名
R5.10.31	クッキング （フルーツパフェ）	自分達で作る楽しさを、お友達と共有しながら行いました。	利用者　11名 職　員　4名
R5.11.02	光風園との交流会	光風園を訪問し、お遊戯・手遊びを披露し、利用者様と和やかな時間を過ごしました。	利用者　6名 職　員　3名
R5.11.15	お楽しみ会 （七五三）	登米神社へ行き、鳥居の前で健やかな成長を祈念してきました。	利用者　15名 職　員　4名
R5.11.20	戸外活動 （警訪問察署）	勤労感謝の日を意識し、お世話になっている警察の方々にプレゼントを渡しました。パトロールカーに乗り、マイクで声を出す体験をしてきました。	利用者　5名 職　員　2名
R5.12.01	お遊戯会	登米公民館を会場に、お遊戯会を開催しました。広い会場で楽しくお遊戯を披露することが出来ました。	利用者　16名 職　員　9名
R5.12.21	クリスマス交流会 （遠山荘）	遠山荘を訪問し、お遊戯・手遊びを披露し利用者様と和やかな時間を過ごしました。	利用者　15名 職員　5名
R5.12.22	フレンズデー （クリスマス）	クリスマスならではの雰囲気を味わいながら、未入園児と交流を楽しみました。（未入園児1名参加）	利用者　17名 職員　6名
R6.01.05	お楽しみ会 （お正月）	筆を持ち、干支の「辰」を書いた後、餅つきゲームを行い、お正月ならではの伝統行事に親しみました。	利用者　12名 職員　6名

R6.01.17	防災センター見学	防災センターを訪問し、消防車や救急車を間近で見て乗って、興味深い体験をすることが出来ました。	利用者 3名 職員 2名
R6.01.24	防災センター見学	防災センターを訪問し、消防車や救急車を間近で見て乗って、興味深い体験をすることが出来ました。	利用者 3名 職員 2名
R6.02.09	お楽しみ会 （節分）	クラスごとに制作した鬼の面を付け、輪投げゲームを行い、伝統行事に親しみました。	利用者 13名 職員 5名
R6.03.01	ひな祭り会 （遠山荘との交流会）	午前中、保育室にてひな祭りの由来を聞いた後ゲームを楽しみました。午後、遠山荘にて利用者様とゲームを行い、和やかな時間を過ごしました。	利用者 13名 職員 6名
R6.03.19	クッキング （ホットドック・ シャカシャカポテト）	お楽しみ給食とあって、どの子も楽しそうに手順良く作り、楽しい給食の時間を過ごしました。	利用者 11名 職員 3名
R6.03.22	大きくなったね会	一年間の子ども達の成長を保護者様と一緒に振り返り、子ども達が感謝の気持ちのこめて作ったプレゼントを渡しています。	利用者 16名 職員 9名

＊この他、該当月にお誕生会を実施します。

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R5.04.25	コンプライアンス研修	管理者	保育士 3名
R5.04.26	コンプライアンス研修	管理者	保育士 3名 栄養士1名
R5.05.10	感染症発生時の方法・手段について	保育士	保育士 4名
R5.05.24	食中毒予防	栄養士	管理者 保育士 3名
R5.06.05	新型コロナウィルス感染症対策について	NPO法人	管理者 保育士 6名
R5.06.16	水遊びの安全性と危険性について	保育士	管理者 保育士5名
R5.10.18	感染対策について	遠山荘 看護師	管理者 保育士4名
R5.11.02	アレルギー疾患について	保育士	管理者 保育士5名
R5.12.07	人権擁護について（セルフチェック）	管理者	保育士 5名 栄養士1名
R6.01.04	虐待について	管理者	保育士 7名 栄養士1名
R6.02.26	遊びの土台作りと指導者の役割について	保育士	管理者 保育士 3名
R6.03.26	年間事故報告研修について	保育士	管理者 保育士 4名

（2）外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R5.04.24	令和5年度人事考課者研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.06.22	保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R5.08.17	食品衛生責任者実務講習会	登米市	登米市	職員1名
R5.09.01	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.09.06	令和5年度教育・保育施設等防犯講習会	登米市	登米市	職員1名
R5. 10. 2 ～R6.1. 31	令和5年度宮城県保育士等キャリアアップ研修	宮城県	オンライン	職員1名
R5.11.29	令和5年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R5.12.11	保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.01.29	令和5年度恵泉会次世代リーダー研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.02.16	こどもの食物アレルギー研修	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R6.02.21	経営者研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名

2．会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員(保育状況を考慮)
保育会議	利用者の状況について	毎月1回	保育士全員(保育状況を考慮)
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員 (保育状況を考慮)

(2) その他の会議

開催日	内　容	場　所	出席者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	研修委員会　マニュアル検討委員会	保育室	委員他
年3回	入所判定委員会	保育室	委員他
年10回	サービス評価委員会	保育室	委員他

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
無			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
無				

【 今後の取り組み 】

５月に新型コロナウイルス感染症が５類へ移行されましたが、今後も感染状況に応じて園外活動や、他施設、地域との交流会、実習生、ボランティアの受け入れ等を行っていき、運動会やお遊戯会等の保護者様の参加人数を緩和していきます。

また、新型コロナウィルス感染症だけではなく、各感染症の拡大防止の観点から引き続き手指消毒、 消毒清掃、検温、マスク着用等の対策をとり、子ども達の健康を守りつつ、様々な経験を重ねながら、のびのびと活動できるようにしたいと考えております。

さらに、当事業所の特徴を多くの方々に知っていただき、利用人数が少しでも増えるよう必要な広報(PR) 活動を積極的に行っていきたいと思います。

令和5年度
特別養護老人ホーム光風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－3
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和51年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

令和5年度は、コロナウイルス感染が5類となり、家族や地域との交流も、一部規制緩和し交流を再開、法人50周年の記念行事を含め利用者が喜ぶ姿が見られました。
施設経営においては、課題の安定経営について特に短期入所を安定的に稼働させることができました。認知症や重度の方など幅広く対応し、新規利用者獲得にもつなげることができました。また、職員の育成においても資格取得のための外部研修に参加でき、意欲の向上・活性化を図ることができました。

①法人創立50周年について
納涼祭をはじめ50周年記念行事を実施、利用者や家族お世話になった地域の団体等に50年の感謝を伝え、次世代へのスタートを新たな気持ちで切ることができました。

②感染症や災害への対応力強化
BCP計画に基づき、基本の研修や環境整備、備蓄品の確保、訓練の定期的実施を行いました。
特に感染症に関しては、コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザの爆発的な流行も有り、継続的で確実な感染対策を講じ感染防止に努め、施設内の重大な感染拡大は見られませんでした。

③地域包括ケアシステムの推進、地域との連携
認知症介護実践者研修の受講者が中心となり、認知症の方が得意とすることや希望を生活の中に取り入れ、検討と実践を重ねることでチームでの対応力強化を図りました。

④自立支援・重度化の防止・看取りケアの実施の推進
寝たきり・褥瘡予防・重度化防止については、コロナウイルス感染症の蔓延があり、十分な取り組みはできませんでした。食事面からのアプローチは継続的に行い健康管理に努めました。また、看取りケアは継続して取組み6名の方をお見送り、主治医・協力病院と連携し穏やかな最期を送れるよう支援することができました。

⑤介護人材の確保・育成、介護現場の革新
外部研修やWeb等を活用した研修機会の確保と法人の初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し中堅職員の育成につなげることができました。

⑥介護事故・虐待防止
認知症介護実践者研修への参加による、認知症利用者への取り組みなどであらためて介護の内容を見直し、利用者の精神的な安定や能力の開発に繋げることができました。また介護事故についてはその都度委員会での検討を行い、事故防止に努めました。

⑦施設整備
令和5年度は、福祉車両リフトバスを購入しました。現状の問題は、建物だけではなく福祉機器特に介護用ベッドが経年劣化がすすみ、購入年数が古く修理もできない物が多くなり早急な対策が必要です。

⑧法人内他事業所との連携
登米・豊里エリア事業所間でお互いに助け合う気風が定着、感染対策や福祉車両の貸し借りなど、協力体制を構築し支え合う体制ができています。

⑨家族、地域との連携
コロナウイルス感染症5類移行以後、ご家族、地域の関係団体と面会や定期的な交流の規制を一部緩和再開し、利用者の生活意欲向上につながりました。

⑩経営安定化
短期入所の安定した稼働など効率的な空床管理を実施することができました。また経費削減についても特に光熱水費の節約を意識して継続的に実施、効果を得ることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　17,299 名
2. 年 間 稼 働 率　　94.53 %
   (目 標 稼 働 率　　98.00 %)
3. 年間平均介護度　　4.24

4. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	180	205	203	184	165	150	155	150	155	155	116	124	1,942
要介護 4	785	837	805	799	745	729	789	716	735	763	699	805	9,207
要介護 5	433	455	454	470	496	529	546	583	591	554	481	558	6,150
計	1,398	1,497	1,462	1,453	1,406	1,408	1,490	1,449	1,481	1,472	1,296	1,487	17,299

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	20
退 所 者 数	2	1	1	3	1	2	1	2	2	0	4	1	20
月末入所者数	49	49	50	49	49	48	49	49	48	50	47	49	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行事　　延べ参加者数 386名　　年間実施回数 7 回

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.04.20	春まつり	外出の機会が少ない為、園庭を散策し気分転換と春の空気を味わって頂きました。又、ゲームや職員余興で楽しむ事で、生活意欲の向上に繋げる事が出来ました。	利用者 41名 職 員 13名
R5.06.05	キッツつぼみとの交流会	キッツつぼみの園児達の踊りを鑑賞し、笑顔で手拍子をされていた。短い時間であったが子供達から元気をもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。	利用者 30名 職 員 5名
R5.07.20	恵泉会50周年記念 光風園夏祭り	恵泉会50周年を記念して、光風園夏祭りを盛大に行った。久しぶりにアトラクションを依頼、利用者の皆さんに笑顔で過ごして頂くことが出来た。又かき氷やスイカ割り、カラオケで楽しい時間を過ごして頂いた。	利用者 50名 職 員 18名
R5.08.10	盆供養	利用者と職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。	利用者 48名 職 員 11名
R5.09.21	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝うと共に長年の労に感謝し、健康を祈りました。	利用者 49名 職 員 15名
R5.11.02	キッツつぼみとの交流会	キッツつぼみの園児達のダンスを鑑賞し、笑顔で手拍子をされていた。短い時間であったが子供達から元気をもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。	利用者 44名 職 員 12名
R6.01.05	新年会	職員による宮司や獅子舞の登場で利用者の皆さんに大変喜んで頂いた。手作りの賽銭箱に賽銭を入れ拝む様子も見ることが出来た。	利用者 39名 職 員 11名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,429 名
2. 年 間 稼 働 率　　78.09 %
   (目 標 稼 働 率　　90.00 %)
3. 年間平均介護度　　3.24

4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	22	22	12	23	30	43	20	5	0	0	0	0	177
要介護 2	3	9	23	20	30	27	23	34	45	34	21	27	296
要介護 3	30	32	24	21	25	16	24	19	13	8	16	17	245
要介護 4	45	33	71	42	22	35	36	26	43	25	11	42	431
要介護 5	29	34	9	13	16	30	44	38	24	11	8	24	280
計	129	130	139	119	123	151	147	122	125	78	56	110	1,429

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講 師 (講 演 者)	参　加　者
R5.04.03	防災設備・防災関係	主任	転勤者4名
R5.05.02	車輌研修	主任・副主任	転勤者4名
R5.05.11	利用者急変時対応研修・看取り研修(オンコール・医療に関する急変対応等)	看護師	光風園職員9名
R5.05.18	看取り研修(ターミナルケア・介護者の精神的ケア)	看護師	光風園職員11名
R5.05.25	食中毒予防研修	管理栄養士	光風園職員8名
R5.05.31	身体拘束廃止研修	介護福祉士	光風園職員6名
R5.06.22	歯科研修(口腔ケア)	中江歯科　歯科衛生士	光風園職員6名
R5.06.29	不審者対応訓練	主任	光風園職員14名
R5 .7/6・13	排泄ケア(オムツのあて方)研修	白十字	光風園職員17名
R5.07.15	脱水・水分補給研修	看護師	光風園職員5名
R5.07.27	接遇研修	主任	光風園職員5名
R5.08.10	虐待防止研修	介護福祉士	光風園職員9名
R5.09.19	介護事故防止研修	介護福祉士	光風園職員10名
R5.09.28	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員9名
R5.10.19	身体拘束廃止・虐待防止研修	介護員	光風園職員10名
R5.11.02	褥瘡予防研修	看護師	光風園職員8名
R5.11.24	歯科研修(口腔ケア)	中江歯科　歯科衛生士	光風園職員5名
R5.12.14	身体拘束廃止事例検討研修	介護福祉士	光風園職員8名
R5.12.21	感染症予防研修	看護師	光風園職員12名
R6.01.11	接遇研修	介護福祉士	光風園職員8名
R6.01.25	プライバシー研修	副主任	光風園職員10名
R6.02.22	介護事故防止研修「ヒヤリハット」	介護福祉士	光風園職員11名
R6.02.22	感染症予防研修「シミュレーション」	看護師	光風園職員11名
R6.03.06	認知症介護基本研修	介護福祉士	光風園職員8名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.6.7	アーサティブコミュニケーション研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.6.30	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米祝祭劇場	職員1名
R5.7.5	宮城県介護職員合同入職式	宮城県介護人材確保協議会	仙台国際センター	職員1名
R5.7.12	恵泉会新任職員研修	宮城県介護人材確保協議会	仙台国際センター	職員1名
R5.08.04	アンガーマネージメント研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員2名
R5.08.07	コミュニケーション技術・退陣援助技術研修(基礎)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.08.08	接遇講習会	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R5.09.08	スーパービジョン研修	宮城県社会福祉協議会	JAビル宮城	職員1名
R5.09.08	メンタルヘルス研修	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R5.10.12	福祉職場に求められるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	JAビル宮城	職員1名
R5.10.12	看護管理者ネットワーク会議	宮城県看護協会	登米市民病院	職員1名
R5.10.13	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名

R5.10.23	コミュニケーション技術・退陣援助技術研修(実践)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.10.24	給食施設集団指導	宮城県石巻保健所	登米合同庁舎	職員1名
R5.10.31	コーチング研修(実践編)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.11.09	権利擁護制度研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.11.16	登米市在宅医療・介護連携推進研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.11.08	宮城県認知症介護実践者研修 R5.11/09,11/20,11/21,R6.1/30	宮城県	宮城県介護研修センター	職員1名
R5.12.18	恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員2名
R6.01.29	恵泉会次世代リーダー研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員1名
R6.02.16	登米栄養士会全体研修会	登米栄養士会	登米合同庁舎	職員1名
R6.02.21	経営・管理職研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員1名
R6.03.08	施設での看取り研修	やまと在宅診療所	登米市民病院	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	毎月第4火曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	毎月1回月初め	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	毎月第2火曜日	介護・看護・相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	ケア会議時・随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	毎月1回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項について協議	月1回～2ヶ月に1回	各部会代表者

3. 委 員 会 開 催 状 況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参 加 職 員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	月1回火曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員のスキルアップのため内部研修を開催しました	月1回火曜日	委員
マニュアル検討委員会	マニュアルを見直し、必要に応じデータ更新しました		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討と業務内容の見直し	月1回火曜日	施設長と委員
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討と事故後の事故検証	月1回火曜日	施設長と委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	見守りセンサー等の活用と、負担軽減・事故防止の検証		
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画に沿った訓練を実施、検証しました	2月1回木曜日	施設長と委員
摂食嚥下リハビリテーション推進委員会	安全かつ楽しく食事できるよう摂食嚥下に関する取り組みを検討	月1回水曜日	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R.5.7.20	植正一家・田舎芸人 植正まさとし一家	恵泉会50周年記念夏祭りで唄や踊りの披露	6名
R.5.9.21	涌谷安来節保存会	長寿を祝う会での演芸披露	2名
計			8名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
無				
計				0名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
・見取りへの対応強化
施設での看取り介護を継続、委員会による検討を重ね看取りの質の向上を図ります。
・感染症や災害への対応力向上
BCP計画を基に、研修や訓練を継続的に実施し計画の見直しを行います。
・高齢者虐待防止の推進、認知症対応力の向上
研修や資格取得による介護の質の向上と明るく穏やかなコミュニケーションを心がけ働きやすい職場環境を作ります。

2. 自立支援・重度化の防止に向けた対応
・リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組
・自立支援・重度化防止に係る取組の推進
・ライフを活用した質の高い介護
・アンケート実施や事業計画の周知を行い利用者の意向をサービスに反映させ生活意欲の向上につなげます。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
・介護職員の処遇改善
人事考課制度を活用し適正な評価による働く意欲の向上と制度のさらなる充実を目指します。
・生産性の向上を等を通じた働きやすい職場環境つくり
生産性向上委員会の立ち上げと課題の抽出、環境改善の実施
・効率的なサービス提供の推進

4. 制度の安定性・持続可能性の確保
・介護保険の趣旨に則り制度の安定性・持続可能性を高め、すべての世代にとって安心できる制度構築の役割を担います。

5. 施設整備
・施設設備が老朽化しており、計画的な改修等が行えるよう、広い視野と地域の実情や福祉施策を踏まえ慎重に検討を進めます。

6. 地域貢献
・地域との交流を活性化するとともに、清掃活動など新たな活動を行い、施設も地域社会の一員として協働に向け取り組みます。

7. 経営安定化
・利用者の重度化による在籍日数の短期化と入院の増加に対し、短期入所での利用など
効率的な空床管理を実施、目標稼働率の達成につなげます。また、節電等経費削減に努めます。経営の安定化―経費増大が課題です。空床のコントロールを適正に行い、目標の稼働率を達成するとともに、適正な支出となるよう経費削減に努めます。

8. 法人内連携
・ゆりの郷はもとより、登米・豊里地区の事業所と連携を図りスムーズな運営に努めます。

令和5年度
特別養護老人ホーム松風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　登米市豊里町笑沢153－62
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和58年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が心配される中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続性の確保」に取り組みました。
特に今年度は、法人創立50周年と当施設開設40年の節目の年に当たり、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援しました。
そして、すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日常生活が維持出来る様、職員と利用者が「パートナーシップでみんなの幸せづくりを」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行うと共に、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

(1)　利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援しました。

・利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援しました。
・地域イベントへの参加について、とよさと*おうち花火大会や豊里地区市民文化祭への作品出展等を行いました。
・常に利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援に努めました。

(2)　利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行いました。

・リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めました。
・ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できました。
・施設サービスの策定・実施・評価を行いより良いサービスの向上に努めました。

2　サービス向上に向けた取り組み

(1)　ケアパレット・介護ロボットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめました。

・ケアパレット・介護ロボット導入により、介護業務の効率化・最適化が図れました。また介護ロボットにより、利用者の方の状態がパソコンで表示され、異常時には早期に気付ける事など健康状態の把握ができました。また映像確認による見守りシステムでは、介護事故防止等利用者の安全・安心と介護体制の強化が図れました。

(2)　中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めました。

・短期入所生活介護利用の際、訪問看護ステーション等医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受入れも対応出来ています。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中心施設としての役割を果たすよう努めました。

(3)　医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけさせました。

・医療・福祉関係の資格を有さない職員の該当者はありませんでしたが、認知症についての内部研修を行うことにより職員全体の対応力向上を図りました。

(4)　介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら介護事故防止に努めました。

・事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めました。
・常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めました。

(5)　介護サービスの質の評価と科学的介護の取り組み(科学的介護推進体制加算)を実施し介護サービスの質の向上を図りました。

・サービス評価等により、施設における問題点を把握し、改善する事でサービスの質の向上が図れるように取り組みました。
・科学的介護の取り組み(科学的介護推進体制加算)について、科学的介護情報システム（LIFE）へのデータ提出とフィードバック情報の活用により、全国の利用者と比較し現状を把握することができました。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

(1)　職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めました。

・ハラスメント担当者を配置し職場の雰囲気作りや、職員にとって安心安全な職場に努めました。
・新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインによる多くの研修会に参加し研鑽を図る事が出来ました。

(2)　法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行いました。

・法人内で実施している研修について、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン研修等での講師派遣により、次世代の人材育成に努めました。

(3)　社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げました。

・新型コロナウイルス感染症、感染防止策を講じながら、実習生、各種ボランティアを受け入れました。今後も感染状況に応じながら、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げられよう努めました。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

(1)　住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたりました。

・利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営に取り組みました。また信頼できる事業運営を行えるように継続していきます。

(2)　地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で企画しましたが、できませんでした。

・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し地域に出向きイベント活動を通じ、情報交換に努めました。

(3)　安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えまし
・法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力し、支えあう体制を強化することで、安定経営に努めました。

(4)　地域（庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会）との災害協定を結ぶ。また、既に災害協定を締結している他施設（迫風園、南風園）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応を行いました。

・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害（UPZ圏内）対策について避難計画、マニュアルを策定し訓練を行いました。6月の総合防災訓練、及び10月の夜間想定避難訓練では、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会組織及び庚申地区町内会との合同で避難救助活動を実施しました。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

(1)　感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施しました。

・令和5年11月から約1ヶ月間、新型コロナウイルス感染症で利用者及び職員が罹患したが、感染症対策委員会において、感染状況、感染予防対策また感染時における対応等の検討を行っている事で、感染拡大を防止しながら速やかに対応を図る事が出来ました。

(2)　新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続すると共に、十分に感染予防策を講じながら、対面での面会も視野に入れ対応しました。

・面会については、令和5年5月より制限を緩和し対面で行いましたが、感染発生と同時に窓越し面会やiPadでの面会に切り替え問題なく行うことが出来ました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

(1)　業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、既に作成した業務継続に向けた計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めました。

・感染症や自然災害の発生時における業務継続計画を作成し研修を実施しました。また委員会等で定期的に計画の見直しを行いました。

(2)　毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めました。

・毎月の事業収支、利用状況を会議で周知しました。稼働率は概ね達成し、省エネは毎月の使用量をみて職員に周知しました。

(3)　中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行いました。

・中長期の事業目標、収支・施設整備・新規事業等については、会議を通して全職員に周知し共有しています。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　17,357　名
2. 年　間　稼　働　率　　94.85　％
   （目　標　稼　働　率　　98.00　％）
3. 年間平均介護度　　4.34

4. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 2	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
要介護 3	120	62	90	93	108	120	124	118	119	138	130	110	1,332
要介護 4	710	775	749	775	699	679	733	655	664	735	694	714	8,582
要介護 5	591	651	594	608	632	603	602	589	646	651	595	620	7,382
計	1,451	1,519	1,433	1,476	1,439	1,402	1,459	1,362	1,429	1,524	1,419	1,444	17,357

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	0	1	4	1	2	3	0	0	0	13
退所者数	0	1	0	0	3	3	2	2	1	0	0	3	15
月末入所者数	50	49	50	50	48	49	48	48	50	50	50	47	－2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.04.19	春祭り・松風園設立40周年記念	春まつりと合わせて、松風園設立40周年を祝い過去をスライドショーで振り返えり、春祭りにて新年度職員の紹介と、アトラクションとして職員が踊りを披露し祝っている。	利用者　36名 職　員　17名
R5.05.9.10	よもぎ湯	よもぎを湯に浮かべ、香で季節を感じていただきました。	利用者　34名 職　員　5名
R5.05.14	母の日祝	母の日として記念写真を撮り、廊下へ掲示しました。	利用者　40名 職　員　3名
R5.06.10	屋外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者　5名 職　員　3名
R5.07.07	七夕会	七夕飾りを見て楽しみながら願い事を発表し季節を感じていただいた。	利用者　20名 職　員　3名
R5.07.26	夏祭り	スイカ割、水ヨーヨー、くじ引き等夏を感じていただき楽しんでいただきました。	利用者　40名 職　員　11名
R5.08.12	よさこい見学	よさこい団体が来園し園庭にて「よさこい」を披露していただきました。	利用者　30名 職　員　6名
R5.08.10	おうち花火	豊里町主催行事に参加、園庭にて手持ち、吹上花火を懐かしく楽しんでいただきました。	利用者　10名 職　員　7名
R5.09.29	お月見会	十五夜に因んだ由来を聞きながら中秋の名月を祝いました。	利用者　20名 職　員　3名
R5.09.17	恵泉会創立50周年記念　長寿を祝う会	恵泉会創立50周年記念祝いと利用者の長寿に敬意を表して祝い、ボランティアによるアトラクションを楽しんでいただきました。	利用者　42名 職　員　18名
R5.10.11	芋煮会	野外で芋煮を行い季節を感じていただきました。	利用者　50名 職　員　3名

R5.10.11	野外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者　5名 職　員　2名
R5.10.22	レクリェーション	個人戦で輪投げを行い楽しんでいただきました。	利用者　14名 職　員　2名
R5.12.18.19.20	ゆず湯	ゆず湯に浸かり、身体を温め疲れを癒していただきました。	利用者　48名 職　員　5名
R5.12.25	クリスマス会	利用者と職員で一緒にクリスマスの雰囲気を感じ、楽しい時間を過ごしていただきました。	利用者　21名 職　員　4名
R5.12.27	正月飾り会	年末の恒例である正月飾りを昔を懐かしみながら行っていただきました。	利用者　10名 職　員　3名
R6.01.15	新年会	新年のお祝いと本年も良い日々を送れるよう、新年会を通して皆様に楽しんでいただくと共に良い年初めにしていただきました。	利用者　29名 職　員　12名
R6.01.28	お正月ゲーム	お正月遊びを通して、季節を感じていただくと共に利用者様の親睦を深めていただきました。	利用者　7名 職　員　2名
R6.02.03	節分	年男、年女の利用者・職員により邪気を払い、無病息災を願いました。	利用者　50名 職　員　10名
R6.03.01	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂きました。	利用者　19名 職　員　5名
R6.03.17	レクリエーション ゲーム大会	利用者同士交流を深め、ゲームで体を動かしながら気分転換を図っていただきました。	利用者　6名 職　員　2名
R6.03.19	彼岸供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者　5名 職　員　4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　1,200 名
2. 年間稼働率　81.97 %
   （目標稼働率）　94.00 %
3. 年間平均介護度　3.40
4. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	7	3	3	2	3	0	0	0	0	0	0	5	23
要介護 2	28	27	25	36	23	19	11	9	26	13	9	9	235
要介護 3	44	47	47	44	39	28	37	32	40	32	38	52	480
要介護 4	0	0	0	0	3	3	13	11	22	26	27	56	161
要介護 5	34	27	28	25	27	39	39	12	16	29	17	8	301
計	113	104	103	107	95	89	100	64	104	100	91	130	1,200

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R5.04.11	入浴機器操作について	介護福祉士	職員9名
R5/4/21.5/4・10・24・29.6/6	法令遵守・コンプライアンス研修	施設長	職員25名
R5.05.15	腰痛の起らない介護現場の実現のために	准看護師	職員8名
R5.05.20	公用車の使用手順、操作方法について	介護福祉士	職員6名
R5.06.07	排泄ケア研修	白十字	職員7名
R5.07.07	BCP(自然災害発生時における業務継続計画)研修	生活相談員	職員6名
R5.07.10	褥瘡予防研修	看護師	職員6名
R5.07.31	介護事故について	介護福祉士	職員6名
R5.08.18	高齢者虐待・身体拘束廃止講習	施設長	職員7名
R5.09.04	新任研修(身体拘束廃止)	准看護師	職員2名
R5.09.06	新任研修(高齢者虐待防止)	介護福祉士	職員2名

R5.09.11	移動介助について	介護福祉士	職員5名
R5.09.12	新任研修(食中毒について)	准看護師	職員1名
R5.09.20	新任研修(感染症・急変時対応)	准看護師	職員1名
R5.09.18.26	接遇について	介護福祉士	職員12名
R5.10.07	口腔ケア研修	准看護師	職員7名
R5.10.18	令和5年度人事考課研修	生活相談員	職員4名
R5.10.20	看取りについて	看護師	職員9名
R5.12.02	体位交換について	介護福祉士	職員5名
R5.12.06	リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員5名
R6.01.17	高齢者虐待身体拘束廃止について	介護福祉士	職員8名
R6.01.18	口腔機能と衛生管理について	佐藤歯科医院・医院長	職員15名
R6.01.27	業務継続感染症シュミレーション(感染症)	准看護師	職員9名
R6.01.29	認知症について	介護福祉士	職員6名
R6.02.05	着脱介助について	介護福祉士	職員7名
R6.02.21	メンタルヘルス講習	施設長	職員9名
R6.02.28	普通救命講習	登米市消防本部	職員10名
R6.03.08	防災機器の取り扱いについて	介護福祉士	職員7名
R6.03.11	排泄介助について	介護福祉士	職員6名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.06.06	介護ICTとケアプランデータ連携システムについて	厚生労働省	仙台市	職員1名
R5.06.07	アサーティブコミュニケーション	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.07.12	令和5年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	本部事務局	職員1名
R5.07.19.30.31	介護施設における安全対策担当者養成研修	(公社)福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R5.08.08	令和5年度指定介護サービス事業者等集団指導	東部保険福祉事務所	石巻市	職員1名
R5.09.01	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	本部事務局	職員1名
R5.09.08	令和5年度登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市津山・豊里地域包括支援センター	登米市	職員1名
R5.09.14	令和5年度安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R5.09.19	認知症ケアの理解と実践Ⅰ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R5.09.29	社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.10.04	記録の要点とチームケア	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R5.10.06	認知症ケアの理解と実践Ⅱ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R5.11.01	令和5年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット	オンライン	職員1名
R5.11.08	メンタルヘルス研修	ソウェルクラブ	オンライン	職員1名
R5.11.22	ケアマネジメント研修	登米市津山・豊里地域包括支援センター	登米市	職員1名
R5.11.22	宮城県高齢者権利擁護推進研修ミーティング	日本看護倫理学会	オンライン	職員1名
R5.10～11	介護支援専門員再研修・更新研修	宮城県ケアマネ協会	オンライン	職員1名
R5.12.08	令和5年度地域課題情報交流会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.12.13	令和5年度登米地域感染症対応強化研修	地域医療対策委員会	登米市	職員1名
R6.01.24	厚労省介護BCPセミナー「BCP訓練・入所系」	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.02.14	介護現場における生産性向上推進フォーラム	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.02.16	令和5年度登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市津山・豊里地域包括支援センター	登米市	職員1名
R6.02.20	令和5年度第3回介護ロボット・ICT導入研修会	いきいき岩手支援財団	オンライン	職員1名
R6.03.04	令和5年度高齢者肺炎予防研修会	東部保険福祉事務所	石巻市	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
連絡調整会議	松風園、百楽荘の連絡調整	第1水曜日	施設長、主任、副主任
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び諸課題の検討	第3水曜日	職員
ケア会議	利用者のサービス内容及びケア内容の検討	第2土曜日	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
サービス担当者会議	サービス計画計画に基づき、適切なサービスが実施されるよう検討	毎月	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士

給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長、管理栄養士、給食係、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R6.02.02	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
R6.02.16	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市津山町	職員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第1木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
安全対策検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討・高齢者虐待防止に向けての取り組み	第3木曜日	施設長、各委員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
R5.06.09	令和5年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R5.09.13	令和5年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R5.12.04	令和5年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R6.03.06	令和5年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.04.19	千葉守様一行	民謡、舞踊を披露する	4名
R5.08.09	時津風部屋他	相撲についての講演	4名
R5.08.12	北海道大学	よさこい踊りを披露する	20名
R5.09.17	熊谷流舞踊	舞踊を披露する	11名
計			39名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.05.17	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.05.24	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.05.31	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.06.20	東北医科薬科大学医学部	地域包括医療実習	1名	1名
R5.06.28	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.07.04	東北医科薬科大学医学部	地域包括医療実習	2名	2名
R5.07.05	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.07.12	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.07.19	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.08.09	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.08.10	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.08.14~18	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	10名
R5.08.23	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.08.30	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
R5.08.31	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	2名	2名
計			29名	35名

【今後の取り組み】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加によりその人らしい生活が送れる様に支援します。
- リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養を一体的に推進し、自立支援・重度化防止を効果的に行います。

2　サービス向上に向けた取り組み

- ケアパレット・介護ロボット、ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るりながら、生産性向上等を通じた働きやすい職場環境づくりをすすめます。
- 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけます。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら介護事故防止に努めます。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上を図ります。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げます。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- 地域貢献事業、地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
- 地域（庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、既に災害協定を締結している他施設（迫風園、南風園）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応を行います。

5　感染症や災害への対応力向上に向けた取組

- 新興感染症対策として、感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- 新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、高齢者施設と医療機関の連携を強化し、感染症対応力を向上させます。また、感染症や災害に際して、継続的にサービスを提供出来るための体制づくりや介護現場における安全性の確保に取り組みます。
- これまで新型コロナウイルス感染症等の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況であったが、それを解消するため、iPad等の活用によるオンライン面会を継続すると共に、十分に感染予防策を講じながら、対面での面会にも対応します。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

- 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
- 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- 中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和5年度
豊里デイサービスセンター百楽荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市豊里町笑沢153－78
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年4月1日
5. 利　用　定　員　　30名

【　基　本　方　針　】

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が心配される中で「感染症や災害への対応力強化」を図ると共に、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続性の確保」に取り組みました。
特に今年度は、法人創立50周年の年にあたり、施設運営にあっても、恵泉会基本理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援しました。
そして、すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日常生活が維持できる様、職員と利用者が「パートナーシップでみんなの幸せづくりを」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行うと共に、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により行動制限等規模を縮小しての支援となりました。
- 利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所介護サービス計画書の策定・実施・評価をしました。

2　サービス向上に向けた取り組み

- ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減を図ることができました。
- 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Ⅰイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ることができました。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようになっています。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りましたが、介護事故防止には十分とは言えないのでリスクの検証を更に深め介護事故防止の徹底を図れるように継続して行く必要があります。
- 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組（科学的介護推進体制加算）を実施し介護サービスの質の向上を図りました。

3　介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- 職員が意欲と自信を持って働ける様にハラスメント対策の強化を図りました。また積極的に研修参加を図り、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努め、できる限りWEBを利用し介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めました。また、webを利用する等研修に参加しました。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成に努めました。

4　地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたりました。
- 社会福祉法人の使命の一つとして、継続して食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくしました。
- 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同での開催は新型コロナウイルス感染拡大による影響で開催はできませんでしたが、他事業所と連携を図りながら活動を再開する方向で準備しています。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し、支え合う体制を整えています。

5　感染者や災害への対応力強化に向けた取組

- 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施しました。
- 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援体制を整えています。
- 地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結び、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の訓練等を地域の方々と連携して行いました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

- 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修、訓練を計画しましたが、職員全員への周知が不十分であるため、研修、訓練の実施を進めて行きます。
- 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取組を進めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　7,962 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　310 日
3. 年 間 稼 働 率　　85.6 %　(通所介護＋総合事業)
   79.9 %　(通所介護)
   5.8 %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.37 (通所介護)

5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	131	147	143	132	141	118	125	124	118	103	128	109	1,519
要介護 2	266	287	243	244	250	242	204	211	181	137	133	164	2,562
要介護 3	184	183	194	194	217	215	216	216	210	186	220	208	2,443
要介護 4	68	65	68	67	68	63	67	80	68	64	83	104	865
要介護 5	0	0	0	0	0	0	5	6	6	5	5	10	37
計	649	682	648	637	676	638	617	637	583	495	569	595	7,426
事業対象者	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
要支援1	8	4	5	4	5	4	4	5	4	4	5	4	56
要支援2	33	35	35	35	35	33	35	34	39	36	37	42	429
計	45	44	44	44	44	41	44	43	47	44	46	50	536
合 計	694	726	692	681	720	679	661	680	630	539	615	645	7,962

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	2	2	2	0	2	0	2	1	4	0	1	16
契約終了者数	0	2	0	2	0	5	2	5	0	1	1	0	18
月末契約者数	71	71	73	73	73	70	68	65	66	69	68	69	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行　事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参加者数	
R5.04.06～11	お花見ドライブ	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する。	利用者	53名
			職　員	16名
R5.04.13～20	チューリップ見学	十五貫千葉とし子様宅へチューリップ見学へ外出する。	利用者	81名
			職　員	24名
R5.05.04～06	ミニ運動会	お玉でリレーや玉入れを行い、身体を動かす。	利用者	81名
			職　員	24名
R5.05.11.12～27.29	新緑ドライブ	初夏の季節感を新緑観賞で味わっていただく。	利用者	21名
			職　員	6名
R5.06.21～26	花菖蒲・紫陽花見学	ドライブを兼ねて季節の花と景色を楽しんでいただく。	利用者	51名
			職　員	15名
R5. 07. 05～07	七夕会	七夕飾りを眺めながら天の川ゲーム等をして楽しむ。	利用者	75名
			職　員	23名

R5.07.17.18	夏の花見学	夏の時期の花を見学し季節感を味わっていただく。	利用者	27名
			職　員	8名
R5.08.17	夏祭り	スイカ割りや抽選会を行い、季節感を味わっていただく。	利用者	24名
			職　員	9名
R5.08.21～24	海岸ドライブ	夏の海の景色を見学し季節感を味わっていただく。	利用者	46名
			職　員	14名
R5.09.18～20	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする。	利用者	84名
			職　員	22名
R5.09.28	市民文化祭見学	百楽荘での出品作品など色々な作品を見学している。	利用者	14名
			職　員	5名
R5.10.16	芋煮会	施設内にて野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっていただく。	利用者	24名
			職　員	9名
R5.10.23～25	寺院見学	歴史ある建築物や風景等を見学する。	利用者	24名
			職　員	7名
R5.11.01～04	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める。	利用者	111名
			職　員	30名
R5.11.13.14.16.22	リンゴ園見学	市内の果樹園にて試食をいただきながらリンゴ園見学をを楽しむ。	利用者	31名
			職　員	9名
R5.12.18～20	クリスマス忘年会	ボランティアピーチダンベルクラブの余興を観たり、くじ引きを行い楽しむ。	利用者	68名
			職　員	23名
R5.12.28	餅つき	餅つき機械で餅つき、みずの木に飾り付けを行い正月の準備を行う。	利用者	22名
			職　員	7名
R6.01.08～10	新年会	外部ボランティアによる余興を楽しまれる。	利用者	68名
			職　員	26名
R6.01.11～13	初詣ドライブ	神社に行き参拝し、一年の無事と健康を祈願する。	利用者	33名
			職　員	10名
R6.02.01～03	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て豆まきを行い、厄払い福を招く。	利用者	76名
			職　員	22名
R6.03.01～02	ひな祭り会	ゲームを行ったり、雛饅頭や甘酒を召し上がって頂きながらひな祭りを祝う。	利用者	52名
			職　員	16名
実　施　回　数		69回	延べ参加者数	1,391名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参 加 者 数
R5.4.12～22	法令順守(コンプライアンス研修)	施設長	11名
R5.04.27	公用車リフト操作手順	介護福祉士	2名
R5.05.18	送迎介助について	介護福祉士	6名
R5.05.25	ポジショニングについて	作業療法士	5名
R5.06.02	実習受け入れについて	介護福祉士	3名
R5.06.28	口腔ケアについて	准看護師	5名
R5.07.27	認知症利用者との関わりについて	介護福祉士	3名
R5.8.24	体位交換について	作業療法士	2名
R6.8.31	感染症について	准看護師	4名
R5.10.16	身体拘束について	介護福祉士	4名
R5.10.30	着脱について	介護福祉士	4名
R5.11.06	高齢者虐待について	管理者兼生活相談員	5名
R5.11.30	新型コロナウイルス感染症について	准看護師	4名
R5.12.26	入浴介助について	介護福祉士	4名
R6.01.13	オムツ交換について	介護福祉士	4名
R6.02.21	メンタルヘルス研修	施設長	11名
R6.02.26	新任職員研修、法令遵守(コンプライアンス研修)	管理者兼生活相談員	2名
R6.03.20	排泄介助について	介護福祉士	3名
R6.03.29	褥瘡とその予防について	介護福祉士	4名
		延　べ　参　加　者　数	86 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参 加 者
R5.06.06	介護ICTとケアプランデータ連携システムセミナー	NDソフトウェア	仙台市	職員1名
R5.07.05	介護職対応オンラインセミナー「痙攣が起きた時の対応」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web・登米市	職員1名
R6.07.14	コミュニケーション技術・対人援助技術研修(基礎)	宮城県社会福祉協議会	Web・登米市	職員1名
R5.08.08	介護職対応オンラインセミナー「シミュレーションで学ぶ脳卒中」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web・登米市	職員1名
R5.08.09	令和5年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県保健福祉部	石巻市	職員1名
R5.09.08	認知症の人共に暮らす地域づくり	登米市津山・豊里地域包括支援センター	登米市	職員1名
R5.10.11	介護職対応オンラインセミナー「窒息が起きた時の対応」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web・登米市	職員1名
R5.11.16	高齢者の軟調と誤嚥性肺炎の正しい知識と対応について	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.01.04	認知症ケアの実践	認知症介護研究・研修先代センター	Web・登米市	職員1名
R6.01.06	認知症薬物療法のこれまでとこれからを考える	認知症介護研究・研修先代センター	Web・登米市	職員1名
R6.02.01	次世代リーダー研修	恵泉会法人本部	Web・登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参 加 者
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等を話し合い業務の徹底を図る	第1水曜日	施設長・総括主任・主任・副主任
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	毎月	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	2ヶ月に1回	生活相談員

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	参　加　者
随時	居宅介護支援事業所介護支援専門員主催サービス担当者会議出席	利用者自宅	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　者
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	毎月	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	毎月	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	毎月	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.09.18	宮野浅太郎一行	長寿を祝う会（舞踊ボランティア）	4名
R6.06.19	おじゃま～ず	長寿を祝う会（舞踊ボランティア）	7名
R5.09.20	衣川会	長寿を祝う会（歌謡ボランティア）	7名
R5.12.18	桃生ピーチダンベルクラブ	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	9名
R5.12.19	桃生ピーチダンベルクラブ	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	7名
R5.12.20	桃生ピーチダンベルクラブ	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	9名
R6.01.08	喜楽喜楽会	新年会（舞踊ボランティア）	6名
R6.01.09	おじゃま～ず	新年会（舞踊ボランティア）	5名
R6.01.10	喜楽喜楽会	新年会（舞踊ボランティア）	5名
		延べボランティア数	59名

（2）実習

年月日	団体名	実習内容	実人数
R6.07.26	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.07.27	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.07.28	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.07.31	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.08.01	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.08.17	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.08.18	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.09.01	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.09.08	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.09.15	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.10.06	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.10.13	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
R6.11.10	宮城県登米産業高等学校	介護実習	2名
		延べ合計	26名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援します。
- 利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

2 サービス向上に向けた取り組み

- ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減に努めます。
- 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Ⅰイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにします。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、ケア計画の改善、介護サービスの質の向上を図

3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修参加を促し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

4　地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- 社会福祉法人の使命の一つとして、食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくします。
- 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ 「とよさと」 を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- 新型コロナウイルス感染症については、「2類」から「5類」に引き下げられるも、高齢者施設では、クラスターの発生が利用者の生命を脅かし、介護支援・稼働率の影響も顕著に低下するなど影響が大きいため、引き続き感染症対策を十分行い、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組んでいきます。
- 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。
- 地域（庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会）との災害協定を結び、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行います。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

- 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BPC)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
- 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。

令和5年度
特別養護老人ホーム萩風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－4
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成2年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

【　基　本　方　針　】

恵泉会創立50周年を迎え、創立記念行事を開催し、これまでの歴史に触れることができました。新型コロナウイルス5類移行により、徐々にではありますが、コロナ禍以前の状況を取り戻す取組について進めることができました。対面での面会を継続的に実施し、利用者・ご家族様双方に満足いただくことができました。外出機会もわずかですが作ることができた状況でした。実習の受け入れを行ったことで、職員にも良い影響がみられたと思います。

感染対策は昨年度同様の対応をし、新型コロナウイルス感染症発生時にもこれまでの経験とBCPにそった対応を実践したことで拡大を予防することができ、結果事業を継続することにつながりました。ただ、利用者の重度化は進んでいる状況で、入院者や退所者が多く、稼働目標を下回る結果となりました。費用面においては、無駄を省き、特に電気使用量については一丸となって節電に取り組み抑えることができました。

【　重　点　項　目　】

① 感染症や災害への対応力強化

・感染対策については、感染症予防委員会を毎月開催し、BCPの見直しを行う中で新型コロナウイルス感染症については5類移行後も対応は同様とし、感染が見られた場合も拡大を予防し、重症化にもつながることなく収束させることができ、結果事業継続を図ることが出来ました。
・災害対策については、防災対策委員会を毎月開催し、消防計画にそって、計画に様々な場面を想定した訓練を実施することが出来ました。また、各災害協定による訓練実施も行う事ができました。BCPの見直しも行いました。

② 地域包括ケアシステムの推進

・認知症の勉強会を施設内で実施し、理解を深めましたが、対応に苦慮する場面もみられる状況でした。
・入所判定委員会を定期以外にも開催し、緊急性のある方の入所につなげることができました。

③ 自立支援・重度化防止の取組の推進…サービスの質の向上

・褥瘡予防委員会を毎月開催し、最適なケアを検討実施し、褥瘡完治までつなげられた方もおりましたが、数名は完治まで至っていない状況です。
・利用者満足度調査、家族満足度調査を実施し、サービスに反映させる事ができましたが、活動や社会交流などは不足している現状でした。

④ 介護人材確保・介護現場の革新

・日誌の電子化を進め、定着させることができ、結果記録等にかかる負担を少なくすることができました。
・見守り機器やケアパレットの活用などにより、職員に係る負荷を少なくすることが出来ました。
・介護職員が意見交換できる場（介護部ミーティング）を設け、ケアの見直し、職員の連携を深めることができました。
・研修や適宜面談を行い、ハラスメントの無い職場づくりを行いました。
・実習生を受け入れ、介護の魅力について感じてもらうことができました。
・障害雇用をすすめ、合理的配慮のもと雇用定着につなげました。

⑤ 安全・安心なサービスの提供

・事故防止委員会を中心に事故発生における原因の分析と対策について検討と実践をくり返しましたが、件数を大きく減らすことはできませんした。
・身体拘束廃止・虐待防止委員会の開催や研修を実施。理解啓発に努め、拘束や虐待を予防することができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,224 名
2. 年 間 稼 働 率　94.12 %
   （ 目 標 稼 働 率　98.00 % ）
3. 年間平均介護度　4.29
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	270	279	260	242	205	212	248	240	248	268	233	248	2,953
要介護 4	531	523	555	555	588	545	526	473	496	520	493	555	6,360
要介護 5	623	651	617	620	643	647	702	699	731	694	623	661	7,911
計	1,424	1,453	1,432	1,417	1,436	1,404	1,476	1,412	1,475	1,482	1,349	1,464	17,224

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	0	3	2	2	1	1	2	0	3	16
退 所 者 数	1	1	1	2	2	1	1	0	3	0	4	1	17
月末入所者数	49	48	48	46	47	48	49	50	48	50	46	48	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.04.19	桜まつり	感染症予防対策での開催となりご家族の参加はなく、職員の余興で利用者のリハビリを兼ねた体操を行い楽しまれました。	利用者 51名 職 員 16名
R5.5.1～2	菖蒲湯	菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈願し入浴されました。	利用者 50名 職 員 10名
R5.08.03	夏祭り	職員の和太鼓演奏や射的ゲーム、盆踊りなど夏らしい余興で皆様大いに楽しまれていました。	利用者 50名 職 員 14名
R5.08.10	盆供養	コロナウイルス感染症対策解除直後である為数名の利用者の方と職員のみで行いました。	利用者 5名 職 員 3名
R5.09.17	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加での実施しています。アトラクションとして慰問ボランティアで股旅舞踊が披露されました。	利用者 42名 職 員 12名
R5.12.13	クリスマス忘年会	クリスマスや忘年会にちなんだゲームや職員の余興を行いました。その後おやつにケーキが提供され楽しまれました。	利用者 41名 職 員 12名
R5. 12. 22 ～23	ゆず湯	特別浴と普通・中間浴の利用者全員が行えるよう2日間実施しました。ゆず湯にゆっくり入り体を温め、リラックスしていました。	利用者 47名 職 員 6名
R6.01.17	新年会	新年を迎え気持ちも新たに、今年1年の無病息災を皆でお祝いしました。	利用者 53名 職 員 15名
R6.02.03	節分	感染症予防に注意を払い利用者間の密を避け短時間で開催しました。施設長、年男、年女が袴を着て棟内で豆まきを行いました。	利用者 37名 職 員 12名
R6.3.18 ～24	彼岸供養	新型コロナウイルスの感染対応中のため、中止しました。	利用者 0名 職 員 0名
実施回数		10 回	延 べ 参 加 者 数　429 名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,422 名
2. 年 間 稼 働 率　　77.70 %
   （目 標 稼 働 率　　95.00 %）
3. 年間平均介護度　　3.03
4. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護 2	36	34	38	49	46	34	54	65	53	76	60	38	583
要介護 3	46	48	53	35	21	21	38	35	40	27	26	25	415
要介護 4	16	16	21	22	22	14	15	10	17	13	16	25	207
要介護 5	16	21	19	21	11	11	22	6	13	13	26	34	213
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	116	121	131	127	100	80	129	116	123	129	128	122	1,422

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.13	急変時の対応に関する研修	准看護師	9 名
R5.04.18	新任職員研修	施設長　他	2 名
R5.05.11	コンプライアンス研修	施設長	11 名
R5.05.31	介護技術勉強会	介護福祉士	10 名
R5.06.15	公用車の操作に関する勉強会	施設長　他	10 名
R5.06.21	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	管理栄養士	8 名
R5.06.22	プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	8 名
R5.07.13	褥瘡対策に関する研修	介護福祉士	9 名
R5.07.20	個人情報保護に関する研修	施設長	8 名
R5.09.27	身体拘束等の適正化のための研修①	介護福祉士	7 名
R5.09.28	事故発生防止のための研修	副主任	7 名
R5.10.19	終末期ケアについての研修	看護師	9 名
R5.10.25	認知症に関する研修	副主任	9 名
R5.11.16	感染症予防に関する研修	准看護師	10 名
R5.12.14	身体拘束等の適正化のための研修②	介護福祉士	9 名
R5.12.28	ハラスメントに関する研修	施設長	9 名
R5.12.06	介護技術勉強会（以降、12/15、12/21、1/23開催）	副主任	18 名

   (2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.07.08	宮城県社会福祉施設　保健担当職員研修（基礎）	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.07.12	令和5年度恵泉会新任職員研修	恵泉会研修委員会	支援棟2階研修室	職員1名
R5.07.14	コミュニケーション技術・対人援助技術研修（基礎）	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.08.04	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.08.08～09	社会福祉施設新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.09.06	権利擁護研修	登米市人権擁護委員	萩風園会議室	施設長他
R5.11.13	福祉サービス事業者のためのクレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.11.15	介護従事者向け研修（モチベーションアップ講演会）	一関市福祉部長寿社会課	オンライン	職員1名

R5.11.22	宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R5.12.13	登米市地域感染症対応強化研修会	登米地区地域医療対策委員会	登米市迫町	職員1名
R5.12.18	令和5年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会研修委員会	支援棟2階研修室	職員2名
R6.02.09	レジリエンス研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.02.22	「ゆい」就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市迫町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月1回・随時	施設長、生活相談員他

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3か月1回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
業務改善委員会	業務効率向上を考え業務変更及び業務分担変更、ロボット介護活用の検討	3か月1回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
無			
計			

(2) 実習

年月日	団体名	実習・見学内容	実人数	延人数
R5.6.27～10.17	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(2学年/15日間)	2名	30名
計			2名	30名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

①地域包括ケアシステムの深化・推進

・人権の擁護、虐待、身体拘束の防止を推進するための体制づくりを委員会中心に行っていきます。
・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うともに、研修の実施、訓練（シュミレーション）を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。
・認知症の方への対応力向上のため研修を実施し、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。
・医療機関との連携し、医療的ケアが必要となった方への支援体制の強化を行います。

②自立支援・重度化防止の取組の推進

・入所者毎に褥瘡発生リスクについて評価を行うとともに計画に従い管理を実施します。
・各担当が利用者一人一人に応じたコミュニケーションを図りながら状況把握を確実に行い、自立、重度化防止に向けた取り組みにつなげます。

③効果的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・ナースコールシステム入れ替えの実施や生産性向上委員会を新たに設置し、業務を効率化し、利用者への迅速な対応と職員の介護負担軽減を行います。
・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。
・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。
・障害のあるなしに関わらず、だれもがその能力と適正に応じた働き方ができる職場づくりを行います。

④地域交流や連携、地域貢献の充実

・利用者の皆様がご家族、地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。
・職員が地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話など行っていきます。
・災害等において地域と連携し、共同での訓練実施など、災害対策を強化します。

令和5年度
中田デイサービスセンター菊風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開 設 年 月 日　　平成2年3月15日
5．利　用　定　員　　25 名

【基本方針の実施内容について】

恵泉会創立50周年を迎え、創立記念行事を開催し、これまでの歴史に触れることができました。新型コロナウイルス5類移行により、徐々にではありますが、コロナ禍以前の状況を取り戻す取組について進めることができました。実習の受け入れについては様々な実習内容を計画したことで、魅力を感じていただくこともできたと思います。
感染対策は昨年度同様の対応をし、新型コロナウイルス感染症発生時にもこれまでの経験とBCPにそった対応を実践したことで拡大を予防することができ、結果事業を継続することにつながりました。ただ、利用者については介護度の高い方が約半数を占めており、入院や施設入所などが多く、新規契約者を終結者が上回る結果となり、稼働目標を下回る結果となりました。費用面においては、無駄を省き、特に電気使用量については一丸となって節電に取り組み抑えることができました。外部との交流については見合わせる事となりましたが、活動の充実を図り、個別機能訓練を状態に沿った形で提供、レクリエーションを工夫し、利用者皆様の楽しみ、維持、向上につなげることができました。職員については子育て世代が多い中でも仕事と生活の両立が図れるよう配慮することができました。地域との連携した取り組みについては今後の課題と考えております。

【　重　点　項　目　】

1．感染症や災害への対応力強化
・感染対策については、感染症予防委員会を毎月開催し、BCPの見直しやコロナ5類移行後も対応は同様とし、感染が見られた場合も拡大を予防し、結果事業継続を図ることが出来ました。
・災害対策については、防災対策委員会を毎月開催し、消防計画にそって、計画に様々な場面を想定した訓練を実施することが出来ました。

2．地域包括ケアシステムの推進
・認知症の勉強会を施設内で実施し、理解を深めましたが、対応に苦慮する場面もみられる状況でした。
・行事へ家族等の招待までは行えませんでしたがボランティアを招きアトラクションを実施。皆様に楽しんでいただけました。

3．自立支援・重度化防止の取組の推進
・個々の状態、目標にそった個別機能訓練を実施し、重度化防止につなげることが出来ました。結果としては利用期間を伸ばすことにつながっています。

4．介護人材確保・介護現場の革新
・日誌の電子化を進めて、ペーパーレスと重複作業を改善し、PC操作の向上にもつなげました。
・仕事と生活の両立を支援し働きやすい就業環境を提供出来ました。

5．安全・安心なサービスの提供
・安全運転を継続し、無事故無違反での送迎を行えました。
・利用中の事故は数件みられており、継続して事故防止の対策の検討を行っていきます。

【　利　用　状　況　】

1．年間延べ利用人員	6,083 名	
2．年 間 稼 働 日 数	310 日	
3．年 間 稼 働 率	78.49 %	（通所介護＋総合事業+生きがいデイ）
	(74.40) %	（通所介護）
	(4.09) %	（総合事業）
	(0.00) %	（生きがいデイサービス）
4．年間平均介護度	2.73	（通所介護）

5. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	90	78	82	64	79	77	80	81	61	57	60	49	858
要介護 2	149	156	149	143	155	150	143	150	163	139	124	119	1,740
要介護 3	101	144	141	146	153	128	135	143	144	141	156	141	1,673
要介護 4	78	79	84	75	87	96	109	107	110	100	96	75	1,096
要介護 5	34	39	41	41	26	47	30	32	29	28	27	25	399
計	452	496	497	469	500	498	497	513	507	465	463	409	5,766
事業対象者	4	5	3	4	5	4	4	5	4	4	4	2	48
要支援1	0	0	0	0	0	1	4	4	4	3	0	0	16
要支援2	31	22	24	21	25	25	19	17	15	15	17	22	253
計	35	27	27	25	30	30	27	26	23	22	21	24	317
合計	487	523	524	494	530	528	524	539	530	487	484	433	6,083

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	0	3	1	3	3	1	2	2	1	0	17
契約終了者数	3	0	0	1	2	4	2	1	3	2	1	2	21
月末契約者数	51	52	52	54	53	52	53	53	52	52	52	50	－4

【利用者サービスの状況】

3. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.5.5	菖蒲湯	端午の節句に菖蒲湯につかることで無病息災を願い心身ともにリラックスしました。季節の風物詩を体験し、生活意欲の向上に繋げました。	利用者 16名 職員 4名
R5.5.23	ミニ運動会	春の運動会を開催しました。2組に分かれて紅白玉入れ、筒通しを競い合いました。身体を動かし利用者同士の交流を深めて楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 24名 職員 4名
R5.7.7	七夕会	短冊に願い事を書き、竹に飾ったり、行事を通して季節を感じて頂きました。	利用者 16名 職員 4名
R5.8.23 R5.8.24	夏祭り	色々な模擬店を実施、体験し、職員の余興などを披露しました。	利用者 39名 職員 14名
R5.9.19 R5.9.20	恵泉会50周年記念長寿を祝う会	長寿をお祝いとして、長年の労を感謝し、これからの健康を祈りました。アトラクションを鑑賞し、楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者 37名 職員 14名
R5.10.26 R5.10.27	ミニ運動会	秋の運動会を開催しました。2日に分けて2種類ずつの競技を紅組と白組に分けて競い、優勝旗授与、記念品を配布しました。	利用者 38名 職員 7名
R5.11.22	焼き芋会	収穫したさつま芋の状態が悪く、今回は炊飯器で蒸かした芋をおやつ時に提供しました。収穫したものを説明、食べることでの喜びを感じて頂きました。	利用者 14名 職員 4名
R5.12.5 R5.12.25	クリスマス飾りつけ クリスマス忘年会	利用者様には日ごろの感謝としてサンタクロースからプレゼントを贈りました。職員余興ではハンドベルを披露し、季節感ある楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 39名 職員 10名
R5.12.22 R5.12.23	ゆず湯	柚子を浴槽に浮かべ、香りや季節感を感じて頂くとともに気持ちをリフレッシュする機会となりました。	利用者 37名 職員 8名
R5.12.28	餅つき	正月に向けた準備として餅つき会を開催しました。水の木に杵と臼でついた餅、舞玉、正月飾りを飾り、無病息災を願いました。	利用者 22名 職員 7名
R6.2.1	節分会	豆まきを行い、一年間の無病息災を願いました。	利用者 19名 職員 7名
実施回数	11回	延べ参加者数	384 名

【その他の利用者サービス】

1．年間延べ利用人員　　0　　名
2．年間稼働日数　　310　　日
3．年間稼働率　　(0.00)　%
4．月別利用状況　　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生きがいデイサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者デイサービス	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 生きがいデイサービス　　（年間延べ利用人員）　0 名　（稼働率）　(0.00)
(2) 身体障害者デイサービス　　（年間延べ利用人員）　0 名　（稼働率）　(0.00)
(3) 社会福祉法人等による利用者負担額軽減　　実績:　0

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況
(1)内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.05.11	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	1 名
R5.05.18	介護職員のための感染対策	介護福祉士兼生活相談員	7 名
R5.06.21	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	管理栄養士	1 名
R5.06.22	プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	1 名
R5.06.23	接遇について	介護福祉士兼生活相談員	8 名
R5.07.11	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	3 名
R5.07.20	個人情報保護に関する研修	施設長	1 名
R5.09.27	身体拘束等の適正化のための研修①	介護福祉士	1 名
R5.09.27	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	6 名
R5.10.11	介護職員のための感染予防について	准看護師	6 名
R5.12.14	身体拘束等の適正化のための研修②	介護福祉士	1 名
R5.12.20	新任職員研修	施設長	1 名

(2)外部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.12.18	恵泉会人事考課者現任研修	あすの監査法人	2 名
R5.12.18	フォローアップ研修	仙台青葉学院短期大学 佐藤和美氏	1 名
R6.01.29	恵泉会次世代リーダー研修	社会福祉法人あけぼの会 町田大介氏	1 名

2．会 議 開 催 状 況
(1) 定例会議

会議名	内容	開　催　日	参　加　職　員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関しての検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1)定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	係2名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	係3名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	係3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	月1回	係2名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制の検討、褥瘡予防対策の検討。	月1回	係2名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.09.19	植正一家、田舎芸人植正一座	舞踊、歌や踊りなど(8曲)	6名
R5.09.20	シルバー人材千葉様ご夫婦	やくざ踊り	2名

(2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
4月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
5月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
6月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
7月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
8月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
9月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
10月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
11月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
12月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
1月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
2月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
3月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

・人権の擁護、虐待、身体拘束の防止を推進するための体制づくりを委員会中心に行っていきます。

・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うともに、研修の実施、訓練(シミュレーション)を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。

・認知症の方への対応力向上のため研修を実施し、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。

2. 自立支援・重度化防止の取組の推進

・個別及び集団での機能訓練を実施し、利用者の意向にそった生活がいつまでも送れるように支援します。

・利用者一人一人に応じたコミュニケーションを図りながら状況把握を確実に行い、状態にあったケアが行えるように研修を実施し、自立、重度化防止を図ります。

3. 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・生産性向上委員会を新たに設置し、業務を効率化し、利用者への迅速な対応と職員の介護負担軽減を行います。

・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。

・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。

4. 地域交流や連携、地域貢献の充実

・利用者の皆様がご家族、地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。

・職員が地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話など行っていきます。

・災害等において地域と連携し、共同での訓練実施など、災害対策を強化します。

5. 安全・安心なサービスの提供

・日常の気づきを大切にし、また、職員間での共有が図られる体制を整え、事故を未然に防止します。

・送迎に関してのルールを徹底し、車両事故0を目指します。

令和5年度
特別養護老人ホーム迫風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
2）設　置　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
3）経　営　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
4）開　設　年　月　日　　平成5年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

【　基　本　方　針　】

今年度は法人創立50周年と当施設開設30年の節目の年として、これまでの取り組みを踏まえ、新しい時代へ向かって歩み「拓き」はじめる年とするため、職員が一丸となって事業運営に携わってきました。
次の50年に向けて我々のあるべき姿を求めるとともに、利用者の皆様へより良い介護サービスを提供すべく、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識しながら、利用者が快適に過ごすための環境づくりに尽力しました。また、利用者に満足していただける施設を目指すと共に、この取り組みを地域に発信し、高い稼働率を実現することで経営の安定化にもつなげました。
更に業務の改善や効率化について定期的に職員同士で検討を行い、職員にとっても働きやすい職場づくりを心掛けてきました。
新型コロナウイルス感染症については「2類」から「5類」に引き下げられましたが、高齢者にとって生命を脅かす大きなリスクであることに変わりなく、感染症対策を入念に行った結果、施設内でクラスターが発生することもなく、利用者の安心安全な生活を確保することができました。

【　重　点　項　目　】

1．利用者が快適に過ごせる取り組み
・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケア提供により、その人らしい生活を心掛けサービスの提供を行いました。
・嘱託医との連携により、看取り介護をガイドラインに沿って実施し、ご利用者、ご家族の希望に沿った最期を考え看取りケアを実施しました。
・利用者の尊厳や人権を守るため、虐待防止や身体拘束廃止を研修等にて常に意識して支援しました。
・生活のメリハリや充実感を保つよう、音楽療法や各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施しました。
・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、「今まで・・」ではなく、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討しました。
・積極的にリモートによる外部研修への参加を推奨すると共に内部の研修内容を充実させ、職員の知識、職務意識向上に努め、新しい考え方や創意工夫に役立てました。
・事故やトラブルが発生した際、速やかに原因の分析と改善策を検討し、それを実践することで事故の再発防止に努めました。

2．業務の効率化の取り組み
・見守り機器を活用し、ご利用者の行動や状態を速やかに把握することで、安全安心な介護を提供すると共に、介護職員の業務負担の軽減と効率化にもつなげ、介護の生産性を高めることができました。
・月に1回委員会を開催し、業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を行いました。

3．安定した経営と運営の取り組み
・毎月の事業収支、利用状況を目に見える形でデータ化することで、的確に現状把握を行ったことで、稼働率維持や光熱水費等の節約に向けた取り組みができました。
・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換を行い現在の社会的ニーズを把握し、施設運営に活用しました。

4．開かれた施設作りへの取り組み
・実習やインターンシップ、見学、ボランティアを積極的に受け入れマンパワーの養成と確保につながるよう努めました。
・地域の感染症流行もあり、認知症カフェ（通称・RUI Café)の開催はできませんでしたが、登米市社会福祉協議会と連携し、地域貢献事業として、施設説明会を行い迫風園の取り組みを地域へ発信しました。
・地域の感染症流行もあり、行事の開催等は自粛しましたが、ご家族とのつながりを大切にし、感染症対策を行いながら面会対応を行いました。

・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校及び地域とも連携し、災害時対応時に協力体制の構築強化に努めました。
・地域の感染症流行もあり、ボランティア受け入れはできませんでしたが、引き続き、感染症対策を行い、いつでもボランティアを受け入れできる体制を整えます。
・地域の感染症流行もあり、行事や面会等が難しい時期もありましたが、綿密にご家族へ連絡し、可能な限り開かれた施設運営を行いました。

5. 職員のスキルアップの取り組み
・外部研修及び内部研修への参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師にも職員を派遣し、個々のスキルアップに取り組みました。
・労働災害の防止に努め、ハラスメント対策としても職場の雰囲気作りや体制整備に努め、職員にとっても安心安全な職場となるよう取り組みました。

6. 感染対応への取り組み
・新型コロナウイルスの5類移行後も、定時の検温や体調観察を継続する等、職員や利用者の健康管理を徹底し、感染症を施設内に持ち込まないように取り組みました。
・感染症の発生・蔓延等が発生した場合に備え、委員会で業務継続計画（BCP）の確認を行い必要なサービス提供が継続できる体制を構築しました。
・感染対策委員会で検討した結果を実践すると共に、職員への研修も行い、組織としての感染症対応のレベルを向上させました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　17,923 名
2. 年 間 稼 働 率　97.94 %
（ 目 標 稼 働 率　98.00 % ）
3. 年間平均介護度　4.19
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	256	279	300	310	248	240	248	210	217	186	232	279	3,005
要介護 4	733	806	750	711	708	720	744	717	672	684	609	634	8,488
要介護 5	448	465	450	496	538	510	527	541	623	639	573	620	6,430
計	1,437	1,550	1,500	1,517	1,494	1,470	1,519	1,468	1,512	1,509	1,414	1,533	17,923

0

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	0	0	0	2	1	0	2	1	2	1	1	13
退 所 者 数	1	0	0	2	1	0	1	2	2	1	1	0	11
月末入所者数	50	50	50	48	49	50	49	49	48	49	49	50	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
（1）行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R5.4.20	桜まつり	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止し、職員にアトラクション（ソーラン節体操・マジックショー）を実施している。	利用者　26名 職　員　9名
R5.7.6	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節感を味わっっている。	利用者　12名 職　員　6名
R5.7.19	夕涼み会	夏らしい装飾をした会場の中で、輪投げや射的といったゲームを楽しみ夏の季節と夏祭りの気分を味わっている。	利用者　43名 職　員　15名
R5.8.22	盆供養	職員のみで盆供養が実施された。焼香し手を合わせ物故者の冥福を祈っている。	利用者　14名 職　員　6名

R5.9.14	長寿を祝う会	来賓やご家族、外部アトラクションは呼ばずに利用者様と職員で式典を実施している。アトラクションとしてよさこいソーラン節体操を行いお祝い膳で長寿を祝っている。	利用者　49名 職　員　15名
R5.10.1	お月見会	季節の果物やすすき、桜紙で作った団子を飾り、秋の風物詩であるお月見会を行い利用者に季節感を味わっていただいている。	利用者　8名 職　員　3名
R5.10.27	芋煮、焼き芋会	芋煮、焼き芋の下準備を行い、屋外にて調理する工程を見学する。秋の味覚を味わい季節を感じていただいている。	利用者　48名 職　員　10名
R5.12.24	クリスマス会	サンタクロースとトナカイがソリに乗り登場し利用者様にプレゼントをわたしている。クリスマス気分を味わっていただいている。	利用者　37名 職　員　9名
R5.12.28	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者様で実施。お供え餅を丸め、水の木に飾りつけを行っている。	利用者　31名 職　員　11名
R6.1.4	新年会	獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節感を味わっていただいている。	利用者　48名 職　員　9名
R6.2.8	節分・豆まき	年男・年女の利用者様に袴を着せ記念写真を撮影している。落花生とゼリーを召し上がり季節感を味わっていただいている。	利用者　8名 職　員　4名
R6.3.3	ひな祭り会	雛壇や桃の花を飾り眺めながらひな祭りの由来を紹介する。お饅頭やぜりーを召し上がり茶話会を楽しんでいただいている。	利用者　16名 職　員　4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　3,668 名
2. 年間稼働率　100.22 %
   （目標稼働率　90.00 %）
3. 年間平均介護度　3.30
4. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	9	7	4	2	0	6	0	0	0	0	2	10	40
要介護 2	37	67	70	86	68	54	53	54	59	79	63	67	757
要介護 3	139	128	120	124	131	147	141	113	117	119	75	82	1,436
要介護 4	44	58	63	70	87	75	87	88	114	91	95	78	950
要介護 5	46	35	37	36	45	32	33	25	32	33	65	66	485
計	275	295	294	318	331	314	314	280	322	322	300	303	3,668

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R5.4.25	新規採用職員研修	施設長　他3名	1 名
R5.4.27	コンプライアンス研修(服務規程)	施設長	26 名
R5.5.17	介護基礎研修（看とりケア）	副主任	7 名
R5.6.15	防災研修（消火器、発電機の取り扱い）	副主任	17 名
R5.6.28	メンタルヘルス研修	看護師	5 名
R5.7.5	感染症研修	副主任	7 名
R5.7.12	食中毒研修	管理栄養士	7 名
R5.7.27	ハラスメント研修	施設長	12 名
R5.8.1	新規採用職員研修	施設長　他3名	1 名
R5.8.27	事故防止研修	介護福祉士	5 名
R5.8.31	身体拘束廃止・高齢者虐待研修	副主任	14 名
R5.8.31	接遇・マナー研修	副主任	14 名
R5.9.14	介護技術研修（排泄介助）	副主任	10 名
R5.9.14	医療研修（皮膚の仕組みについて）	看護師	14 名

R5.9.17	見守り機器活用研修	介護福祉士	4 名
R5.10.4	介護技術研修(移乗介助)	介護福祉士	6 名
R5.10.15	緊急時対応研修	副主任	20 名
R5.10.27	防災研修(防災釜の取り扱い)	管理栄養士	9 名
R5.11.8	感染症研修	副主任	7 名
R5.11.27	事故防止研修	介護福祉士	6 名
R5.11.30	認知症研修	副主任	6 名
R5.12.14	身体拘束廃止・高齢者虐待研修	副主任	9 名
R5.12.25	感染症研修(嘔吐物の処理)	副主任	8 名
R6.1.10	恵泉会研修大会		26 名
R6.1.18	救命救急研修	副主任	6 名
R6.2.22	介護基礎研修(移乗介助)	副主任	7 名
R6.3.7	防犯研修	副主任	6 名
R6.3.18	個人情報保護研修	副主任	8 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.6.6	障害福祉サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策研修会	宮城県東部保健福祉事務所	Web	職員1名
R5.6.8	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R5.6.20	令和5年度登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.6.22	令和5年度障害福祉サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R5.7.3	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R5.7.5	東北大学スキルスラボ:けいれんが起きた時の対応方法	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
R5.7.12	令和5年度恵泉会新任職員研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R5.7.15	コミュニケーション技術・対人援助技術研修(基礎)	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R5.7.20	令和5年度高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	宮城県老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R5.8.4	令和5年度アンガーマネジメント研修(一般職員向け)	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R5.8.8	令和5年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R5.8.8	東北大学スキルスラボ:シュミレーションで学ぶ脳卒中	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
R5.8.20	養介護施設従事者等による高齢者虐待対応(基本研修)	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R5.9.1	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R5.9.20	東北大学スキルスラボ:転んで頭を打った人の観察方法	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員2名
R5.10.3	令和5年度高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	Web	職員1名
R5.10.11	東北大学スキルスラボ:転んで頭を打った人の観察方法	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員2名
R5.10.12	宮城県看護協会登米支部看護管理者ネットワーク会議	宮城県看護協会登米支部	登米市	職員1名
R5.10.24	令和5年度集団給食施設集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
R5.11.16	令和5年度在宅医療・介護連携研修会(難聴・誤嚥性肺炎)	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.11.21	令和5年度恵泉会経営者研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R5.11.22	令和5年度宮城県高齢者権利擁護推進研修(看護職員研修)	宮城福祉オンブズネット「エール」	Web	職員1名
R5.12.7	令和5年度認知症対応研修会	登米市福祉事務所	Web	職員1名
R5.12.8	令和5年度地域課題情報交換会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.12.13	令和5年度登米地域感染症対応強化研修会	宮城県東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
R5.12.18	令和5年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会本部	登米市	職員2名
R6.1.22	令和5年度次世代リーター養成研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R6.1.23	令和5年度災害派遣介護チーム員養成研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R6.2.22	令和5年度「ゆい」就労支援セミナー	地域生活支援センターゆい	登米市	職員1名
R6.3.4	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R6.3.8	症例カンファレンス	やまと在宅診療所登米	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第3木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2水曜日	施設長、管理栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3水曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、管理栄養士、各委員

(2) その他の会議

開催日	内　容	場　所	出　席　者
年12回開催	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
年12回開催	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止等、リスクマネジメントの検討	第4木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策・看取り委員会	感染症予防、褥瘡予防、BCPに関する検討	第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践の検討	第1水曜日	施設長、各委員
業務改善委員会	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第1木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災、防犯、BCPに関する検討	第3木曜日	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内　容	来訪者数
	無		

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
2023/4/24～ 2023/8/8	迫桜高校	介護実習	1名	25名
2023/5/17～ 2023/9/6	登米総合産業高校	介護実習	2名	32名
2023/6/27～ 2023/10/17	登米総合産業高校	介護実習	2名	30名
7月5日	東北医科薬科大学	地域包括医療実習	2名	2名
計			7名	89名

【今後の取り組み】

1 地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み

・実習やインターンシップ、見学、ボランティアを積極的に受け入れマンパワーの養成と確保に努めます。
・認知症カフェ(RUI Café)等を開催し、地域とのつながりを持っていきます。
・家族参加型の行事や面会機会を増やし、家族とのつながりを大切にしていきます。
・地域課題について、地域包括支援センター等の関係機関と綿密に連携し対処します。
・ボランティアを積極的に受け入れ、施設に来て直接見ていただくことで、地域住民の理解と協力をいただけるよう取り組んでいきます。

2 自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み

・利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、介護について見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化の防止を推進します。
・利用者の状態に応じた栄養管理を計画的に行い栄養状態の維持及び改善を図ります。
・利用者が生活のメリハリや充足感を持ちながら生活できるよう、音楽療法や各種行事、簡単にできるアクティビティ等を実施していきます。
・職員は利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を定期的に研修等で学び、強い人権擁護の意識を持って利用者支援を行います。
・利用者が相談や意見しやすい環境の整備と、生活に高い満足度を得られるようにサービスの質向上を推進します。
・事故防止のため問題の原因究明と再発防止策を検討し、安全・安心なサービスを提供します。

3 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み

・見守り機器等の介護ロボットを活用することで介護の生産性向上を図り、利用者にとって安全・安心な介護を行っていくとともに、職員にとって働きやすい職場環境を作ります。
・委員会にて業務を見直し、細分化や集約化を図りながら、利用者に対して適切なサービスを効率的に提供できるようにします。
・オンラインを含めた外部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図ります。
・内部研修を行い職員が新しい知識や工夫力を養えるようにしていきます。また、法人で実施する初任者研修や国家試験対策の講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとっても安全・安心な職場環境を維持していきます。

4 安定した経営と持続可能な運営の取り組み

・毎月の事業収支の確認と、光熱水費等の節約に向けた取り組みを進めます。
・空床が発生した場合、ベッドコントロールを効果的に行い稼働率の維持向上に取り組みます。
・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との連携により、現在の社会情勢とニーズを把握し、事業の安定経営に取り組んでいきます。

5 感染症や災害への対応力強化の取り組み

・職員や利用者の健康管理を徹底し、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症を持ち込まないようにします。
・自然災害の発生や感染症が蔓延した場合であっても、業務継続計画(BCP)に従い必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。
・災害対策や感染症対応について、各委員会で検討し、BCPの研修及び訓練等の結果をもとに、より実践的な内容となるよう計画の見直しを行います。
・感染症の流行や発生状況によって行事や面会の実施が難しい場合は、利用者の状況を書面や連絡等で家族へ的確に伝え、家族にも安心していただけるようにします。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校、及び地域住民の方々と連携し、災害時対応の協力体制を構築できるよう努めます。

6 医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み

・定期的に協力医療機関と緊急時の対応を確認する等、医療機関との連携体制の強化を図ります。
・入退院の対応について、協力医療機関と綿密に連携を行います。
・歯科医と連携し、口腔衛生管理体制の整備を行い入所者ごとの状態に応じた口腔衛生の管理を行います。
・利用者と家族の意思を最大限尊重し、協力医療機関との連携対応のもと看取り介護を丁寧に行っていきます。

令和5年度
迫デイサービスセンター翠風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞45－3
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成3年4月1日
5．利　用　定　員　　40 名

今年度は法人創立50周年の節目の年であり、これまでの取り組みを踏まえながら、新しい時代へ向かって歩み「拓き」はじめる年として、職員が一丸となって事業運営に携わってきました。

今後、我々が進むべき方向性やあるべき姿を追求するとともに、利用者の皆様へより良い介護サービスを提供するために、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識しながら、利用者本位のサービス提供に努めてきました。新型コロナウイルスの影響は大きかったですが、ドライブやカラオケ、来訪慰問等を再開し、利用者の皆様に楽しんでいただきました。また、経営を安定させるべく常に稼働率の向上を目指してきましたが、年度終盤に入り重度利用者の施設入所が相次ぎ、一年を通しての高稼働を続けることはできませんでした。業務改善や効率化の問題については、委員会を中心に検討し、全職員が働きやすさを実感できる施設作りに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症については、利用者と職員数名に罹患者が出ましたが、大きなクラスター等は発生しませんでした。今後も引き続き感染症対策に努め、安心安全なサービス提供ができるよう取り組んでいきます。

【　重　点　項　目　】

①利用者が快適に過ごせる取り組み
・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助しました。
・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図りました。
・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施しました。
・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、その人らしく過ごすことができるよう、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討しました。
・コロナ対策による影響もありましたが、できるだけ人手不足や忙しいに囚われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしました。
・事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、周知徹底を図りました。

②業務の効率化の取り組み
・介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し、効率化を図りました。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行いました。
・業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を図りました。

③安定した経営と運営の取り組み
・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進め、そのためにどのような効果的な行動を取ったかを検証しました。
・コロナ対策の影響もみられましたが、各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換を行い、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応しました。

④開かれた施設作りへの取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めました。
・認知症カフェ（RUI Café）、認知症セミナー等はまだコロナ対策の影響により開催することはできませんでした。
・家族が気軽に相談や来園できる体制はコロナ対策で取れませんでした。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会と連携し、災害時対応時に協力体制ができるよう努めました。

⑤職員のスキルアップの取り組み
・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるように役割を担いました。
・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場作りに努めました。

⑥感染対応への取り組み
・職員や利用者の健康管理を徹底し、感染症を持ち込まないように取り組みました。
・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築しました。
・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、すみやかに対応できるよう研修訓練を実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　10,377 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　310 日
3. 年 間 稼 働 率　　83.69 %　(通所介護＋総合事業)
　　(75.94) %　(通所介護)
　　(7.75) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.71 (通所介護)

5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	146	115	103	94	96	100	111	99	98	91	110	122	1,285
要介護 2	265	321	282	266	250	253	277	265	295	238	241	258	3,211
要介護 3	242	241	234	225	219	195	222	211	214	199	208	214	2,624
要介護 4	95	107	110	123	132	146	163	165	137	140	105	121	1,544
要介護 5	64	79	75	75	71	72	65	59	44	44	51	53	752
計	812	863	804	783	768	766	838	799	788	712	715	768	9,416
事業対象者	8	9	9	9	8	9	9	8	9	8	8	9	103
要支援 1	33	34	32	30	34	29	32	33	27	29	31	27	371
要支援 2	39	48	48	47	48	48	41	36	40	30	29	33	487
計	80	91	89	86	90	86	82	77	76	67	68	69	961
合 計	892	954	893	869	858	852	920	876	864	779	783	837	10,377

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	2	1	1	4	4	1	1	2	0	4	21
契約終了者数	3	2	3	1	2	1	6	1	2	4	1	1	27
月末契約者数	89	87	86	86	85	88	86	86	85	83	82	85	-6

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.05.19	恵泉会50周年記念お祝い会	恵泉会の50周年を祝い、アトラクションとしてカラオケを楽しんで頂く。	利用者 36名 職 員 8名
R5.06.05 ～06.07	ミニ運動会	玉入れ、風船バレー、輪投げの競技を通して、身体機能の維持やリフレッシュを図る。	利用者 103名 職 員 34名
R5.07.06 ～07.08	七夕会	星集めゲームとそうめん流しゲームを行い、七夕の季節感を味わって頂く。	利用者 102名 職 員 36名
R5.08.25	夏祭り	水ヨーヨー、輪投げ、的当てゲーム等を行い夏祭りの雰囲気を味わって頂く。	利用者 33名 職 員 11名
R5.09.13 ～09.15	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、マジックショーとご長寿クイズのアトラクションなどを楽しんで頂く。	利用者 92名 職 員 34名
R5.10.10 ～10.12	秋のミニ運動会	サイコロゲーム、玉入れ、風船バレーの競技を行い、運動会の雰囲気を味わって頂きながら、身体を動かしリフレッシュして頂く。	利用者 100名 職 員 34名
R5.11.14	焼き芋会	焼きたての芋を召し上がって頂き、秋の季節感を味わって頂く	利用者 35名 職 員 7名
R5.12.23 ～12.25	クリスマス会	プレゼント集めゲーム、カラオケ大会、三味線の演奏を行い、クリスマスらしい雰囲気を味わって頂く。	利用者 95名 職 員 34名
R6.01.10 ～1.12	新年会	五円でご縁を繋ごうゲーム、三味線の演奏、お年玉ゲームを行い、お正月の雰囲気を味わって頂く。	利用者 88名 職 員 28名
R6.02.03 ～02.06	節分会	豆まきと節分豆まきゲームを行い、季節感を味わって頂く。	利用者 140名 職 員 37名
R6.03.04 ～03.06	ひな祭り会	桃の花満開ゲーム、三味線の演奏を聴き、ひな祭りの雰囲気を味わって頂く。	利用者 93名 職 員 34名
		延べ参加者数	利用者 917名 職 員 263名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.21 ～05.10	新規採用職員研修	施設長	1名
R5.04.27 ～05.22	コンプライアンス研修	施設長	13名
R5.05.25	防犯対策研修	管理者兼生活相談員	6名
R5.05.27	安全運転講習	介護福祉士	5名
R5.06.13	感染症対応(嘔吐物処理)研修	看護師	4名
R5.06.26	食中毒予防研修	管理栄養士	4名
R5.07.24	緊急時の対応（救命救急）研修	管理者兼生活相談員	5名
R5.07.17	リスクマネジメント研修	介護福祉士	3名
R5.08.10	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	4名
R5.09.23	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	5名
R5.09.25	個人情報保護（プライバシー）研修	管理者兼生活相談員	4名
R5.10.07	身体拘束廃止研修	作業療法士	3名
R5.12.12 ～12.14	ハラスメント防止研修	管理者兼生活相談員	13名
R5.12.19	冬道の安全運転研修	介護福祉士	6名
R6.02.08	感染症対応(嘔吐物処理)研修	看護師	5名
R6.02.09	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	4名
R6.02.24	高齢者虐待防止研修	管理者兼生活相談員	5名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.05.07	令和5年度登米市障害福祉サービス事業所等職員研修会	登米市福祉事務所生活福祉課	南方庁舎2階	職員1名
R5.06.21	東北大学スキルスラボオンラインセミナー①なるほど！一次救命処置	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R5.07.05	東北大学スキルスラボオンラインセミナー②痙攣が起きた時の対応方法	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R5.08.08	東北大学スキルスラボオンラインセミナー③シュミレーションで学ぶ！脳卒中	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R5.08.09	令和5年度指定介護保険サービス事業所集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻合同庁舎1階	職員1名
R5.08.04	令和5年度アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R5.09.20	東北大学スキルスラボオンラインセミナー④転んで頭を打った人の観察方法	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R5.10.11	東北大学スキルスラボオンラインセミナー⑤窒息が起きた時の対応	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名

R5.11.01	令和5年度宮城県高齢者権利擁護推進研修③「権利擁護事例検討会(研修会)」	宮城オンブズネット「エール」	Web	職員1名
R5.12.07	令和5年度認知症対応研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	Web	職員1名

(3) 認知症カフェ

年 月 日	項　　目	内　　容	参加者数
無			

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議(迫風園と合同)	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員　1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他　16名
デイサービス部会(各施設合同)	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	管理者兼生活相談員　1名
給食会議(迫風園と合同)	給食に関する事項等	月1回	給食係　1名

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
無			

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	4名
リスクマネジメント・身体拘束　廃止検討委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	6名
アクティビティケア・自立支援重度化防止検討委員会	地域交流、重度化防止、利用者ケアの充実について	月1回	4名
感染症・褥瘡対策委員会	新型コロナ、感染症、褥瘡の対応について	月1回	5名
防災委員会	利用者、職員の安全対策、BCPについて	月1回	2名

(2) その他の委員会

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
無			

【 施 設 機 能 の 開 放 】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団　　体　　名	内　　容	来 訪 者 数
R5.04.03 ～04.27	佐々木とも子様・千葉眞子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	5 名
R5.05.08 ～05.23	佐々木とも子様・千葉眞子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	5 名
R5.06.04 ～06.14	佐々木とも子様・千葉眞子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	2 名
R5.07.08 ～07.29	佐々木とも子様・千葉眞子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	3 名
R5.08.19 ～08.28	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	2 名
R5.09.01 ～09.01	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	1 名
R5.10.06 ～10.20	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	3 名
R5.11.06 ～11.27	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	3 名

R5.12.08 ～12.25	佐々木とも子様　小野寺恵美子様 (社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	3 名
R6.01.15 ～01.25	佐々木とも子様　小野寺恵美子様 (社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	3 名
R6.02.02 ～02.22	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	2 名
R6.03.15 ～03.22	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	2 名
計			34 名

(2) 実習

年 月 日	団　　体　　名	実　　習　　内　　容	実 人 数	延 人 数
R5.07.05	東北医科薬科大学	地域包括医療実習	2 名	2 名
R5.07.26 ～11.10	登米産業高等学校	通所介護実習Ⅰ	3 名	41 名
R5.10.10 ～10.20	迫支援学校	産業現場等における実習	3 名	27 名
計			8 名	70 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

①地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
・認知症カフェ(RUI Café)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持っていきます。
・家族が気軽に相談や来園できる体制を構築し、連携を強化することで適切な支援ができるよう取り組みます。
・利用者、家族アンケートを実施してニーズを把握し、そのニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築します。
・地域課題について地域包括支援センター等の関係機関と連携し、適切に対処します。
・利用者の主治医や医療機関と連携し、利用者が地域で元気に暮らしていけるよう支援します

②自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
・利用者の自立した生活の実現に向け、機能訓練による身体機能の維持向上を図っていきます。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止に関する研修を行い、職員全員が人権擁護に対する高い意識を持って支援にあたれるようにします。
・利用者が生活のメリハリや充実感を保てるよう、各種行事のほか、楽しく取り組めるアクティビティを実現します。
・LIFEのフィードバックデータを活用し、適切な利用者支援に活用します。

③良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み
・介護ソフトやタブレット等のICTを活用し、業務の効率化を図ることで職員の業務負担軽減を図ります。
・委員会において定期的に常務内容を見直し、業務の効率化と生産性の向上を図っていきます。
・事故防止のため、事故の原因究明と再発防止策を検討し、利用者へ安心・安全なサービスを提供します。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって働きやすい職場環境をつくります。
・外部研修及び内部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図るとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験の対策講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。

④安定した経営と持続可能な運営の取り組み
・質の高いサービスを提供し、利用者の満足度を高めることで稼働率の向上につなげます。
・毎月の事業収支状況を分析し、稼働率確保と電気光熱水費等の節約に向けた取り組みを行っていきます。
・各関係機関や居宅ケアマネとの連携を深め、地域情勢や利用者のニーズを把握すると共に、こちらからの積極的な発信によって、地域における事業所の価値を高めていきます。

⑤感染症や災害への対応力強化の取り組み
・利用者と職員の健康状態を把握し、事業所への感染症の持ち込みを防止します。
・感染症や自然災害発生時についてはBCP(業務継続計画)に従って対応し、利用者に対して必要なサービスが提供できる体制を構築します。
・感染症や自然災害への対策について各委員会で検討し、BCPの研修や訓練の結果をもとに、BCPの内容がより実践的なものとなるよう随時見直しをかけていきます。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校との連携を深め、災害時に迅速な協力対応がとれるよう体制を構築します。

令和5年度
特別養護老人ホーム南風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6番地43
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開 設 年 月 日　　平成6年5月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	54 名
短期入所生活介護	16 名
計	70 名

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月以降に5類へと移行しましたが、8月そして令和6年1月には感染者が多数発生する状況がありました。幸いにも利用者の方々で重症化するケースはありませんでしたが、この2回の感染時期で大きく稼働を下げる結果となっています。関連して、リスク管理の観点から季節行事や日中活動、面会等、人が集まる状況は可能な限り作らない対策が年間を通じて必要になりましたので、令和6年度以降は、少しずつ外部との接点をもう一度広げていけるように取り組んでいきます。

入退所については20件ありました。コロナ対応により新規入所の受け入れに日数を要した時期もあり、こちらも稼働率を下げる要因となっています

事業運営の充実対応を目指した取り組みでは、趣味活動ボランティア、行事慰問ボランティア、登米総合産業高校からの実習生受け入れ、救命講習など、外部との繋がりを持ち、これまで出来なかったことも少しずつ再開していきました。

また、サービスの質の向上のため、職員研修の充実、特にOJTを計画的に実践し、ケア手法の統一や業務効率化を目指した取り組みを行っています。その結果、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度の第2段階プレミアム認証事業所として認められました。

【　重　点　項　目　】

1. サービスの質の向上の取り組み

LIFFによる機能・口腔・栄養・認知症・褥瘡・排泄・ADL評価に関する情報提供を6ヶ月に1回実施し、そのフィードバックを通じてケア内容の分析・検討を多職種間で行いました。機能訓練においては、音楽体操・嚥下体操・歩行や立位の訓練・関節可動域や筋力向上のための訓練を実施し、機能低下防止に努めました。

口腔ケアにおいては、介護職員が歯科衛生士から助言指導をいただき、利用者個々の状態に合わせたケア手法を学び、支援の質の向上に努めています。栄養ケアマネジメントは、他職種間で利用者個々の食事提供状況やケア状態の検討を行い、定期的に計画の見直しを実行しました。褥瘡ケアマネマネジメントについては、必要な栄養量の確保、清潔保持、圧迫の軽減対策などを委員会メンバーが中心となり検討し、改善に向けた取り組みを通じて2名の方が完治に至りました。

また、マニュアル検討委員会においては、活用できるマニュアル作りを目標に掲げ、7つのマニュアルを再評価し、年間通して改定作業を進めました。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

認知症カフェを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、実施には至りませんでした。また、認知症介護実践者リーダー研修も受講の予定でしたが、同様の理由から受講できませんでした。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

8月は短期入所、1月は長期入所の利用者の間で新型コロナウイルスへの感染事例がありました。事業継続に向けた方針を事前に定めていたことにより、感染者への支援と並行して通常の介護サービスも提供できる体制を確保しました。

4. 介護人材の確保、職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

知識技術の習得とサービスの質の向上に向けて年間の研修計画を作成し、外部研修21件（延べ29名）、内部研修20回（延べ156名）の実績のとおり、職員の研修機会の拡充を図りました。

また、介護福祉士国家資格の取得についてもフォローし、職員3名が合格となりました。

5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

インカムスマートフォンを活用したナースコールシステムにより、利用者支援の対応が速やかに行われるようになりました。また、センサーマット型の見守り介護ロボ（aams）により、夜間巡回の負担軽減(モニターでの一元管理）やバイタルの観察による行動パターンの傾向を把握できることにより、利用者の状況把握がしやすくなったことで職員の精神的負担が低減しました。

また、業務改善委員会では介護ロボのデータを分析し、業務効率と職員の負担軽減について検討しています。

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

認知症カフェの開催は新型コロナウイルス感染症の感染懸念から今年度においても見送りました。
登米総合産業高校2年生2名の介護実習を受け入れ、行事等における余興ボランティアの受け入れを行いました。閉塞感漂う状況の中、触れ合いを通じて新鮮な感覚と喜びがご利用者様から感じられました。

7. 継続的な事業運営の取り組み

南風園の事業継続を目的に、令和6年4月からの定員変更に向けた調整を行いました。これは、短期入所利用の減少や地域の介護職員不足が大きく影響しております。そのため、宮城県および登米市と協議を重ね、総定員70名から60名へと変更することが決定しました。次年度からは、効率的運営と収益性の向上が可能となる見込みであり、支出面においても経費の節減が期待できる検討となっています。

また、空調設備の老朽化が近年の課題となっており、利用者の生活に影響が出ている状況です。毎年のように故障や不具合の都度、修理・修繕を余儀なくされており、その費用も増加していることから早急に設備改修が必要と考えておりますが、まだ見通しがついていない状況です。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　18,032 名
2. 年 間 稼 働 率　91.24 %
   (目 標 稼 働 率　97.00 %)
3. 年間平均介護度　4.17
4. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	207	200	210	217	195	180	124	120	124	124	131	155	1,987
要介護 4	881	943	913	937	954	928	958	873	905	881	882	893	10,948
要介護 5	450	463	435	465	458	439	434	402	423	369	360	399	5,097
計	1,538	1,606	1,558	1,619	1,607	1,547	1,516	1,395	1,452	1,374	1,373	1,447	18,032

5. 入 退 所 状 況　(令和6年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	3	2	12
退 所 者 数	0	0	0	1	1	1	5	1	1	3	1	3	17
月末入所者数	52	54	54	53	54	53	48	48	48	46	48	47	－5

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.05.19	恵泉会50周年記念行事	恵泉会理事長より50周年をお祝いする挨拶を映像にていただき、その後、職員による余興「花笠音頭」を披露。皆で創立50周年をお祝いした。	利用者 46名 職 員 15名
R5.07.07	七夕交流会	短冊に願い事を書いていただき、七夕飾りを作成。かき氷も提供し、初夏のイベントを皆で楽しんでいる。	利用者 27名 職 員 7名
R5.07.26	夕涼み会	盆踊りや神輿担ぎ、スイカ割りなどのイベント通じて、夏の到来と涼を感じてもらいながら気分転換を図った。	利用者 48名 職 員 13名
R5.08.18	盆供養	盂蘭盆会として、物故者の供養を実施。ショートステイ利用者にコロナ陽性が発生したため、規模を縮小して実施している。	利用者 0名 職 員 7名
R5.09.11	長寿を祝う会	敬老の日に合わせた季節行事として実施。永年の労に感謝し、職員による余興などを鑑賞してもらいながら、職員・利用者が一緒にお祝いした。	利用者 48名 職 員 25名
R5.10.23	秋のレクリエーション行事(あやめ園との交流会代替)	利用者の皆さんで体を動かす簡単なゲームなどを行った。	利用者 26名 職 員 5名
R5.12.25	クリスマス忘年会	クリスマスプレゼントの贈呈と、職員よる余興(ハンドベル、ダンス)を鑑賞してもいながら、季節行事を楽しんだ。	利用者 38名 職 員 13名

R6.01.05	新年会	一年の健康を願う行事として、お正月の雰囲気を演出しながら実施。食堂前にて初詣とおみくじ体験コーナーを設置。また、職員による獅子舞の披露などの余興も行い、参加者全員で無病息災を祈願した。	利用者　46名 職　員　7名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　3,677 名
2. 年 間 稼 働 率　62.79 %
   （目標稼働率　85.00 %）
3. 年間平均介護度　3.21
4. 月別利用状況

（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
要介護 1	20	32	29	34	15	30	28	36	21	27	26	25	323
要介護 2	82	89	56	73	51	77	95	76	57	64	57	88	865
要介護 3	85	65	77	93	76	83	76	78	74	99	110	106	1,022
要介護 4	104	63	36	44	46	38	48	36	86	47	43	52	643
要介護 5	73	75	69	79	99	74	65	69	58	8	63	86	818
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	364	324	271	323	289	302	312	295	296	245	299	357	3,677

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参加者
R5.04.15	設備機器・公用車の取り扱い研修	介護福祉士	4 名
R5.04.17～21	業務管理体制研修	施設長	33 名
R5.05.24	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	看護師	8 名
R5.05.29	褥瘡予防研修	施設長	4 名
R5.06.05	新任職員研修	施設長	1 名
R5.06.21	感染症蔓延予防研修(前期)	管理栄養士	4 名
R5.06.29	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	4 名
R5.07.12～16	普通救命講習	登米市消防　西出張所	8 名
R5.08.23	認知症介護基礎研修	介護福祉士	6 名
R5.08.29～09.04	排泄ケア研修	白十字(株)　東北営業所	21 名
R5.08.31	高齢者日常介護支援研修	南寿荘　作業療法士	6 名
R5.09.18	安全衛生管理研修	施設長	7 名
R5.09.22	BCP研修(防災)	介護福祉士	5 名
R5.10.13	プライバシー研修	生活相談員	7 名
R5.10.30	BCP研修(感染)	介護福祉士	6 名
R5.11.30	交通安全教室	宮城県佐沼警察所　交通課	10 名
R6.02.16	感染症蔓延予防研修(後期)	看護師	4 名
R6.2.29	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	介護福祉士	5 名
R6.03.12	介護事故防止研修(後期)	安全対策担当者	4 名
R6.03.12～19	医療研修(夜間緊急対応訓練)	南風園防災委員会	5 名

   (2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開催地	参加者
R5.06.01	登米市地域包括支援センター職員等研修	登米市	登米市	職員1名
R5.06.07	アサーティブコミュニケーション研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.06.20	認知症カフェ研修	登米市	登米市	職員1名
R5.06.22	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	恵泉会本部	職員1名
R5.07.08	宮城県社会福祉施設保健担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.07.11	障害者虐待防止研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名

R5.07.12	恵泉会新任職員研修	恵泉会	恵泉会本部	職員2名
R5.07.25	宮城県サービス管理責任者更新研修	宮城県介護福祉士会	オンライン	職員1名
R5.08.08	指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
R5.09.01	恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.10.03	令和5年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネットエール	オンライン	職員1名
R5.10.12	宮城県看護協会登米支部ネットワーク会議	宮城県看護協会	登米市民病院	職員1名
R5.10.13～11.24	介護福祉士実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R5.10.24	給食施設集団指導	宮城県	登米市	職員1名
R5.11.09	登米市権利擁護研修	登米市	登米市	職員1名
R5.11.21	恵泉会経営者研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.12.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.01.29	恵泉会次世代リーダー研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.03.04	恵泉会人事考課現任研修　第2班	恵泉会	恵泉会本部	職員2名
R6.03.14	ハラスメント対策研修	厚生省	オンライン	職員1名
R6.03.21	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	宮城県	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	事業計画・行事計画・各部署間の調整等に関する検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	随　時	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	月1回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
苦情処理リスクマネジメント委員会	苦情や意見に対する検討及び介護事故等の予防と対策の検討	毎月第1木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価と利用者サービスの質の向上を検討・企画する	毎月第4木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
研修委員会	施設内研修の企画及び外部研修の受講調整	毎月第4木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束ゼロを目指す取り組みの検討・評価	毎月第3木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	感染症対策の検討・評価及び衛生保持に向けた取り組み	毎月第3木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡改善及び予防に向けたマネジメント評価と対策の実施	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	災害等に備えた訓練や対応方法の研修及び施設環境の点検整備	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
マニュアル検討委員会	施設内で使用する各種マニュアルの整備・見直し	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.07.12	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.07.13	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.08.03	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.08.09	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.08.24	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.09.11	地域サークル 寿々女会・沢田バーバクラブ	長寿を祝う会でのアトラクション披露	10名
R5.09.13	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.09.14	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.09.28	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.10.05	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.10.11	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.10.26	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.11.02	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.11.08	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.11.30	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.12.07	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.12.13	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R5.12.28	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R6.01.10	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R6.02.22	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R6.03.13	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名
R6.03.28	登米市社会福祉協議会 南方支所	趣味の会のボランティア	1名

(2) 実習

実施月	団体名	実習内容	実人数	延人数
令和5年 6月・・・1日間 7月・・・6日間 8月・・・5日間 9月・・・3日間 10月・・・4日間	宮城県登米総合産業高等学校	介護技術の見学・実践。 利用者様とコミュニケーションを図り、施設で生活する高齢者について理解する。	2名	37名

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

1)自立支援・重度化防止の取り組み

①科学的介護(口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練)における一体的取組として、評価分析、LIFFのフィードバック情報を定期的にサービス向上委員会やケアスタッフ会議において検討。ADL評価・興味関心シートと合わせて個別援助計画に反映します。また、平準化された介護と個別ケアの実践を進めていきます。

②重度化防止のため、口腔衛生の保持を重視し、嘱託医または歯科衛生士の指導や口腔ケアに関する知識と技術の習得を目的にした研修等を実施しながら、健康維持と重度化防止に繋げていきます。

③利用者満足の向上を目的とする取り組みとして、興味関心シートのほか行事後の感想などを参考に、定期的にサービス向上委員会において取り組み内容を振り返り、利用者満足度の向上を推進していきます。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

1)支援体制(地域包括ケア)の構築

施設入所・短期入所・介護予防・総合事業の事業推進においては、嘱託医、協力医療機関をはじめ居宅介護支援事業所のケアマネジャー、各専門職等と情報共有を定期的に図り、計画的なケアの実践を推進していきます。

2)医療機関との連携強化

嘱託医や協力医療機関と定期的に利用者の状況を共有し、夜間休日の相談、受診、緊急時の入院等ができる体制を確保し、急変時の対応がスムーズに進められるように連携強化を推進していきます。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

1）新興感染症及び自然災害発生時における業務継続計画

①感染症対策の強化として、予防衛生対策委員会（感染対策チーム）を設置し、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの徹底と利用者や職員への啓蒙、各種研修訓練などを実施します。

②自然災害への対策強化として、BCPの効果的な見直しや研修及び訓練を実施し、非常災害時の継続的なサービス提供と早期の業務再開を図れるように努めていきます。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

1)外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続していきます。OJT研修を計画的に実施し、ケア手法の統一・平準化を図り、サービスの質の向上と生産性の向上、介護負担の軽減を図っていきます。

2)認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講を進め、「認知症ケア加算」の取得を目指しながら介護力の高い事業所づくりを進めていきます。また、資格のない介護職員には、認知症介護基礎研修の受講を推薦しながら、実践力が身に付く育成過程を準備していきます。

3)人材育成については、法人が実施する研修への講師派遣や国家資格対策委員会への協力（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）を継続し、法人全体での職員の資格取得に向けた取り組みをバックアップしていきます。また、施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づいて人材育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会が主導となって進めていきます。

5)みやぎ介護人材を育む取組認証制度において、2018年(平成30年）1月から第1段階の認証をクリアし、2020年(令和2年）には第1段階上位にあたるプレミアム認証を取得しました。2021年(令和3年）4月には第2段階での認証をクリアしました。これは、人材確保、人材育成、職場環境の改善に向けた取り組みが特に認められた結果です。この内容を利用者家族や地域の方々にも広く周知し、共有していきます。

5. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み

1)インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、ケアパレット・iPadの導入など、介護情報データを活用することにより、業務効率の向上と迅速な状況判断、記録業務等の職員負担について軽減を図っていきます。

2)生産性向上委員会において、業務内容の見直しや工夫、利用者視点での効率的な業務手順・サービス提供方法について検討していきます。

3)マニュアル検討委員会において、既存マニュアルの見直しを適宜進めていきます。また、新たに必要となるマニュアルや手順書についても年間を通じて作成作業を進めます。

4)苦情解決・リスクマネジメント委員会において、介護事故防止のための取り組みを強化し、ヒヤリハットや事故事例を収集・分析し、原因の追求と適切な対応方法の職員間での共有を推進していきます。

5)利用者満足度調査の実施(年2回のアンケート)、日常からの情報収集、利用者興味・関心シートを活用したサービスニーズの評価・分析を行い、その人らしい暮らしを支援するための改善を計画していきます。

6)職員の福利厚生と適切な勤怠管理、労災事故ゼロを目指した取り組みについて、全職員で意識しながら働きやすい職場づくりを推進していきます。（年次有給休暇5日以上の確実な取得、安全衛生研修の実施、腰痛予防の取り組み、危険箇所の把握と改善など）

7)コンプライアンス意識を高め、虐待防止やアンガーマネジメントの取り組み、チーム力の向上、職員間の意思疎通の改善など、職員一人ひとりが互いを思いやりながら利用者に寄り添い、共に育つ職場環境を構築していきます。

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

1）地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」の開催を検討していきます。地域の方々や利用者家族などが認知症についての正しい理解ができるよう、介護情報の発信を目指します。また、認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催することも検討していきます。

2）小中高生の職場体験や学生の資格取得・免許取得を目的にした介護実習やボランティア体験などについて、積極的に協力していきます。

3）地域災害相互協定（覚書）について

①登米市（災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書）

②宮城県老人福祉施設協議会（災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害時相互支援協定）

③恵泉会（施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定）

④地区（高石地区）との災害時相互協定に向けた取り組み。

7. 継続的な事業運営の取り組み

1）業務継続に向けた取り組みとして、感染症や自然災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を維持していくため、業務継続計画（BCP）の適宜見直し、研修・訓練を実施していきます。

2）新たな体制加算の取得を目指す取り組みを強化します。特に高い専門性が必要とされる認知症ケアについては、研修修了者を増やす努力することで、事業所全体の介護力向上を図っていきます。

3）事業収支の丁寧な分析・管理に努め、総務部が中心となって早期の原因把握や省エネ、ムダを省く取り組みを推進していきます。

4）介護サービスの新規参入が多く、競争が激化している南方地区の地域性を把握し、利用者ニーズに合わせたサービス提供体制を強化できるよう、居宅介護事業所との連携を図りながら、今後の事業展開を検討していきます。

令和5年度
南方デイサービスセンター南寿荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6－8
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成6年5月1日
5．利　用　定　員　　32 名

新型コロナウイルス感染症への予防対策を講じながら、行事での慰問ボランティアの受け入れや登米総合産業高校からの介護実習受け入れ、救命講習などでの外部講師招待など、少しずつ外部との繋がりが再開できるようになりました。
令和6年1月には利用者の中でコロナ感染が拡大しましたが、幸いにも重症化するケースはなく、年間を通じて利用率・稼働率ともに一定以上の水準を保って営業することができました。
残念ながら、新規での登録者はなかなか増加しない現状が続いておりますが、スポット利用の方や複数回利用していただける方が増えたことにより、結果として稼働率が上昇に転じております。
事業運営の充実策として、サービスの質の向上のための職員研修に力を入れました。特にOJTを計画的に進めることで、ケア手法の統一を図り、業務効率の向上もつかめてきました。
取り組みの成果として、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度において、第2段階プレミアム認証事業所として認められました。

【　重　点　項　目　】

1．サービスの質の向上の取り組み
サービス向上委員会において、利用者アンケート、家族アンケートなどの結果をもとに活動内容等の検討を行ったほか、行事に対しての利用者の感想を確認し、行事方法の検討も行いました。事業計画の内容については、利用者への説明の機会も新たに設けるなどの取り組みも開始しております。
利用者の自立支援・重度化防止の取り組みとしては、機能訓練のプログラム充実を図りました。作業療法士が1対1で取り組む個別リハビリでは、一月あたり延べ100名以上の実績となっています。併せて、集団リハビリでは、作業療法士が作成したプログラムを毎月継続しながら繰り返し実践しております。その効果としてADL評価を実施し、LIFEによる厚労省への情報提供とフィードバック情報を基にしたケアスタッフ会議での効果検証と今後の援助に関する検討も進めております。
同様に総合事業の対象者についても転倒予防プログラムを用意し、より一歩踏み込んだ介護予防への取り組みを進めました。

2．地域包括ケア推進への取り組み
認知症カフェを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症への予防の観点から、令和5年度は中止としました。

3．感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み
令和6年1月に利用者の中でコロナ感染が広がりましたが、事業の継続を目的に、幾分か稼働率の低下はあったものの計画的な対応ができました。

4．介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
研修計画を基にして、外部研修21件延べ29名、内部研修20件延べ156名が参加する実績となりました。知識技術の習得、サービスの質の向上に向け、計画的な研修対応ができたと考えます。また、介護福祉士国家試験では、職員1名が受験し合格という結果になっています。

5．業務改善・働き方改革の一環としての取り組み
マニュアル検討委員会においては、しっかりと活用できるマニュアル作りを目標に掲げ、7つのマニュアルを改定しました。また、産休や育休の取得、風通しの良い職場環境づくり、年次有給休暇の5日以上の確実な取得など、職員一人ひとりが課題意識をもって改善に取り組んでいます。

6．地域貢献・地域連携の取り組み
食事代の無料化を継続し、利用者負担の軽減を図りました。感染症予防のため、幼稚園や保育園の児童、小中学校等の生徒の方々との定期的な交流の場の確保はできませんでしたが、プレゼント交換などの代替企画を用意し、連携・協力体制の継続を進めております。
ボランティアの受け入れについては令和5年7月より再開し、週1回、2名程度で清掃等の活動のために来訪していただいております。

7．継続的な事業運営の取り組み
毎月の事業収支や利用状況を正確に把握・分析することで、稼働率の維持や省エネ推進に向けた取り組みを進めております。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　8,473 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　310 日
3. 年 間 稼 働 率　　85.41 %　(通所介護＋総合事業)
　　(80.17) %　(通所介護)
　　(5.24) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.27 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	140	164	148	149	174	183	187	183	202	170	187	170	2,057
要介護 2	214	227	220	226	247	283	297	296	276	235	252	310	3,083
要介護 3	167	191	169	178	139	114	118	91	114	90	122	143	1,636
要介護 4	39	50	53	57	95	87	85	119	104	99	100	93	981
要介護 5	27	29	25	26	11	6	13	13	11	18	8	9	196
計	587	661	615	636	666	673	700	702	707	612	669	725	7,953
事業対象者	7	9	8	7	3	6	9	8	7	6	12	11	93
要支援1	16	16	17	13	19	8	9	8	8	7	8	8	137
要支援2	24	22	24	16	26	22	28	32	23	24	23	26	290
計	47	47	49	36	48	36	46	48	38	37	43	45	520
合　計	634	708	664	672	714	709	746	750	745	649	712	770	8,473

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R5.5.18～20	春まつり(法人創立50周年記念行事)	恵泉会創立50周年記念行事として、利用者の皆さんと一緒にお祝い行事を開催した。	利用者　52名 職　員　27名
R5.9.12～15	長寿を祝う会	敬老の日に合わせて、社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いした。	利用者　81名 職　員　26名
R5.12.23～25	クリスマス会	職員による余興を披露し、一緒に身体を動かしながら楽しい雰囲気を味わってもらうと共に、今年一年を振り返る企画を行った。	利用者　56名 職　員　17名
R6.1.9～11	新年会	新年のお祝いとして、お屠蘇や獅子舞の披露を楽しんでいただき、新しい年を元気に過ごしていただけるように、皆で祈念している。	利用者　78名 職　員　24名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R5.04.15～16	公用車の取り扱い研修について	南風園　職員	7名
R5.04.17～21	業務体制管理研修	施設長　職員	44名
R5.05.24	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	南寿荘　職員	9名
R5.05.29	褥瘡予防研修	南風園　職員	5名
R5.06.21	感染症蔓延予防研修(前期)	南風園　職員	5名
R5.06.26	介護事故防止研修(前期)	南風園　職員	5名
R5.07.12～19	普通救命講習	登米市消防署　西出張所	10名
R5.08.23	認知症高齢者介護基本研修	南風園　職員	7名
R5.08.31	高齢者日常生活支援研修	南寿荘　職員	9名
R5.08.28～09.04	排泄ケア研修	白十字東北営業所	22名
R5.09.19	安全衛生管理研修	施設長	8名
R5.09.22	BCP研修(防災)	南風園　職員	6名
R5.10.13	プライバシー保護研修	南風園　職員	8名
R5.10.23	BCP研修(感染)	南風園　職員	7名
R5.11.30	交通安全教室	佐沼警察署	11名

R6.02.16	感染症蔓延予防研修(後期)	南風園　職員	5名
R6.02.22	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	南風園　職員	4名
R6.03.12	介護事故防止研修(後期)	南風園　職員	4名
実　施　回　数　18 回		延べ参加者数	176名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.06.01	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	1名
R5.06.22	デイ減収対策/個別機能訓練加算取得セミナー	(株)東北第一興商	オンライン	1名
R5.08.07	コミュニケーション技術・対人援助技術基礎研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	1名
R5.10.19	自立支援型ケアマネジメン人材育成講座について	登米市	登米市南方庁舎	1名
R5.11.10	福祉用具セミナー	県リハビリテーション支援センター	オンライン	1名
R5.11.16	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市南方庁舎	1名
R5.12.01～21	宮城県サービス管理責任者基礎研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	1名
参　加　回　数　7 回		延 べ 参 加 者 数		7名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3火曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員・栄養士
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
防災委員会	災害等に備えた訓練や対応方法の研修及び施設環境の点検整備	毎月第1金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	苦情や意見に対する検討及び介護事故等の予防と対策の検討	毎月第3金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価と利用者サービスの質の向上を検討・企画する	毎月第3金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	身体拘束ゼロと虐待の未然防止について検討・評価	毎月第3木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
研修委員会	施設内研修の企画及び外部研修の受講調整	毎月第4木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
褥瘡予防・予防衛生対策委員会	褥瘡改善及び予防に向けたマネジメント評価と対策の実施	毎月第3木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
マニュアル作成委員会	施設内で使用する各種マニュアルの整備・見直し	毎月第1金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

【施設機能の開放】

1．地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.06.05	東郷小学校	交流企画(利用者手縫いの雑巾を渡す)	－
R5.07.06～07.20	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	5名
R5.08.05～31	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	10名
R5.09.07～28	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	6名
R5.09.13	宮城いきいき学園	長寿を祝う会余興	12名
R5.09.14	畑中会	長寿を祝う会余興	5名
R5.09.15	社会福祉協議会	長寿を祝う会余興	4名
R5.10.05～26	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R5.10.17	南方保育所	交流企画(手作りリースと手縫いの雑巾を渡す)	－
R5.11.02～30	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	8名
R5.12.07～14	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R6.01.04	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.02.01～29	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	5名
R6.3.14～21	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	6名
	合計		69名

(2) 実習

年月日	団体名	内容	人数
R5.07.26～31	登米総合産業高等学校　福祉科	介護技術見学・利用者との交流、活動支援	8名
R5.08.16～18	登米総合産業高等学校　福祉科	介護技術見学・利用者との交流、活動支援	6名
R5.08.25	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、トイレ誘導	2名
R5.09.01	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、トイレ誘導	2名
R5.09.02	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、離床介助	1名
R5.09.08	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、離床介助	2名
R5.09.09	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、レクリエーション	1名
R5.09.15	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、レクリエーション	2名
R5.10.06～13	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、レクリエーション	4名
R5.11.10	登米総合産業高等学校　福祉科	利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、レクリエーション	2名
	合計		30名

【今後の取り組み】

1．サービスの質の向上の取り組み

(1)生活支援の基本、利用者満足の向上の取り組み

①生活、活動、行事等について、利用者から意見や感想を聞き取り、記録や報告書に利用者意見欄を設け反映するほか、定期的にサービス向上委員会においてその内容についても検討し、より良いサービス提供に繋げるよう改善に取り組みます。

②標準化された介護サービスの提供と統一されたケア手法の実践のため、介護手順や業務表に基づいた実践的OJTを推進し、マニュアル検討委員会においては、活用できるマニュアルづくりを目標に掲げ、鋭意、見直し・改善を進めていきます。

③利用者にとって地域の情報等が知りやすくなるように、閲覧棚や掲示コーナーのレイアウトを工夫していきます。また、活動の中で地域情報や出来事、ニュースなどの話題にも触れたり、実際に体験したり、感じてもらえるような工夫を進め、地域との交流よ結びつきの充実も図っていきます。

(2)自立支援・重度化防止の取り組み

①認知症の周辺症状のある利用者に対して、利用日の行動や身体状況について把握し記録していきます。また、必要なケア内容や評価結果については、ケアスタッフ会議などで情報共有し検討していきます。

②口腔ケアの個別計画に基づき、実践・評価・分析・見直しを進め、実施状況を記録していきます。また、定期的にケアスタッフ会議などでケア内容の検討を行い、状況に応じて家族やケアマネジャーと情報共有を図りながら協働での取り組みを進めていきます。

③心身機能維持の取り組みは、機能訓練プログラム(認知機能・運動器の機能)を取り入れた集団リハビリ体操を実施します。また、生きがいサービス(レク活動・創作活動・趣味活動等)においても機能訓練の要素を取り入れた活動を進めます。なお、心身機能の維持・向上に対するの効果測定には、ADL評価(バーセルインデックス)を6ヶ月に1回実施し、個別ケアへの取り組みを更に進めていきます。

④総合事業対象の運動器の機能向上(転倒予防)の訓練を実施し、筋力低下の防止、身体機能の維持、介護予防の取り組みを進めていきます。評価方法としては、体力測定(5m歩行・UP&GO・開眼片足立ち・握力)を6ヶ月に1回実施していきます。

⑤要介護者対象の個別機能訓練を実施していきます。ADL(身体機能)・IADL(生活機能)の自立、自ら希望する生活のあり方を目標に設定してもらい、計画的なリハビリ介入により心身機能の維持・向上を支援していきます。

⑥年間を通じて四季の変化が感じられるような外出行事(外食・社会見学・買物訓練・社会適応訓練など)を計画していきます。利用者にとって生活の楽しみ、通所の目標に繋がるような企画を提案し、心のサポートを図っていきます。

⑦健康意識の向上や病気の理解、感染予防、食生活について関心・理解が深められるよう、健康教室、栄養教室を実施します。

⑧科学的介護の推進により、厚生労働省データベース「LIFE」への情報提供、分析・フィードバックされた情報を基に、ケア内容について内部検討を進め、業務手順やマニュアルの整備に活用していきます。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

(1)認知症への対応力向上に向けた取り組み

①認知症の理解と周辺症状に合わせた介護技術の習得のため、認知症実践者研修、認知症実践リーダー研修の受講を進め、認知症ケア実践の体制づくりを進めます。無資格職員には、認知症介護基礎研修の受講を必須としていきます。

②認知症カフェ「みなみかぜ」の開催を計画します。認知症への理解と啓蒙、介護の情報の有効な発信を心掛けます。

③認知症サポーター養成講座の開催を地域包括支援センターの協力のもと計画していきます。地域の方々の理解が深まり、支援や協力体制の輪が広がっていけるような取り組みを目指していきます。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

(1)感染症対策の強化として、予防衛生対策委員会(感染対策チーム)を設置し、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの徹底と利用者や職員への啓蒙、各種研修訓練などを実施します。

(2)自然災害への対策強化として、BCPの効果的な見直しや研修及び訓練を実施し、非常災害時の継続的なサービス提供と早期の業務再開を図れるように努めていきます。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

(1)外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続していきます。OJT研修を計画的に実施し、ケア手法の統一・平準化を図り、サービスの質の向上と生産性の向上、介護負担の軽減を図っていきます。

(2)認知症ケア専門研修、認知症介護基礎研修などの受講を進め、「認知症ケア加算」の取得を目指しながら、めざし介護力の高い事業所づくりを進めていきます。また、資格のない介護職員には、認知症介護基礎研修の受講を通して実践力が身に付く育成過程を準備していきます。

(3)人材育成については、法人が実施する研修への講師派遣や国家資格対策委員会への協力(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)を継続し、法人全体での職員の資格取得に向けた取り組みをバックアップしていきます。また、施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づいて人材育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会が主導となって進めていきます。

(4)介護福祉士実習指導者講習の受講、実習指導者を配置した受け入れ体制を整え、高校生の介護実習、職場体験の受け入れ、ボランティア等の受け入れについても鋭意協力していきます。

(5)みやぎ介護人材を育む取組認証制度において、2018年(平成30年)1月から第1段階の認証をクリアし、2020年(令和2年)には第1段階上位にあたるプレミアム認証を取得しました。2021年(令和3年)4月には第2段階での認証をクリアしました。これは、人材確保、人材育成、職場環境の改善に向けた取り組みが特に認められた結果です。この内容を利用者家族や地域の方々にも広く周知し、共有していきます。

5. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み

(1)サービス向上委員会(業務改善委員会)を生産性向上委員会へと名称を改め、利用者視点での業務効率化が図れるよう業務内容やサービス提供状況について検証・検討しながら改善していきます。

①マニュアル委員会を設置し、既存のマニュアルの見直しや新たに必要となるマニュアル・手順書などを整備していきます。

②介護事故防止のため、事故事例の検証を丁寧に進め、業務改善と合わせて対応策を職員全員で検討していきます。

③利用者満足度調査の実施(年2回)や利用者興味・関心チェックシートなど活用し、サービス提供内容を振り返り、評価する過程を大切にしながら、職員全員でアイディアを出し合いながら楽しく働ける職場風土を醸成していきます。

(2)職員の福利厚生と適切な勤怠管理、労災事故ゼロを目指した取り組みについて、全職員で意識しながら働きやすい職場づくりを推進していきます。(年次有給休暇5日以上の確実な取得、安全衛生研修の実施、腰痛予防の取り組み、危険箇所の把握と改善など)

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

(1)地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」の開催を検討していきます。地域の方々や利用者家族などが認知症についての正しい理解ができるよう、介護情報の発信を目指します。また、認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催することも検討していきます。

(2)地域災害相互協定(覚書)について

①登米市(災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書)

②宮城県老人福祉施設協議会(災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害時相互支援協定)

③恵泉会(施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定)

④地区(高石地区)との災害時相互協定に向けた取り組み。

(3)地域のボランティアとの連携や、幼老交流として地域の保育園・幼稚園・小学校と交流会などを通じて、利用者一人ひとりが地域において社会参加や交流促進が図れるように配慮します。

7. 継続的な事業運営の取り組み

(1)業務継続に向けた取り組みとして、感染症や自然災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を維持していくため、業務継続計画(BCP)の適宜見直し、研修・訓練を実施していきます。

(2)新たな体制加算の取得を目指す取り組みを強化します。特にADL維持等や認知症ケアなどの取得に向けた体制づくりを進めます。

(3)事業収支の丁寧な分析・管理に努め、総務部が中心となって早期の原因把握や省エネ、ムダを省く取り組みを推進していきます。

(4)年間予算の達成すべき収入ラインを見通し、利用者単価や一日あたりの収入達成ラインなどを目標値に据えて、事業内容の展開を計画していきます。また、設備整備や経営の効率化などについては、管理職と総務部が連携・協力して取り組んでいきます。

令和５年度
特別養護老人ホーム東和　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成21年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20 名
短期入所生活介護	空床
計	20 名

新型コロナウイルスの影響で、外部研修への参加が難しい中、内部研修やユニット内での勉強会を充実させ、職員のスキルアップに努めています。ご家族には定期的に利用者様の状況を電話やエルダー通信を作成し郵送でお知らせし、ご家族及び利用者様に喜ばれております。利用者様の健康状態の観察を多職種で観察し対応する事で入退院を未然に防ぎ今年度の入退所は2件ずつで稼働率アップに繋げる事が出来ています。今後は現在入所されている利用者様を大切にしながら、空床が生じた際は在宅介護の負担軽減のため速やかに短期利用に活用し、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指していきます。

【　重　点　項　目　】

1. ユニットケア施設の機能を生かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めます。

   利用者様の個別性を大切にし、24時間シートを活用し、個別ケアの実践を行っています。居室を自宅からの馴染みの物で整えたり、食堂の配置を工夫し、居心地の良い場所作りを行っています。また、今年度は談話コーナーを充実させ、相談を受け付けたり、団らんの場として活用することが出来ています。集団ケアではなく、一人一人の意思を尊重したケアを心がけ実践できました。

2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、低栄養利用者の予防・改善に努めます。

   利用者様の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行っています。また、3ヶ月に1回の採血を実施し、低栄養利用者には栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、食形態の変更や補食の検討、食器の工夫を行い、食事を召し上がって頂ける環境にも配慮し、食べる喜びを感じて頂けるようなケアを行っています。また、家族と連携を図り、低栄養気味であった利用者様の嗜好調査を行い、食事摂取に繋げ、低栄養予防を図ることができました。

3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決と再発防止に努めます。

   新型コロナウイルス感染防止対策で面会が制限され、エルダー通信として定期的に利用者様の近況報告に写真を添えて郵送する等工夫をしています。このような取り組みによりご家族にも安心して頂き、今年度も苦情は無く今年度終えることが出来ています。今年度は事故が1件も無く、利用者様の安心安全に繋げる事が出来ています。ヒヤリハットを活用し、事故が起きやすいリスクを職員みんなで考えることで、一人一人の事故防止に努めていきます。又、何かあればご家族にその都度連絡と報告を行い、信頼関係の構築を図ることができました。

4. 新型コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防に努めます。

   一年を通して、新型コロナウイルス感染防止対策の為、職員のマスク着用、換気、消毒を徹底して行っております。そのことによりインフルエンザの感染も予防出来ています。嘔吐、下痢の処理及び消毒方法を内部研修で行い、感染拡大させない知識を身に付け実施出来ています。デイサービスが併設されているため、お互いに共通認識を持ち、協力し合いながら感染対策を講じることで利用者様に感染する事無く、一年間過ごすことが出来ました。

5. 介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。

   介護ロボットについては1台のみの導入となっており、その有効性については残念ながら低い状況です。
   有給休暇の促進については全職員が5日以上の有給休暇を取得できており、モチベーションアップに繋がりました。

6. 法人が開催する資格取得研修に講師を派遣し、次代を担う人材育成に努めます。また、施設内外の研修に積極的に参加し、介護人材確保と共に離職率低下に努めます。

法人が開催する資格取得研修はオンラインでの実施となり、当施設からも研修講師として職員を派遣しております。研修委員会が中心となり内部研修も計画的に行われ、各職員のスキルアップに繋がっています。新規採用の看護師に対し、介護基礎研修やユニットケアについての研修を個別に実施し、スキルアップに努めています。また、ユニットリーダー実地研修へ職員1名が参加しており、新しい知識を習得できました。

7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組むことと、地域包括ケアシステムの一助となる様努めています。

新型コロナウイルスの影響により、例年行われていた地域行事への参加や、施設を開放しての避難訓練などは実施できませんでしたが、地域貢献活動として花壇の除草作業及び米谷こども園、米谷小学校周辺のゴミ拾いを行い、出来る範囲で地域との関りを継続できました。

8. 防災計画に基づいた避難訓練、通報訓練など各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。

消防計画にのっとり、避難訓練、通報訓練を行いました。風水害対策マニュアルの見直しも行い、避難場所である萩風園と避難方法について話し合い、合同の避難訓練を実際に行い、有事に備え体制を整えることができました。

9. 利用者の個別性を十分に理解し、基本的人権を尊重し全職員がプライバシーの保護や倫理的のコンプライアンスの徹底に努めます。

全職員対象の内部研修を行い、施設長が講師となり、法令遵守について学び、人権尊重の大切さを十分に理解し、虐待防止の徹底に努めました。また、来年度へ向けて虐待防止・権利擁護委員会を立ち上げ、建設的なケアの方針や運営体制が作れるようになりました。

10. ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。

24時間シートを活用し、在宅での延長上に施設での生活が出来るよう努めています。また、出来ることは自分で行って頂くことにより、ADLの低下を防ぐことのみでなく、自分でできることの喜びを感じて頂けるようなケアが行えました。

11. 事業所の経営状況と地域の状況やニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成する。その計画をすべての職員で共有し、短期計画の実践を積みかさねながら、将来の事業展開へ確実につなげていきます。

登米市との関連性もあるため、中長期計画は作成出来ませんでした。

【　利　用　状　況　】

1.　年間延べ利用人員　　7,236 名　（短期含む）
2. 年　間　稼　働　率　　98.9 %　（　〃　）
（ 目　標　稼　働　率　　97.0 % ）
3. 年 間 平 均 介 護 度　　4.07
4. 月　別　利　用　状　況（短期含む）　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	180	186	180	173	186	180	149	144	150	155	145	155	1,983
要介護 4	236	248	240	248	248	240	248	240	211	217	203	217	2,796
要介護 5	170	186	180	186	186	180	217	210	217	245	232	248	2,457
計	586	620	600	607	620	600	614	594	578	617	580	620	7,236

5. 入　退　所　状　況（長期のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
退 所 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
月末入所者数	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事
○合同行事

実　施　日	行　事　名	内　　容	参加者数
R5.05.19	恵泉会50周年記念を祝う会	恵泉会50周年を記念し入居者様へ記念品を贈呈しお祝いする。	利用者 20名 職　員 8名
R5.05.03～06	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 17名 職　員 3名

R5.09.17	長寿を祝う会	入居者様の長寿をお祝いし記念品を贈呈し、職員の余興披露している。	利用者 20名 職 員 8名
R5.12.20～23	ゆず湯	冬至の伝統行事であるゆず湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 18名 職 員 9名
R5.07.30	夏のお楽しみ会	密集は避けるも、合同での行事行う。レクゲーム、屋台風にたこ焼きとクリームソーダ提供し、職員余興披露している。	利用者 19名 職 員 8名

○ユニット行事(1丁目)

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.06.25	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植え行う。	利用者 4名 職 員 3名
R5.07.23	絵葉書作り	スポンジに絵の具を付けて好きな絵柄を選び絵葉書の作成行う。	利用者 6名 職 員 2名
R5.10.03	ドライブ	米川の華足寺見学に行く。	利用者 2名 職 員 2名
R5.10.11	出前	きけがわより出前をとりユニットで会食する。	利用者 10名 職 員 3名
R5.11.01	トンボ作り	サランラップの芯を使ったトンボ作りを行う。	利用者 6名 職 員 2名
R5.12.24	趣味活動	絵馬に願いごとや新年の抱負を書いて頂く。	利用者 8名 職員 3名
R6.02.25	絵合わせゲーム	春にちなんだイラストを用いて同じ絵柄を合わせるゲームを行う。	利用者 3名 職員 6名

○ユニット行事(2丁目)

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.04.30	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植え行う。	利用者 6名 職 員 4名
R5.05.02	ドライブ	浅水土手の公園に鯉のぼり見学に行く。	利用者 2名 職 員 2名
R5.05.25	ほっともっと出前	昼食にお弁当をテイクアウトし、ユニットで会食する。	利用者 5名 職 員 3名
R4.12.18	趣味活動	小瓶にコーヒー豆を使用し消臭剤作りを行う。	利用者 6名 職 員 2名
R5.08.27	和風喫茶	コロナ感染対策から夕涼み花火会改め、和風喫茶を開き、甘味を手作りし提供する。	利用者 10名 職 員 3名
R5.11.14	出前	コロナ感染対策からドライブ改め、きけがわより出前をとりユニットで会食する。	利用者 10名 職 員 3名
R5.12.24	忘年会・水の木作り	お正月飾りの水の木を切り餅で制作し、ユニットに飾りつける。その後忘年会として購入したおやつをユニットで会食する。	利用者 5名 職 員 4名
R5.12.31	壁画制作	ユニットに設えとして飾る貼り絵を制作している。	利用者 3名 職 員 1名
R6.02.25	園芸(寄せ植え)	ユニット入口に飾る鉢植えの植え替え行う。	利用者 6名 職 員 3名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R5.04.25.26.28	施設設備研修	職員	職員15名
R5.05.4.6.19	介護事故防止研修(夜間緊急時対応)	職員	職員15名
R5.5.23	感染予防研修	職員	職員14名
R5.05.27 6.03.17	公用車運転操作研修	職員	職員9名
R5.5.30	医療研修・口腔ケア研修	職員	職員3名
R5.6.26	食中毒予防研修(脱水予防含む)	職員	職員6名
R5.06.30 07.25 08.10	法令遵守研修	職員	職員14名

R5.08.15.22 09.03 10.08 10.10	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	職員	職員15名
R5.11.9.11.18.21	普通救命講習	登米市消防署、看護師	職員12名
R5.12.05	介護サービス基本研修	職員	職員5名
R5.12.30	認知症高齢者基本研修	職員	職員4名
R6.1.23	防犯教室	登米警察署東和駐在所	職員5名
R6.1.24	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	職員	職員3名
R6.1.30	プライバシー研修	職員	職員4名
R5.2.10	感染予防研修	職員	職員5名
R6.2.17	褥瘡予防・感染予防研修	職員	職員4名
R6.2.20	BCP(災害時)防災研修	職員	職員6名
R6.2.22	介護事故防止研修	職員	職員3名
R6.2.23	医療研修	職員	職員3名
R6.2.29	メンタルヘルス研修	職員	職員3名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R5.07.03	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R5.09.29	社会福祉施設中堅・監督職員研修監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.10.03	宮城県高齢者権利擁護推進研修②	宮城オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R5.10.12	宮城県看護協会登米支部看護管理者ネットワーク会議	宮城県看護協会登米支部	登米市民病院	職員1名
R5.10.17	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.10.23	コミュニケーション技術・対人援助技術研修(実践編)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.10.26～10.27	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.10.30～11.1	ユニットリーダー研修(実地研修)	全国個室ユニット型施設推進協議会	特別養護老人ホーム壱ノ町(利府町)	職員1名
R5.10.31	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.03	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.3～11.4	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.09	権利擁護制度研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.11.8～11.9	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.10	ユニットリーダー研修(実地研修)	全国個室ユニット型施設推進協議会	オンライン	職員1名
R5.11.13	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.16	登米市在宅医療・介護連携推進研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.11.26	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.11.28	介護支援専門員再研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R5.12.07	登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	オンライン	職員1名
R6.02.09	レジリエンス研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.02.22	「ゆい」就労支援セミナー	恵泉会地域生活支援センター	登米市迫公民館	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月日曜日	ユニットリーダー・介護職員・看護師
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	毎月1回	相談員・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　　容	開 催 日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【 施 設 機 能 の 開 放 】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年　月　日	団　　体　　名	内　　容	来訪者数
	※新型コロナウイルス感染防止のため受け入れなし		

(2) 実習

年　月　日	団　　体　　名	実　習　内　容	実 人 数	延 人 数
	※新型コロナウイルス感染防止のため受け入れなし			
計			0 名	0 名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感　染予防を行います。
・施設内で感染者が発生した場合に、感染者の対応を行う医療機関との連携の上で施設内で感染者の療養を行うことや、他の入所者への感染拡大を防止するよう努めます。
・個々の利用者について、心身の状態をアセスメントし、身体拘束を必要としない状態を追及します。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。
・防災計画やBCPに基づいた各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
・災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時（水害等）の対応を行います。
・施設設備の開放や地域活動への参加を通して、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献活動を進めます。
・全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコライアンスを徹底します。
・リスクマネジメント委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避できるように努めます。

2. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくりへの取り組み

・生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。
・利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。
・介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。
・利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防に努めます。
・各種研修の受講を通して、職員の業種や階層別における専門知識とスキル習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。
・常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働きやい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。
・介護現場における業務改善に資する取組の促進を図る観点から利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境作りに努めます。

3．自立支援・重度化防止に向けた対応

・職員による適切な口腔管理等の実施と、歯科専門職による適切な口腔管理につなげる観点から、利用者の入所時及び定期的な口腔衛生状態及び口腔機能の評価の実施に努めます。
・ユニットケア施設の機能を活かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めます。
・ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。

4．事業の安定性と持続性確保に向けた取り組み

・職員全員が経営意識を持ち、稼働率の向上や省エネに取り組み事業の安定化を図ることで良質なサービスの提供を継続します。

令和5年度
東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成14年10月15日
5. 利　用　定　員　　35 名

利用者の皆様の尊厳を重視し、自立支援を目指しています。心身の状態を確認しながら通所介護サービス計画書を作成し、安心・安全に過ごしていただけるようリスクの予防や分析を行い、再発防止に努め、職員も施設内外の研修に参加し、自己研鑽に努め質の高いサービスを提供することで利用者の方々の在宅生活を支え、家族の身体的及び精神的負担軽減を図っています。また、市町村や地域の保健・医療・福祉サービス関係者と綿密な連携を取りながら、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持に努めております。今後も地域に根差し、施設の機能を最大限に活かし、スポット利用も柔軟に受け入れながら、より良い利用をしていただけるよう努めていきたいと思います。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

① 利用者が可能な限り自宅や地域において自立した生活が送れるよう、季節行事や活動をとおして身体状態の維持・改善に努めます。

・在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、季節毎の行事やレクリェーション等活動をとおして通所介護サービス計画書を元に、個々の機能維持、改善が図れました。

② 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、利用者が自立した生活を送れるよう支援していきます。

・サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った通所介護サービス計画書の作成に努めました。
・看護師による機能訓練や、作業療法士による個別機能訓練を実施し機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスを提供することができました。

2. 利用者の尊厳の尊重

① 利用者の意向をお聞きしたり、状態を把握しながらその人らしく生活して頂けるよう丁寧に対応させていただくと共に、行事、活動をとおして社会資源も活用しながら支援させていただきます。

・体調の確認や、既往をよく理解し、その人らしく生活して頂けるよう意向を汲み取りながら、行事活動、社会資源等も活用しながら支援することができました。

② データ管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

・契約時には利用者、家族に個人情報の保護について説明し、文書にて取り交わし、データの管理を徹底し、個人情報の保護を図ることができました。

3. サービス向上に向けた取り組み

① 認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、医療機関・各関係機関と連携を取りながら利用者の在宅生活を支えると共に、家族の身体的及び精神的負担の軽減も図ります。

・認知症高齢者や重度の要介護者、また、退院直後の利用者等を積極的に受け入れ、医療機関、各関係機関と連携を図りながら利用者の在宅生活を支え、家族の負担軽減を図れました。

② 食事代を無料とし、利用者の負担軽減を図りながら利用者の生活を支えていきます。

・食事代を無料にすることにより、利用者負担の軽減が図れ、利用し易くなりました。

③ 認知症の介護基礎研修に参加し、認知症高齢者への理解を深め、その人らしい生活の実現に努めます。

・認知症の介護基礎研修に参加したり、内部研修等でも理解を深め、その人らしい生活の実現を図ることができました。

4. 介護人材確保・職員の資質向上への取り組み

① 施設内外の研修を計画し職員の階層別に取り入れたり、不足しているものを学びながら知識、技術、質の向上やキャリアアップに努めます。

・施設内の研修では、研修の時間帯を工夫し、多くの職員が研修に参加することで職員の、知識・技術の向上を図りました。また、外部への研修にもオンライン等も活用し、積極的に参加し自己研鑽を図ることができました。

② 常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得（最低5日以上）の促進、産休育休、病休制度等、職員の働き易い環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。

・業務の見直し、効率化を図っております。また、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、産休育休等制度を活用し、働きやすい職場環境になるよう配慮しております。人材の確保、離職防止することができました。

③ マニュアルや相談し易い体制を確立し、研修等も行いながらハラスメント対策を実施し、働き易い職場作りを行います。

・マニュアルの整備や研修、相談窓口や面談等を行い、ハラスメント対策を実施し、働き易い環境を整えることができました。

5. 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

① 施設設備の開放や地域住民との交流機会を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。

・施設前の除草作業を定期的に取り組みました。また、美化活動として米谷小学校前の道路の除草作業を行えました。

② 災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時(水害等)の対応を行います。

・年に1回、災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時(水害等)の対応を訓練をとおして行えました。

6. 事業運営の安定化と持続性の確保

① 利用者の健康状態をきちんと把握し、安全安心に利用して頂けるよう感染症の予防に努めます。

・手洗いや、手指消毒、棟内、車輛の消毒を行い感染症の予防に努めました。職員、利用者共罹患される方もいましたが、感染症の拡大は防げました。

② 利用者の安全確保の為の研修を行ったり、全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。

・ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングや委員会で改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止が図れました。

③ 感染症や災害の発生に備え、防災設備や感染予防対策セットを点検整備します。また、業務継続計画（BCP）に則り、緊急時にも事業を継続できるよう職員への周知と訓練を行い、利用者の安心安全な生活を確保できました。

・感染症や災害の発生に備え、定期的に防災設備や感染予防対策セットを点検整備しております。業務継続計画（BCP）に則り、研修等も行い職員への周知を図りました。利用者の安心安全な生活を確保できました。

④ 新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、利用者が基礎疾患を抱え重度化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。

・新型コロナウイルス感染症に関して、5類へ変更され国や県の対応も緩和されましたが、手指消毒やマスクの使用等は継続して実施し、感染予防、感染拡大防止が図れました。

⑤ 職員全員が経営意識を持ち、利用状況（稼働率）や省エネを数値化し、事業の安定化に向けた取り組みを行っています。

・利用状況（稼働率）や省エネを数値化し会議等にて職員に報告、職員全員が経営意識を持ち、事業の安定化を図ってます。しかしながら、利用者の契約解除者も多く経営の安定には工夫等が必要でした。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　8,268 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　310 日
3. 年 間 稼 働 率　　76.20 %　(通所介護＋総合事業)
　　(67.02) %　(通所介護)
　　(9.18) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.50 (通所介護)

5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	112	130	107	99	91	70	91	96	95	46	54	39	1,030
要介護 2	227	227	219	232	248	251	284	266	236	206	222	233	2,851
要介護 3	222	240	238	210	231	186	180	187	207	171	180	208	2,460
要介護 4	24	45	41	45	42	45	38	47	54	54	77	65	577
要介護 5	28	31	36	29	27	30	22	29	37	27	34	24	354
計	613	673	641	615	639	582	615	625	629	504	567	569	7,272
事業対象者	43	39	38	34	37	32	36	35	33	31	29	23	410
要支援1	8	6	9	8	9	9	8	8	11	12	12	18	118
要支援2	32	36	36	33	42	45	42	47	45	36	33	41	468
計	83	81	83	75	88	86	86	90	89	79	74	82	996
合　計	696	754	724	690	727	668	701	715	718	583	641	651	8,268

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	6	3	0	2	2	3	6	3	3	1	1	1	31
契約終了者数	1	7	0	4	1	6	2	4	5	2	4	12	48
月末契約者数	92	88	88	86	87	84	88	87	85	84	81	70	－17

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
　(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.04.13 ～04.15	50周年お花見会	春の音楽に合わせてリハビリ体操やジュースを飲んだりして楽しまれている。	利用者 80名 職 員 25名
R5.05.18 ～05.20	恵泉会50周年記念会	これまでの恵泉会の経緯を話したり利用者様への記念品贈呈を行ったり、また職員によるアトラクションでは利用者様も一緒に参加されて楽しい時間を過ごされている。	利用者 88名 職 員 24名
R5.07.06 ～07.08	七夕会	利用者様に短冊を書いていただき飾っている。七夕の由来をお話ししたり、七夕の歌に合わせて体操を行っている。	利用者 77名 職 員 23名
R5.08.28 ～08.30	夏祭り	開催間近に新型コロナウイルスの感染が増加し、一部ゲームや出し物を変更して行っている。合唱や神輿担ぎ、盆踊りを行った後かき氷を皆さんで食べて楽しまれている。	利用者 74名 職 員 20名
R5.09.20 ～9.23	50周年長寿を祝う会	祝電の披露やジュースでの乾杯を行い、記念品の贈呈から職員のアトラクションで盛り上がり、利用者の皆様楽しまれている。	利用者 104名 職 員 35名
R5.10.09 ～10.11	ミニ運動会	コロナ禍の中、競技内容も密にならいように工夫して行っている。参加された利用者様には賞状も配布し、皆様楽しかったと感想をいただいている。	利用者 74名 職 員 27名
R5.10.10	芋煮会	コロナ禍のため、今年度も調理は行なっていない。昼食に芋煮を提供して、秋の季節を感じていただいている。	利用者 23名
R5.12.14 ～12.16	50周年クリスマス会	利用者の皆様と鈴やタンバリンを使って、クリスマスソングに合わせて合奏を行っている。また、今年のプレゼントはくじ引き方式で行い、皆様はドキドキしながら参加されていた。	利用者 80名 職 員 29名
R6.01.15 ～01.17	新年会	今年度もお屠蘇を紙コップで配り対応している。利用者の方々は、健康な1年にしたいと抱負を述べている。利用者様による歌と踊りの披露をしていただき盛り上がっていた。	利用者 70名 職 員 29名

R6.02.05 ～2.07	節分ゲーム	節分の由来のお話しから、今回クイズも行っている。皆様由来について楽しく触れることが出来たと話されている。赤鬼・青鬼のチームに分かれゲームを行い楽しまれていた。	利用者 職　員	74名 18名
R6.03.14 ～03.16	ひな祭り	今年度はボランティアをお願いし大正琴を披露し、美しい音色に利用者の皆様は癒され楽しい時間を過ごされていました。	利用者 職　員	82名 22名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

（1）内部研修

年　月　日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R5.04.26・28	施設設備研修	職員	職員10名
R5.5.4・6・19・22	介護事故防止研修	職員	職員10名
R5.6.5・8	公用車運転操作研修	職員	職員11名
R5.06.29	食中毒予防・脱水予防研修	職員	職員7名
R5.7.5・10・19	法令遵守研修	職員	職員11名
R5.6.24・29	介護予防研修	職員	職員11名
R5.8.15・22・9.28	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	職員	職員9名
R5.9.6・9	医療研修・口腔ケア研修	職員	職員10名
R5.11.09	普通救命講習	登米市消防署東出張所	職員3名
R5.12.23・25	介護基本研修	職員	職員9名
R5.12.27・28	認知症高齢者介護基本研修	職員	職員11名
R6.01.23	防犯教室	登米市消防署東出張所	職員3名
R6.01.30	プライバシー研修	職員	職員8名
R6.2.12・13	感染予防研修	職員	職員11名
R6.02.17	褥瘡予防・感染予防研修	職員	職員9名
R5.02.20	防災研修（BCP）災害時	職員	職員8名
R6.02.22	介護事故防止研修	職員	職員4名
R6.02.23・24	医療研修	職員	職員10名
R6.03.20	感染症対策研修（BCP）感染症対策	職員	職員7名
R6.03.27・28	医療研修(緊急時対応デイサービス)	職員	職員9名
R6.03.23・28	メンタルヘルス研修	職員	職員9名
R6.03.28・29・30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	職員	職員10名
R6.3.14	防災教育	迫防災（外部講師）	職員2名

（2）外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R5.09.14	安全運転管理者講習	宮城県安全運転管理者会	登米祝祭劇場	職員1名
R5.10.19	自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.11.01	高齢者権利擁護推進研修③	宮城オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R5.11.16	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター	オンライン	職員1名
R5.12.07	登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	オンライン	職員1名
R6.02.06	看護職のためのユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	オンライン	職員1名
R6.02.09	レジリエンス研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

（1）定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3月曜日	施設長・デイサービス職員

3. 委員会開催状況

（1）定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・栄養士・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員

【 施 設 機 能 の 開 放 】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア・視察・見学　　新型コロナウイルス感染症予防対策により実施していない。

（2）実習　　新型コロナウイルス感染症予防対策により実施していない。

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

①利用者が可能な限り自宅や地域において自立した生活が送れるよう、季節行事や活動をとおして身体状態の維持・改善に努めます。

②利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、自立した生活が送れるよう支援していきます。

2. 利用者の尊厳の尊重

①利用者の意向をお聞きしたり、状態を把握しながらその人らしく生活して頂けるよう丁寧に対応させていただくと共に、行事、活動の実施、社会資源等も活用し、家族の協力も得ながら支援させていただきます。

②データ管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

3. サービス向上に向けた取り組み

①生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。

②利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。

③利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防止に努めます。

④介護現場における業務改善に資する取り組みの促進を図る観点から、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保に努めます。

4. 職員の資質向上・働きやすい環境づくりへの取り組み

①施設内外の研修を計画し職員の業種や階層別に取り入れ、専門的知識、技術の習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。

②常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働き易い職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。

③マニュアルの周知や研修を行いハラスメント対策を行い、メンタルヘルス等の研修も行い、相談し易い環境、体制を確立します。

④職員の負担軽減に資する業務改善等を通じた働きやすい環境作りに努めます。

5. 地域包括システムの運営・推進

①新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防を行います。

②新型コロナウイルス感染症に関しては5類へ変更され、感染症BCP（業務継続計画）が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行い、基礎疾患を抱え重度化リスクの高いご利用者をお守りすべく福祉施設として対応します。

③高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化として、協力医療機関との連携を図り、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組みが実施出来るよう努めます。

④認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、医療機関・各関係機関と連携をしなが利用者の在宅生活を支えると共に、家族の身体的及び精神的負担の軽減も図ります。

⑤高齢者虐待防止についての取り組みとして委員会を通じて検討、改善を図り高齢者虐待防止に努めていきます。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても研修等も行いながら職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。

⑥感染症や災害の発生に備え、防災設備や感染予防対策セットを点検整備します。また、業務継続計画(BCP)の見直しや職員への周知と訓練を行い、利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。

⑦災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害等)の対応を行います。

⑧施設設備の開放や地域活動への参加をとおして、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献を進めます。

⑨全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスを徹底します。

⑩リスクマネジメント委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避出来るように努めます。

6. 事業運営の安定性と持続性の確保

①職員全員が経営意識を持ち、利用状況（稼働率）や省エネを数値化し、事業の安定化に向けた取り組みを行います。

令和5年度
東和高齢者福祉施設生活支援ハウス　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2）設　置　主　体　　登米市
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成14年10月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

住み慣れた自宅に一日でも長く住んでいたいと願う思いは誰もが抱いています。しかし、その自宅で生活していくことが難しい時もあるのが実情です。ここ支援ハウスでは、個々の入所理由に対応し、快適な住環境、バランスの取れた食事の提供等を行い安心して生活できるよう支援しています。今年の冬は雪が少ない分、寒さが厳しかったが、寒さを心配することなく春を迎えられることに安堵されています。新型コロナウイルス感染症の流行も4年目となりましたが、今年度は感染症の感染者もでず無事過ごす事ができました。また、今年度も新規利用者の方がおり生活環境に慣れるまで時間が掛かりましたが、安心して生活をされ過ごされていました。今後も登米市及び各関係機関と連携を図り、利用者に安全と安心を提供していきます。

【　重　点　項　目　】

1. 共同生活を送りながらも、個性を大切にした生活が送れるよう支援します。
個室により個人のプライバシーは守られながら、食事や入浴を共にすることで連帯感が生まれ安心した生活を送ることが出来ました。

2. 感染症の予防に努め、適切な対応策を図り、安心して暮らせる環境を作ります。
マスク着用の徹底や手指消毒、施設内消毒、食堂のパーテーション設置など感染リスクを減らす取り組みをし感染者を防ぐことができました。

3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。
緊急入所の対応など、登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り柔軟に対応しています。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　499 名
2. 年　間　稼　働　率　　27.27 %
（目標稼働率　　50.00 %）
3. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自　立	0	0	0	0	0	0	0	0	21	31	29	31	112
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	24	62	58	50	194
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	31	58	29	20	138
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	26	55
計	0	0	0	0	0	0	0	0	76	151	145	127	499

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
月末入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	± 0

【利用者サービスの状況】

1．生 き が い サ ー ビ ス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.12.01 ～R6.03.31	塗り絵クラブ	例年大型の貼り絵を制作していたが、新型コロナウイルス対策として密となる活動を避け、個別の塗り絵などの活動に変更している。	利用者　8名 職　員　2名

【その他の利用者サービス】

＊介護家族支援レスパイト事業

1．年間延べ利用日数　　0 日

2．月 別 利 用 状 況　　（延べ利用日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R5.4.26・28	施設設備研修	職員	職員1名
R5.5.4・6・19・22	介護事故防止研修	職員	職員1名
R5.6.5・8	公用車運転操作研修	職員	職員1名
R5.6.29	食中毒予防、脱水予防研修	職員	職員1名
R5.7.5・10・19	法令遵守研修	職員	職員1名
R5.6.24・29	介護予防研修	職員	職員1名
R5.8・15・22・9.28	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	職員	職員1名
R5.9.6・9	医療研修・口腔研修	職員	職員1名
R5.11.09	普通救命講習	登米市消防署東出張所	職員1名
R5.12.23・25	介護基本研修	職員	職員1名
R5.12.27・28	認知症高齢者介護基本研修	職員	職員1名
R6.1.23	防犯教室	登米市消防署東出張所	職員1名
R6.1.30	プライバシー研修	職員	職員1名
R6.2.12・13	感染予防研修	職員	職員1名
R6.2.17	褥瘡予防・感染予防研修	職員	職員1名
R6.2.20	防災研修(BCP)災害時	職員	職員1名
R6.02.22	介護事故防止研修	職員	職員1名
R6.2.23・24	医療研修	職員	職員1名
R6.03.20	感染症対策研修(BCP)	職員	職員1名
R6.3.27・28	医療研修(緊急時対応ディサービス)	職員	職員1名
R6.3.23・28	メンタルヘルス研修	職員	職員1名
R6.3.28～30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	職員	職員1名
R6.03.14	防災教育	迫防災(外部講師)	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4水曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 個々のプライバシーを守りながら、共同生活ならではの楽しみを感じられるよう支援します。

2. 感染症の予防に努め、適切な対応対策を図り、安心して暮らせる住環境を作ります。

3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティーネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。

令和5年度
地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷　事業報告

【 施 設 概 要 】

1) 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－5
2) 設 置 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
3) 経 営 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
4) 開 設 年 月 日　　平成23年4月18日
5) 事業・利用定員

事　　業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護(空床利用型)	―
計	34 名

【 基 本 方 針 】

「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化の防止の取り組みの推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を柱にサービスの提供を行いましたが、2回のコロナウイルス感染症の施設内感染拡大が入居者の生活にも事業へも大きな影響を与えました。感染対策と対応が長期間となり事業の柱である基本的な方針への取り組みが不十分であった時期もありました。しかし、閉鎖された居住空間の中で、職員が工夫し日常の生活を継続しようと努力していた光景は、まさに生活を支える専門職としての姿であり、得られたものもあり、総じてその結果、大きな稼働率の減少もなかったことは収穫でした。

【 重 点 項 目 】

・感染症や災害への対応力強化
コロナウイルス感染症は、8月と1月に感染拡大がありました。BCP計画に基づき対応し、法人内他事業所より玉突き支援いただき収束することができました。訓練の定期的実施や備蓄品の確保の必要性を再確認しました。

・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携
認知症に関する研修の実施、看取り介護は継続し、個別の対応について意識して実践することができました。

・自立支援・重度化の防止の取り組みの推進
ライフなどデータの活用を行い、感染症予防に留意しつつ共同生活室での交流やリハビリの実施など寝たきり、重度化防止の取り組みを行いました。

・介護人材の確保・介護現場の革新
人材育成に人事考課制度を活用し、きめ細やかな育成に心がけました。Web等を活用した研修機会も確保できました。また、見守り機器等の有効活用とNSコールシステムの入れ替えにより職員の負担軽減も行いました。

・事故防止
通院や処置が必要な事故が何件かありました。起きた事故については検証を重ね周知しました。ユニット施設の特性で職員一人で対応する場面も多く、職員の介護技術の向上と専門知識を高めるための研修を継続して行っていきます。

・法人内他事業所との連携
コロナウイルス感染症対策における法人内事業所の支援は、横のつながりを確認することができました。大規模法人の特性を生かした良い取り組みで継続が必要です。

・地域との連携
地域の小学校や中学校、婦人部との交流はできませんでしたが、次年度は交流の再開を検討します。

・職員の質の向上
法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣しました。次年度も継続できるよう職場として支援します。

【 利 用 状 況 】

1 年間延べ利用人員　　12,023 名
2 年 間 稼 働 率　　96.62% %
（ 目 標 稼 働 率　　98.00 % ）
3 年間平均介護度　　4.04
4 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護 3	180	186	180	186	186	204	217	210	186	155	145	124	2,159
要介護 4	523	548	480	510	530	500	515	502	552	515	446	482	6,103
要介護 5	240	272	270	279	279	250	266	212	279	341	348	359	3,395
計	973	1,037	960	1,006	1,026	984	1,029	954	1,048	1,042	968	996	12,023

5 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	8
退 所 者 数	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1	8
月末入所者数	33	34	32	33	33	34	33	33	34	34	33	33	± 0

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス
（1）行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R5.05.19	春まつり	季節を感じていただきながら入居者の交流を図り、楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 34名 職 員 17名
R5.09.15	長寿を祝う会	長壽を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈る。記念撮影も行っています。	入居者 33名 職 員 14名

【短期入所者生活介護サービス】

1 年間延べ利用人員　　61 名
2 年間平均介護度　　1.30
3 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	22	31	2	0	0	0	0	0	0	0	55
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	22	31	2	0	0	0	0	0	0	6	61

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況
（1）内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R5.04.22	オンコールについて	看護師	介護職員6名
R5.04.25	オンコールについて	看護師	介護職員6名
R5.05.13	ユニットケア研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	介護職員4名
R5.05.19	看取りについて	准看護師	介護職員6名

R5.06.22	口腔ケアについて	中江歯科クリニック歯科衛生士	介護職員4名
R5.07.20	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員2名
R5.09.16	接遇について	介護福祉士	介護職員4名
R5.09.20	コンプライアンスについて	施設長	介護職員6名
R5.09.24	健康管理や病気・薬の副作用について	准看護師	介護職員4名
R5.09.30	認知症介護基本について	介護福祉士	介護職員4名
R5.10.22	感染症予防について	看護師	介護職員4名
R5.10.28	感染症予防について	看護師	介護職員4名
R5.11.11	身体拘束廃止/虐待防止について	介護福祉士	介護職員4名
R5.11.23	接遇研修振り返りについて	介護福祉士	介護職員13名
R5.11.24	口腔ケアについて	中江歯科クリニック歯科衛生士	介護職員4名
R5.11.26	認知症基礎研修振り返りについて	介護福祉士	介護職員13名
R5.12.10	ゾーニング研修	看護師	介護職員6名
R5.12.14	褥瘡予防について	看護師	介護職員4名
R5.12.17	ゾーニング研修	看護師	介護職員6名
R5.12.21	介護実技について	介護福祉士	介護職員3名
R6.01.27	介護予防について	介護福祉士	介護職員3名
R6.01.27	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員3名
R6.01.27	口腔ケアについて	介護福祉士	介護職員3名
R6.02.14	個別のOJTについて	ユニットリーダー兼介護福祉士	介護職員3名
R6.03.16	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	介護職員3名
R6.03.21	プライバシー保護について	介護支援専門員	介護職員6名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.07.04	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R5.07.12	恵泉会新任職員研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.08.07	コミュニケーション技術・対人援助技術	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.09.01	人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.11.21～22	ユニットリーダーケア研修	日本ユニットケア推進センター	岩手県盛岡市(マリオス)	職員1名
R5.10.12	離職防止について	(公社)宮城県看護協会	登米市立市民病院	職員1名
R5.11.01	権利擁護と高齢者虐待防止法	宮城福祉オンブズネット	オンライン	職員1名
R5.11.15	モチベーションアップ講演会	一関市福祉部長寿社会課	オンライン	職員1名
R5.12.01	要介護者の口腔ケア支援者研修会	宮城県歯科衛生士会	オンライン	職員1名
R5.12.08	地域課題情報交換会	登米市福祉事務所 長寿介護課	南方庁舎	職員1名
R5.12.13	感染症対応強化研修会	登米地区地域医療対策委員会	ホテルサンシャイン	職員1名
R5.12.18	フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R5.12.20	福祉サービス苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.01.29	次世代リーダー研修会	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.02.05	人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.02.14	介護の現場における生産性向上推進フォーラム	厚生労働省	Zoom	職員1名
R6.02.22	介護の現場ではたらくこと	恵泉会地域生活支援センター	迫公民館	職員1名
R6. 2.9 2.17 3.9 3.15	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名

2 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	第3木曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	第3水曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	8回	施設長・相談員・看護師・介護職員
連絡会議	各部署の代表者で情報共有や意見交換、懸案事項の検討を行っています。	毎月1回	施設長・相談員・看護師・ユニットリーダー

(2) その他の会議

開 催 日	内　容	場　所	出　席　者
月1回と入居時	担当者会議(ケアプランの確認、見直ししています)	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

3 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
施設指名委員会	見積もり合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人事務局に内申を行います。	7回	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討をしています。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策しています。	第2火曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善しています。	5.7.9.2月 第3火曜日	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。。	4.8.12.3月 第3火曜日	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行っています。	第1火曜日	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	第4水曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー
ターミナル検討委員会	入居者や家族に対し、最期までより良い支援を継続することを基本とし、体制の整備、看取り介護、振り返り、体制の改善を行います。	第4火曜日	各委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	導入機器が安全且つ有効に活用され、介護事故等が減少していることの確認、必要な分析、検討を行います。	第1火曜日	各委員

【施設機能の開放】

1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

(1) 地域交流

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

(2) 視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数
R5.05.17	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.05.24	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.05.31	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.06.27	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.06.28	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.07.05	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.07.11	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.07.12	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.07.18	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.07.19	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.07.26	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ・Ⅱ	2名
R5.07.27	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R10.07.28	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ・Ⅱ	2名
R5.07.31	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ・Ⅱ	2名
R5.08.01	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.08.02	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.08.04	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.08.07	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.08.09	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.09.05	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.09.06	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.09.12	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.09.19	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名
R5.10.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.10.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.10.12	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
R5.10.17	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名
		延人数	30名

【今後の取り組み】

・感染症や災害への対応力強化

BCP計画の見直しを行うとともに、基本の研修や環境整備、備蓄品の確保、訓練の定期的実施を行います。法人内施設、及び地域住民との連携等継続し実施します。

・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携

住み慣れた地域において、入居者の尊厳を保持しつつ、サービスが切れ目なく提供されるよう認知症対応力強化、オレンジカフェの取り組みを推進します。

・自立支援・重度化の防止・見取りケアの実施の推進

各加算を取得し、寝たきり・褥瘡予防・重度化防止の推進します。食事面からのアプローチに力を入れます。また、見取りケアを行い住み慣れた場所で最期まで過ごしたいという希望をかなえます。

・介護人材の確保・介護現場の革新

人事考課制度の活用とさらなる充実を目指します。Web等を活用した個人の経験や能力に合わせた研修機会の確保。法人の初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し育成につなげます。

介護現場で見守り機器等を導入、事故防止や介護職員の負担軽減を行います。

・介護事故・虐待防止
　研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、入居者との関係を構築し介護事故・虐待防止に努めます。

・法人内他事業所との連携
　安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作ります。

・地域との連携
　感染症等を勘案しつつ、地域の関係団体との定期的な交流が再開できるよう検討します。

令和5年度
地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字寺内28－22
2）設　置　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
3）経　営　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
4）開　設　年　月　日　　平成23年4月18日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷は、法人理念である[人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、入浴、排せつ、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活上の世話や健康管理を支援し、入居後もその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入居者の心身機能の維持を目指しました。また、入居者の意志及び人格を尊重し、常にその人の立場に立って支援を行うように努めました。
地域との結びつきを大切にし地域行事への参加や地域の方々との交流の場を大切にし、入居後も人と人との関係、家族との繋がりを大切にし、ここで暮らしてよかったと思えるよう、地域や家庭との結びつきを重視した運営を展開してまいりました。
社会福祉法人恵泉会が法人創立50周年を迎え、新たな時代を「拓く」人材の育成にも力を入れていきます。
以上を実践するため、以下の5つを重点目標として推進しております。

【　重　点　項　目　】

1. 各種研修への参加は基より、認知症に関連する研修等（認知症基礎研修は該当者なし、認知症介護実践者研修は1名、認知症介護リーダー研修は1名）職員が受講し次世代を築く職員の人材育成を行っています。また、ユニットリーダー研修にも1名職員を派遣しリーダーの育成と資質向上に努めました。
2. 施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、個別援助計画、24時間シートなど各担当毎作成し、入居者個々の生活に合わせた支援を実践し、ターミナルケア（看取り）についても、年間7名対応しました。
3. 介護業務のICT化を推し進め、介護支援システムや介護ロボット等を活用し、業務改善（効率化・最適化）を行い職員の負担軽減を取り組みました。
4. 新型コロナウイルス感染症については、感染対策を継続して行い感染症の発生はなく入居者の皆様穏やかに生活されております。また、安全・安心な施設づくりに取り組み、大きな介護事故や災害もなく運営できました。
5. 令和5年度で策定最終年度を迎える「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画（BCP）」「自然災害発生時の業務継続計画（BCP）」の見直しを行い、より実効性のある物に仕上げるため計画に基づく研修と訓練を実施しました。

【　利　用　状　況　】

1 年間延べ利用人員　　12,011 名
2 年　間　稼　働　率　　96.52 %
（目標稼働率　　98.00 %）
3 年間平均介護度　　3.99
4 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	299	279	249	217	217	210	217	210	186	186	169	200	2,639
要介護 4	540	558	523	580	571	553	567	573	654	637	579	572	6,907
要介護 5	180	217	194	193	227	240	239	210	188	186	174	217	2,465
計	1,019	1,054	966	990	1,015	1,003	1,023	993	1,028	1,009	922	989	12,011

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	2	1	1	0	1	1	0	1	2	9
退 所 者 数	0	0	2	1	1	0	1	0	1	2	1	2	11
月末入所者数	34	34	32	33	33	34	33	34	34	32	32	32	－2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R5.07.31	夏祭り会	3ユニット合同で行い、かき氷、綿あめ、ゲームコーナーを回り、夏祭りの雰囲気を感じて頂いています。	利用者 33名 職 員 10名
R5.09.15	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をお祝いしています。	利用者 33名 職 員 14名
R5.10.05	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理しているところから見学し会食を楽しんで頂いています。	利用者 33名 職 員 10名
R5.12.28	正月飾り作り	ユニット毎にみずの木に飾り付けをして新年の準備をしています。	利用者 33名 職 員 6名
R5.11.28	お楽しみ昼食会	郷土料理である“はっと汁”を作り、昼食時に入居者へ提供し食べています。	利用者 34名 職員 10名
R6.02.02	節分・豆まき	厄を祓い無病息災を願い豆まきを行っています。	利用者 32名 職員 10名
R6.2.5～2.9	DVD鑑賞会	DVD観賞を通して水かぶりに行った気分を味わって頂いています。	利用者 19名 職 員 3名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　0 名
   (1) 短期入所　(年間延べ利用人員)　0 名
   (2) 介護予防短期入所　(年間延べ利用人員)　0 名
   (3) その他(障害福祉ｻｰﾋﾞｽ)(年間延べ利用人員)　0 名
   (4) 社会福祉法人等による利用者負担額軽減　実績: なし

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R5.04.03	コンプライアンス・ハラスメントについて	施設長	職員 8名
R5.04.03	腰痛予防研修	准看護師	職員12名
R5.04.06	災害、緊急時の対応、連絡体制	ユニットリーダー	職員 9名
R5.04.13	手洗い研修・BCPシュミレーション	准看護師	職員 8名
R5.04.13～04.20	見守り機器取り扱い研修	介護福祉士	職員17名
R5.05.10	認知症研修	介護福祉士	職員 7名
R5.05.22	食中毒防止研修	管理栄養士	職員 9名
R5.05.22	BCPシュミレーション(発電機の使い方)	介護福祉士	職員 8名
R5.05.30～06.11	消防設備研修	ユニットリーダー	職員14名
R5.06.03	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 8名
R5.06.26	ユニットケア研修	介護福祉士	職員 6名
R5.07.13	吐物処理手順研修	准看護師	職員 5名
R5.07.24	身体拘束廃止および虐待防止研修	介護福祉士	職員 6名
R5.08.17	OJT研修	施設長	職員 8名
R5.08.18	看取り研修	住職	職員15名
R5.08.28	介護技術研修	介護福祉士	職員 8名
R5.09.25	接遇研修	介護福祉士	職員 6名
R5.09.28	口腔ケア研修	歯科医師	職員 8名
R5.10.12	感染予防研修	介護福祉士	職員 9名

R5.10.23	メンタルケア研修	相談員	職員　9名
R5.10.23	プライバシー研修	介護福祉士	職員　7名
R5.11.24	救命救急研修	ユニットリーダー	職員　4名
R5.11.27	医療に関する研修	外部講師	職員　7名
R5.12.25	事故防止研修	ユニットリーダー	職員　8名
R6.01.11	褥瘡予防研修	介護福祉士	職員　5名
R6.01.22	感染予防研修（伝達研修）	看護師	職員　5名
R6.02.08	身体拘束廃止および虐待防止研修	介護福祉士	職員　5名
R6.02.08	看取り研修	看護師	職員　7名
R6.02.26	緊急対応フローのシュミレーション（医療に関する）	介護福祉士	職員　8名
R6.03.25	介護技術研修	介護福祉士	職員　6名
R6.03.25	防災に関する研修	ユニットリーダー	職員　6名

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.06.20	”子どもの頃からの塩eco”で高血圧予防	栄養士会	合同庁舎	職員1名
R5.07.30	安全対策担当者	全国老人福祉施設協議会	オンライン開催	職員1名
R5.08.09	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	オンライン開催	職員1名
R5.08.01	ケアマネジャー更新研修	宮城県	オンライン開催	職員1名
R5.08.08	指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻合庁	職員1名
R5.10.24	栄養士会研修	栄養士会	合同庁舎	職員1名
R5.11.08	認知症介護実践者研修	宮城県	介護研修センター	職員1名
R5.11.09	公証制度と遺言・相続について	登米市	南方合庁	職員1名
R5.11.10	高齢者施設での感染対策	宮城県	オンライン開催	職員1名
R5.11.15	ハラスメント研修	一関市福祉部長寿社会課	オンライン開催	職員1名
R5.12.13	感染症に関する研修	登米市	サンシャイン佐沼	職員1名
R6.1/23～26	ユニットリーダー実地研修	日本ユニットケア推進センター	ルグネット岩ケ崎	職員1名
R6.01.30	認知症介護実践者研修	宮城県	介護研修センター	職員1名
R6.02.11	施設アセスメント研修	宮城県ケアマネージャー協会	オンライン開催	職員1名
R6.02.16	薬と栄養「おいしく・楽しく・安全に」を目指して	栄養士会	合同庁舎	職員1名
R6.02.22	介護現場ではたらくこと	登米市	迫公民館	職員1名
R6.03.08	病院ではない、看取りケア	宮城県	オンライン開催	職員1名

2．会議開催状況

（1）定例会議

会　　議　　名	内　　容	実施回数	参　加　職　員
ユニット会議（3ユニット）	業務課題、問題の検討、24Hシートの見直し	各12回	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討	12回	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討	12回	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明	6回	施設職員、登米市、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討	9回	各セクション職員
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	14回	施設長、介護支援専門員、各部代表
ケアカンファレンス	ケア・サービスに関する協議	12回	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討	12回	施設長、栄養士、調理員、相談員、医務、介護員、SV

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R6.01.31	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実施回数	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討、改善計画の確認	15回	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修計画し実行	5回	施設長、各委員
感染症・褥瘡予防対策検討委員会	感染症・褥瘡の予防対策について検討	5回	施設長、各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	12回	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直し作成	10回	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み	4回	施設長、各委員
防災委員会	防災、災害に関すること	4回	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	9回	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	11回	施設長、各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	4回	施設長、各委員、購入担当者
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	11回	施設長、各委員、ユニット職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.09.15	マジックボランティア	マジックショー	5名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.6.27～R5.10.17	宮城県登米総合産業高等学校	介護実習	1名	19名

【今後の取り組み】

令和6年度介護保険制度改正に合わせて、次年度の重点項目を以下のとおり取り組みを行います。

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

①かかりつけ医（嘱託医）による定期的な診察（回診）は基より、これまでどおり入居者が急変した場合など相談・対応できるよう連絡方法や対応方法について確認を行う等連携を強化していきます。
②入居者の意思及び人格を尊重し生活に対する意向を踏まえ、アセスメント、課題分析、ケアプラン作成、モニタリングまで質の高い公正中立なケアマネジメント提供していきます。
③看取り介護に対する入居者、家族の意向を踏まえかかりつけ医(嘱託医)、看護職員、生活相談員、介護職員、介護支援専門員、管理栄養士が共同で入居者がその人らしく生き、その人らしい最期が迎えられるよう支援を継続していきます。
④新興感染症等の予防は基より発生時の対応について、感染症対策マニュアル及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）訓練や研修を行い対応力を強化していきます。
⑤高齢者虐待防止について、虐待防止・身体拘束防止委員会が中心となり、虐待防止に資する研修や虐待の芽チェックリストを定期的に実施し高齢者虐待防止を推進します。
⑥認知症介護対応実践者研修や認知症介護リーダー研修へ、本年度も継続して職員を派遣し認知症介護に対する理解と技術の向上を図ります。また、認知症の行動・心理症状（BPSD）の発現を未然に防ぐ、あるいは出現時に早期に対応するため平時から取り組みを行っていきます。

2. 自立支援・重度化防止に向けた対応

①入居者一人一人の個別機能訓練、口腔管理、栄養管理を一体的に取り組みます。
②入居者の自立支援・重度化防止に係る取り組みとして、施設サービスの質を常に向上させていくために、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルにより、質の高いサービスを提供する体制を維持していきます。また、LIFEを引き続き活用し入居者一人一人のデータを有効に活用していきます。
③24時間シートの作成をとおして、本人が「できる事」「支援が必要な事」を明確にし入居者一人一人が、その人らしい自立した生活が送れるよう支援します。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

①入居者の安全並びに介護サービスの質の確保、職員の負担軽減や効率的なサービス提供に資する方策を検討するため生産性向上委員会を設置します。

②法人の第三者評価で抽出した改善項目について、検討を行い改善に向け全職員で共有し取り組んでいきます。

③介護ロボットや入居者に合わせた見守り機器、介護支援システム等(ICT)を活用しサービスの質の向上と業務負担の軽減を図ります。

④入居者となじみの関係を構築できるよう各ユニット間の勤務体制に係る取り扱いを明確にしていきます。

⑤職員一人一人が意欲と自信をもって働けるように、研修等を通じてハラスメント対策を継続して行っていきます。

⑥施設内研修や外部研修に参加し職員の能力を引き上げるとともに、先を見通すことができる人材を養成していきます。

⑦人事考課制度において、職員一人一人が掲げた目標を達成し、更なるステップに進めるようにするとともに、その能力を伸ばしながら次世代を担う職員養成をおこないます。

4. 制度の安定性・持続性の確保

①災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、ほたるの郷消防計画や自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。

②毎月の事業収支、利用状況の把握により、目標稼働率維持や省エネ、経費節減に向けた取り組みを進めます。

③令和6年度制度改正に合わせた中長期計画を作成し、ほたるの郷における中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員で共有しながら事業を展開していきます。

④介護福祉士養成実習指導施設として、資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを受入れ、次世代の介護の担い手の養成と人材確保に繋げます。

⑤法人のホームページや宮城県介護サービス情報の公表制度、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度などWEBサイトを通じて施設の情報発信を行います。

⑥マニュアル検討委員会において、ほたるの郷の各種マニュアルを定期的に見直しを行い全職員に共有、理解し業務にあたれるよう継続していきます。

令和5年度
恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成5年3月15日
5. 利　用　定　員　　45 名

○事業内容
〔1〕通所介護（7-8時間・大規模Ⅱ）
〔2〕日常生活支援総合事業通所型サービス（第1号通所事業）
〔3〕基準該当生活介護（障害デイサービス）

（1）「自立」を目指した生きがいの持てる支援と質の高いサービスの提供。
（2）施設機能開放と地域社会への貢献。
（3）ご利用者の安定確保・健全な経営。
（4）地域包括ケア促進に向けた取り組みの実施。

【　重　点　項　目　】

1. 在宅生活の継続・・・個別機能訓練加算Ⅰイを取得し、機能の維持向上に向けリハビリに力を入れ実施しました。加算取得者で施設入所などによる終結者が居たものの、新規加算取得者もあり年度末で加算取得者は56名でした。ご利用者がリハビリに対して興味関心が持てるよう実施方法を工夫したり、楽しくリハビリを実施することで新規加算取得者を増やし、尚且つ継続実施していけるよう環境作りを行いました。今後も加算取得者を増やし、レスパイト機能のみならず在宅生活を継続するために精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指します。

2. オレンジカフェ「えん」の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に伴い開催自体が難しい状況でした。新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の状況にもよりますが、地域交流の一環として開催方法を工夫しながら実施していきます。

3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・感染症の状況を見ながらキッズつぼみ、恵はあとと七夕交流会やひな祭り交流会を実施しました。中庭で遊ぶ子供たちや、遠山荘のテラスで遊ぶ子供たちを眺めたり声を聞いているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。今後も感染症の状況を見ながら世代間交流として継続していきます。

4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・市に提出した介護事故（車輌の座席から転落）が1件あり、右の額に皮下出血が見られ冷却し通院しました。CT検査の結果異常はなく大事には至りませんでした。介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い、再発防止に努めました。また、公用車（車両）の事故として2件あり、2件とも送迎時の後方不注意による物損事故でした。運転手と介助員の連携やご利用者宅、道路状況などの共有を図り、事故防止に努めました。今後も、日頃の点検、定期の点検の徹底を行い安全な運転、送迎業務に努めていきます。

5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めました。稼働率を上げ収入を増やすことを目指しましたが、新型コロナ感染症による影響や施設入所などによる終結により、稼働率、収入ともになかなか伸びない状況でした。重度のご利用者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得やリハビリの重点化だけでなく、職員の介護技術の向上と施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することでご利用者の獲得をねらいました。今後、取れる加算は積極的に取得していきます。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員	11,149	名	
2. 年間稼働日数	310	日	
3. 年間稼働率	79.92	%	（通所介護＋総合事業）
	(75.53)	%	（通所介護）
	(4.39)	%	（総合事業）
4. 年間平均介護度	2.51	（通所介護）	

5. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	207	210	225	221	243	213	228	226	190	146	176	186	2,471
要介護 2	268	296	270	307	293	318	313	313	312	251	306	332	3,579
要介護 3	192	205	190	190	207	169	149	140	147	108	184	172	2,053
要介護 4	119	115	104	116	117	115	140	140	133	101	127	145	1,472
要介護 5	71	78	72	84	75	84	80	84	84	79	78	93	962
計	857	904	861	918	935	899	910	903	866	685	871	928	10,537
事業対象者	12	11	13	12	11	11	10	12	9	6	9	8	124
要支援1	12	11	9	9	8	8	6	9	9	6	13	4	104
要支援2	16	29	31	34	36	41	41	39	28	25	33	31	384
計	40	51	53	55	55	60	57	60	46	37	55	43	612
合　計	897	955	914	973	990	959	967	963	912	722	926	971	11,149

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	5	4	3	3	3	3	1	0	2	3	4	32
契約終了者数	4	7	1	1	0	1	0	6	5	3	3	1	32
月末契約者数	101	99	102	104	107	109	112	107	102	101	101	104	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R5.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 33名 職　員 10名
R5.05.19	50周年記念行事	スライドショー上映，カフェ	利用者 254名 職　員 65名
R5.06.22	レクレーション大会	玉入れゲーム他	利用者 34名 職　員 12名
R5.07.07	七夕交流会	キッズつぼみ余興，じゃんけんゲーム，カフェ	利用者 35名 職　員 11名
R5.08.04	2施設合同夏祭り	職員余興、出店、	利用者 37名 職　員 13名
R5.09.13	長寿を祝う会	職員余興、年祝い紹介、祝い品贈呈(3日間実施)	利用者 117名 職　員 38名
R5.09.16	とよま秋祭り山車見学	かき氷，麦茶提供	利用者 29名 職　員 10名
R5.10.24	運動会	輪投げリレー他	利用者 36名 職　員 13名
R5.12.20	クリスマスカフェ	カフェ(3日間実施)	利用者 104名 職　員 32名
R5.12.22	ゆず湯	ゆず湯	利用者 29名 職　員 11名
R5.12.25	クリスマス忘年会	オカリナボランティア演奏、2023年振り返り、クリスマスプレゼント、カフェ	利用者 35名 職　員 12名
R6.01.04	新年の行事	お屠蘇配り、新年会、大福笑いゲーム、職員余興(2日間実施)	利用者 71名 職　員 22名
R6.01.10	ふれあいカフェ	カフェ2日間実施	利用者 79名 職　員 24名
R6.01.09	百寿お祝い会	ボランティア，祝い品贈呈	利用者 34名 職　員 11名
R6.02.01	節分レクリエーション	鬼と記念撮影、年男年女紹介、カフェ(3日間)	利用者 103名 職　員 32名
R6.02.14	バレンタインカフェ	バレンタインカフェ(3日間実施)	利用者 114名 職　員 35名

R6.03.01	ひな祭り会 （キッズつぼみ交流会）	ペープサート、的当てゲーム、キッズつぼみ手遊び	利用者　39名 職　員　12名
R6.03.02	ひな祭り会	ひな祭りカフェ（抹茶、練り切り）、的当てゲーム	利用者　35名 職　員　10名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　119 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　310 日
3. 年 間 稼 働 率　　0.85 %
4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
基準該当生活介護	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	11	18
	区分4	7	7	8	6	8	8	7	10	10	6	8	7	92
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	計	7	16	8	6	8	8	7	10	11	9	11	18	119
	合　計	7	16	8	6	8	8	7	10	11	9	11	18	119

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.04	送迎車操作研修	介護福祉士	2 名
R5.06.05	防災機器訓練	介護福祉士	10 名
R5.06.08	熱中症防止・対処法について	准看護師	11 名
R5.06.30	食中毒予防研修	栄養士	9 名
R5.07.27	不審者対応訓練(3施設合同)	登米警察署	2 名
R5.09.22	消火器訓練(3施設合同)	登米市消防署	2 名
R5.12.19	コンプライアンス研修	施設長	6 名
R5.12.22	コンプライアンス研修	施設長	5 名
R5.12.26	コンプライアンス研修	施設長	4 名
R6.01.17	コンプライアンス研修	施設長	1 名
R6.01.29	令和5年度恵泉会次世代リーダー研修	施設長他	1 名
R6.02.19	業務継続計画研修	介護福祉士	5 名
R6.02.20	業務継続計画研修	介護福祉士	6 名
R6.02.22	業務継続計画研修	介護福祉士	5 名
R6.02.19	リスクマネジメント研修	介護福祉士	5 名
R6.02.20	リスクマネジメント研修	介護福祉士	6 名
R6.02.22	リスクマネジメント研修	介護福祉士	5 名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.06.20	令和5年度認知症カフェ研修会	登米市	南方町	職員1名
R5.08.09	令和5年指定介護サービス事業者集団指導【通所介護】	宮城県	石巻市	職員1名
R5.09.14	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	登米地区安全運転管理者会	迫町	職員1名
R5.09.21	令和5年度登米市障害サービス事業所職員等研修会	登米市他	南方町	職員1名
R5.10.23	令和5年度コミュニケーション技術・対人援助技術研修【実践】	宮城県社会福祉協議会	Zoomによる研修	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	年12回	全職員
ケア会議	行事やケアの内容見直し業務連絡の共通理解と周知徹底	年12回	生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	年12回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	年9回	生活相談員
各種部会	法人内の各部門別の会議にて法人全体として意思の統一を図る	月1回～2ヵ月に1回	各種職員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	年101回	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	年3回	リスクマネジメント委員会
サービス向上委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討、改善	年4回	サービス向上委員会
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	年4回	感染褥瘡検討委員会
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	年2回	身体拘束検討委員会
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	年4回	褥瘡委員会
研修委員会	サービスの質の向上に向けた検討、改善	年1回	研修委員会
給食委員会	給食についての検討	年12回	給食委員会、利用者様代表
防災委員会	防災についての検討	年2回	防災委員会
マニュアル検討委員会	各マニュアルの見直し、検討	年1回	マニュアル委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内　容	来訪者数
R5.09.13	熊谷流	舞踊等	5名
R5.09.14	社協ボランティア　屯所敬子様	体操等	4名
R5.09.15	衣川一座	舞踊等	4名
R5.12.25	オカリーナミモザ	オカリナ演奏	7名
	合　計		20名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.06.08 ～06.27	宮城県立支援学校女川高等学校	産業現場実習	1名	15名
R4.07.26 ～11.10	宮城県登米総合産業高等学校	登米総合産業高等学校　1年福祉科介護実習	3名	35名
R4.10.10 ～10.20	宮城県立迫支援学校	令和5年度後期現場実習	1名	9名
R4.10.23 ～11.10	宮城県立支援学校女川高等学校	産業現場実習	1名	15名
計			6名	74名

2. 認知症カフェ　プチ・ルポ「えん」開催

※コロナの状況により開催していない。

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. ご利用者が重度の介護状態になっても、住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ、必要に応じた個別リハビリ等を提供します。

2. オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催し事業所を開放することで、遠山荘をより理解していただくと共に地域全体で認知症の理解を深めます。また、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。

3. 隣接するサービス付高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」との交流を継続実施し、生きがい作りの場を提供します。

4. ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクがあることから、ご利用者一人一人の健康状態を把握し担当ケアマネジャーや主治医等との連携を図り、状態の変化に早めに気付くことで重症化を防ぐよう努めます。また、職員間での情報共有や研修を実施することにより介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを実施していきます。

5. 職員に対し施設内外の研修を計画し、知識、技術のスキルアップに努めます。また、看護師の持続的な配置と職員の技術向上に伴い、重度や障害のある方等も積極的に受け入れることでご利用者確保を目指すと共に、節水・節電を心掛け経費削減に努めます。

6. 新型コロナウイルス感染症に関しては、第5類へ変更され、事業継続計画（感染症BCP）が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行いご利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化リスクがあるため、他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。

7. 非常災害対策として、災害が発生した場合におけるご利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画を策定し、定期的に研修や訓練を実施し、災害発生後においても事業継続計画（BCP）に従いご利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備していきます。

令和5年度
地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211－5
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成21年　3月15日
5. 利　用　定　員　　10 名

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することが出来ています。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごして頂く環境作りに取り組むことが出来ました。
創作活動では、ご利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られています。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂いています。季節の移り変わりを感していただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供出来ました。交流面に於いては、新型コロナウイルス感染症5類移行により2つの行事で実施することが出来ています。また、運営推進会議の開催が2回出来、委員の方々より直接話を聞くことが出来ています。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、百寿を迎えられたご利用者がおり記念誕生会を開催、家族からはとても喜ばれています。ご利用者間では昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供が出来ています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もありご利用者一人ひとりの安定した利用とまでは言えなかったが、スポット利用等の受入れで年間稼働率98.03%と予算執行稼働率を達成することが出来ています。前年度を上回る結果でした。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努める事が出来ました。

【　重　点　項　目　】

1. ご利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又ご利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供が出来ました。
2. サービス会議やモニタリング等でご利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供が出来ました。
3. 担当者会議においてご利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、ご利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることが出来ました。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることが出来ました。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することが出来ました。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供がで出来ました。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことが出来ました。
6. タオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事が出来ました。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ（柔道整復師によるマッサージ）の実施で身体機能の維持が図る事が出来ました。
7. コロナウイルス感染症5類移行に伴い、地域のボランティアさんを招いての交流は、感染対策を継続しながら法人設立50周年記念行事と新年会行事の2回提供することが出来ました。又、運営推進会議で2回開催することが出来、ほんわかの様子を伝え地域の方々や家族様にも伝える事が出来ました。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めました。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことが出来ました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員	3,039 名	
2. 年 間 稼 働 日 数	310 日	
3. 年 間 稼 働 率	98.03 %	（通所介護・総合事業）
	97.52 %	（通所介護）
	0.52 %	（総合事業）
4. 年間平均介護度	2.68	（通所介護）

5. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	27	30	29	37	39	57	54	51	51	28	32	37	472
要介護 2	93	82	86	92	98	89	71	63	56	63	60	58	911
要介護 3	64	76	69	68	70	56	84	81	96	93	111	91	959
要介護 4	65	75	72	63	37	33	26	27	24	19	21	21	483
要介護 5	0	0	0	0	26	25	25	25	25	23	24	25	198
計	249	263	256	260	270	260	260	247	252	226	248	232	3,023
事業対象者	1	2	4	0	0	0	0	0	5	4	0	0	16
計	1	2	4	0	0	0	0	0	5	4	0	0	16
合　計	250	265	260	260	270	260	260	247	257	230	248	232	3,039

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	2	9
契約終了者数	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	3	8
月末契約者数	21	21	22	22	22	22	21	20	22	22	23	22	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R5.05.05	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂きました。	利用者　9名 職　員　3名
R5.05.27	恵泉会50周年記念祭	恵泉会50周年を記念し、ボランティア様の三味線演奏会を観賞して頂くと共に、法人からの記念品を利用者様一人ひとりに贈呈した後、お祝い膳を提供し、皆で50年の歴史をお祝いしました。	利用者　12名 職　員　5名
R5.07.06 R5.07.07	七夕会	七夕の雰囲気を味わいゲームを通して機能維持向上を図りながら利用者様同士の交流を深めて頂きました。	利用者　18名 職　員　6名
R5.08.22	夏祭り	夏祭りの模擬店や屋台の雰囲気を味わい楽しんで頂きながら、体力向上を図りました。	利用者　10名 職　員　5名
R5.09.13 R5.09.14	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。敬老祝い膳で御祝いを行いました。(2日間)	利用者　24名 職　員　10名
R5.10.26	秋のゲーム大会	スポーツの秋を感じて頂きながら、体を動かすことで脳への刺激や運動不足の解消へ繋げました。	利用者　10名 職　員　3名
R5.12.23 R5.12.25	クリスマスゲーム大会	クリスマスの雰囲気を味わい楽しんで頂きながら、体力向上を図りました。(2日間)	利用者　23名 職　員　8名
R6.01.17	新年会	新年を祝いボランティアによる三味線演奏を楽しんで頂くと共に、茶話会を通してコミュニケーションを促進しました。	利用者　11名 職　員　4名
R6.01.27	100歳記念誕生会	これまで歩んでこられた人生を振り返りながら、100歳という長寿をお祝いしました。	利用者　12名 職　員　4名
R6.02.03 R6.02.05	節分会	一年間の無病息災を願い、節分の雰囲気を味わい楽しんで頂きながら、体力向上を図りました。(2日間)	利用者　19名 職　員　8名
R6.03.01	ひなまつり会	春の訪れを感じながら、桃の節句をお祝いし皆さんで楽しんで頂きました。	利用者　9名 職　員　3名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R5.04.27	新任研修	楠　　武	職員1名
R5.05.08	食中毒予防に関する研修	介護福祉士	職員3名
R5.06.20	コミュニケーション研修	介護福祉士	職員3名
R5.07.11	介護実践研修(移乗・移動介助・体位交換)	介護福祉士	職員1名
R5.08.18 R5.08.19	法令遵守研修	管理者	職員4名
R5.09.27 R5.09.28	身体拘束虐待防止(前期)・プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	職員3名
R5.10.12	リスクマネジメントに関する研修	介護福祉士	職員3名
R5.11.14	感染症対策(インフルエンザ・風邪予防)に関する研修	介護福祉士	職員3名
R5.12.07	レクリエーション研修	介護福祉士	職員3名
R6.01.10	認知症に関する研修	介護福祉士	職員2名
R6.03.13	身体拘束虐待防止に関する研修(後期)	介護福祉士	職員2名
R6.03.13	苦情解決に関する研修	介護福祉士	職員2名

(2) 外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.05.14	令和5年　第1回マネジメント勉強会 WEB研修	登米市中田・石越地域包括支援センター	中田保健福祉会館	職員1名
R5.09.05	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台市	職員1名
R5.09.05	令和5年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R5.10.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに質する人材育成講座	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R5.11.28 R5.11.29	令和5年度「甲種防火管理新規講習」	(一財)日本防火・防災協会	豊里公民館	職員1名
R5.11.16	令和5年在宅医療・介護連携研修会 (難聴・誤嚥性肺炎)	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R5.12.29	認知症介護基礎研修e-ラーニング	宮城県(研修仙台センター)	ほんわか	職員1名

2．会議開催状況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3．委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
防災委員会	総合防災訓練について	R5.5.9	全職員
	総合防災訓練について	R5.6.8	全職員
	総合防災訓練の振り返りについて	R5.7.11	全職員
	防災に関する研修や訓練について	R5.8.9	全職員
	不審者対応訓練について	R5.9.6	全職員
	不審者対応訓練について	R5.10.12	全職員
	防災教室(火災想定)について	R5.11.14	全職員
	避難訓練について	R5.12.7	全職員
	BCP対応訓練、緊急時対応訓練について	R6.1.10	全職員
	送迎時緊急対応訓練について	R6.2.14	全職員
	防災教室(地震想定)について	R6.3.12	全職員

研修委員会	令和5年度年間施設内外研修計画について	R5.4.3	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	R5.5.9	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の介護研修(移乗・移動・体位交換)について	R5.6.8	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のコンプライアンス研修について	R5.7.11	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の身体拘束虐待防止・プライバシー保護に関する研修について	R5.8.9	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のリスクマネジメント研修について	R5.9.6	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の感染症対策(インフルエンザ・風邪予防)研修について	R5.10.12	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のレクリエーション研修について	R5.11.14	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の認知症研修について	R5.12.7	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のBCPマニュアル(部上訓練)、送迎時緊急訓練研修について	R6.1.10	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の苦情解決に関する研修、身体拘束虐待防止に関する研修について	R6.2.14	管理者・生活相談員
	今月の反省について	R6.3.12	管理者・生活相談員
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.5.9	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.6.8	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.7.11	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.8.9	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.9.6	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.10.12	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.11.14	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.12.7	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.1.10	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.2.14	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.3.12	全職員
サービス向上委員会	行事計画、地域貢献について	R5.5.9	全職員
	不審者対応訓練、地域貢献、個別機能訓練加算について	R5.6.8	全職員
	タイムテーブルの見直し、街頭指導について	R5.7.11	全職員
	タイムテーブルの見直し、サービス評価について	R5.8.9	全職員
	ケース記録、サービス評価について	R5.9.6	全職員
	サービス評価について	R5.10.12	全職員
	活動内容について	R5.11.14	全職員
	嗜好調査アンケート、来年度予算作成について	R5.12.7	全職員
	来年度予算作成、活動内容について	R6.1.10	全職員
	介護保険改定、個別活動、重度利用者に対しての受け入れ対応について	R6.2.14	全職員
	令和5年度の振り返りについて	R6.3.12	全職員
褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R5.5.9	全職員
	状況確認と対応について	R5.6.8	全職員
	状況確認と対応について	R5.7.11	全職員
	状況確認と対応について	R5.8.9	全職員
	状況確認と対応について	R5.9.6	全職員
	状況確認と対応について	R5.10.12	全職員
	状況確認と対応について	R5.11.14	全職員
	状況確認と対応について	R5.12.7	全職員
	状況確認と対応について	R6.1.10	全職員
	状況確認と対応について	R6.2.14	全職員
	状況確認と対応について	R6.3.12	全職員

感染症対策検討委員会	感染症予防対策について	R5.5.9	全職員
	新型コロナウイルス5類移行に伴う今後の対応、バルサン消毒実施について	R5.6.8	全職員
	感染症予防対策について	R5.7.11	全職員
	感染症予防対策について	R5.8.9	全職員
	感染症予防対策について	R5.9.6	全職員
	感染症予防対策について	R5.10.12	全職員
	感染症予防対策について	R5.11.14	全職員
	感染症予防対策について	R5.12.7	全職員
	感染症予防対策について	R6.1.10	全職員
	感染症予防に伴う施設内消毒と換気について	R6.2.14	全職員
	感染症予防対策について	R6.3.12	全職員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	R5.9.27.28	全職員
	身体拘束の現状について(内部研修実施)	R6.3.12	全職員

【今後の取り組み】

1. ご利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となります。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指します。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指します。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供します。
5. 目標稼働率98%以上を達成します。

令和5年度
恵泉会ヘルパーステーション　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成17年4月15日

利用者個々の持っている能力と、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援しました。在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護支援専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めました。

障害者サービスに於いて、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行いました。また、10月に事業所を迫町から登米町の恵はあと1階に移転し、恵はあと・遠山荘と協力し恵はあとご入居者で恵泉会ヘルパーステーション利用されている方のサービスの充実を図るよう協力体制で情報を共有し、とよま介護支援センターとも直ぐに相談し生活の質の向上に務めました。

【　重　点　項　目　】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導をしています。また、現在行っている業務内容等の見直しを行いました。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護支援専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行いました。
3. 外部研修へ参加するほか、施設内研修を毎月実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　4,112　名
2. 年 間 稼 働 日 数　　366　日
3. 年間平均介護度　　2.94　(訪問介護)

4. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	46	49	34	28	29	30	31	43	41	42	57	58	488
要介護 2	88	93	86	98	87	87	86	95	98	95	82	90	1,085
要介護 3	85	79	80	74	99	83	73	69	69	61	68	66	906
要介護 4	46	49	45	48	56	53	40	47	44	35	59	49	571
要介護 5	57	57	37	48	28	19	78	89	80	60	37	39	629
計	322	327	282	296	299	272	308	343	332	293	303	302	3,679
要支援1	20	19	21	20	20	21	22	22	20	19	19	19	242
要支援2	14	18	10	12	12	10	13	13	11	13	11	12	149
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	9	9	9	7	8	42
計	34	37	31	32	32	31	35	44	40	41	37	39	433
合　計													4,112

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	0	1	0	1	1	7	4	1	5	2	2	27
契約終了者数	1	4	1	0	0	0	1	0	1	3	1	6	18
月末契約者数	65	61	61	61	62	63	69	73	73	75	76	74	+ 9

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　822 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　366 日
3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	50
	区分2	4	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	5	52
	区分3	5	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9
	区分4	14	12	9	14	11	11	10	11	12	12	12	13	141
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	32	57	61	43	56	57	36	48	37	50	51	42	570
	計	59	78	80	66	75	78	56	67	58	70	71	64	822
	合 計	59	78	80	66	75	78	56	67	58	70	71	64	822

4. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約終了者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末契約者数	26	25	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	－2

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R5.04.14	コンプライアンス研修について	管理者	職員4名
R5.05.17	介護職員にとっての接遇について	職員	職員4名
R5.06.23	緊急時・災害時マニュアルの見直し	職員	職員4名
R5.07.13	食中毒の予防・蔓延防止について	職員	職員4名
R5.07.20	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー6名
R5.08.21	認知症の理解・ケアの基本	職員	職員4名
R5.09.12	事故発生及び再発防止について	管理者	職員4名
R5.10.26	感染症の予防・対策	職員	職員4名
R5.11.15	高齢者・障害者虐待防止について	職員	職員4名
R5.12.15	介護予防・要介護進行予防	職員	職員4名
R6.01.24	プライバシー保護について	職員	職員4名
R6.02.16	身体拘束廃除の取組みについて	職員	職員4名
R5.02.16	登録ヘルパー研修会	職員	登録ヘルパー6名
R6.03.14	リスクマネジメントについて	職員	職員4名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R5.06.22	令和5年度障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	オンライン	職員1名
R5.08.07	令和5年度指定介護サービス事業者集団指導	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
R5.09.21	登米市障害者福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.10.18	介護現場における医学的基礎知識1	宮城県	南方公民館	職員1名
R5.11.09	訪問介護・サービス提供責任者研修1	宮城県	仙台市	職員1名
R5.11.15	訪問介護・サービス提供責任者研修1	宮城県	仙台市	職員1名
R6.03.21	令和5年度障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	法人本部	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議・委員会

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する。	4・6・11・月・随時	介護福祉士

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び他事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努めます。また、併設されている恵はあと・とよま介護支援センター・キッズつぼみとの連携を図り防災・避難訓練についても協力していきます。

2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者が同行し良いサービス提供が出来るよう指導を行います。また,手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにします。

3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスが提供できるように積極的に研修会に参加し、訪問介護員のキャリアアップに努めます。また、登録ヘルパーの確保・育成し、サービス提供の現場に送り出せるようにします。

令和5年度
恵泉会介護支援センターいきいき　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4．開 設 年 月 日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりを意識し、お互いの人格を尊重しながらストレスを溜め込むことがないよう、いつでも相談できる明るい雰囲気の職場環境に心がけました。

・人材育成に関しては、今年度新たに1名が主任介護支援専門員研修を受講。主任介護支援専門員としての役割を学び、ケアプランチェックや法令に基づいた助言をおこなうなど、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供できるようになり、事業所全体の力量も概ね平均化してきました。

・登米市福祉事務所、各地域包括支援センターやサービス事業所等と情報共有をおこないながら利用者が地域での生活を継続できるよう連携を図り支援することができました。また、医療機関とは入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め退院後も利用者が地域での生活を継続できるように連携を図り支援することができました。

・各種研修会への参加については、今年度から感染対策を図りながら参集での研修会が開催されることが多く、積極的に研修会に参加し、各職員のスキルアップにつなげることができました。

・各種委員会については毎月定期的に開催することができました。感染症・災害対策委員会ではBCPを策定し内部研修の中で職員への周知を図りました。また、高齢者虐待防止委員会が主となり、地域包括支援センターを講師に迎え研修会を開催し知識理解を深めることができました。

・地域包括支援センターや他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会を開催し、連携を強化するとともに、お互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、担当の介護支援専門員ひとりに負担がかからないように随時情報を把握し、必要時には管理者が訪問を同行、進捗状況は事業所全体で共有しながら支援を行うことができました。

・特定事業所Ⅰの事業所として医療依存度の高い利用者や悪性腫瘍等による終末期の利用者を積極的に受け入れ、本人や家族が安心して生活できるように早期のマネジメントにつなげてきました。結果、次年度の加算算定（特定事業所医療介護連携加算）要件を今年度も満たすことができました。

【　利　用　状　況　】

※月遅れ含む

1．月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	96	98	95	102	113	108	108	106	106	103	106	99	1,240
女	184	173	169	170	171	168	168	159	163	158	161	156	2,000
計	280	271	264	272	284	276	276	265	269	261	267	255	3,240

2．月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	47	40	38	38	38	40	43	38	40	42	45	41	490
要介護2	78	82	83	84	87	82	81	86	82	80	80	79	984
要介護3	73	72	66	68	79	72	70	66	71	63	67	62	829
要介護4	51	46	42	46	45	47	45	43	41	44	44	45	539
要介護5	31	31	35	36	35	35	37	32	35	32	31	28	398
計	280	271	264	272	284	276	276	265	269	261	267	255	3,240

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	5	5	12	16	9	6	6	9	8	6	8	3	93
契約終了者数	6	16	8	4	9	7	12	14	6	9	6	13	110

【利用者ｻｰﾋﾞｽの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	60	61	58	58	58	56	59	61	57	61	60	58	707
訪問入浴	18	19	19	22	23	21	23	23	25	24	23	19	259
訪問看護	64	65	64	66	72	72	73	75	72	68	70	70	831
通所介護	180	176	165	174	171	164	159	157	153	149	147	151	1,946
通所リハ	22	21	21	22	24	24	23	25	23	23	20	23	271
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
福祉用具	196	194	192	199	204	202	198	195	191	189	185	187	2,332
短期生活	53	52	49	52	56	57	49	49	50	47	44	47	605
短期療養	3	3	3	4	3	3	3	3	5	2	1	1	34
認知通所介護	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	3	3	38
地密通所介護	35	32	31	31	35	42	40	40	42	45	48	44	465
計	635	627	606	631	649	644	630	631	621	611	602	604	7,491

【 認 定 調 査 状 況 】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	9	10	11	13	14	13	10	13	19	18	13	15	158

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	6
要支援2	5	5	5	6	7	7	9	8	8	8	8	9	85
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	6	6	6	7	9	9	10	9	10	10	10	11	103

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	1	1	1	1	3	3	2	2	2	2	2	2	22
	中田町	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	10
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	南方町	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	5	6	52
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	6	6	7	9	9	10	9	10	10	10	11	103

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	3	3	3	4	4	3	4	4	5	5	5	5	48
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	5	5	4	5	5	6	6	6	6	60

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
通所型サービス	4	4	4	4	4	4	6	5	5	5	5	6	56
計	4	4	4	4	4	4	6	5	6	6	6	7	60

【利用者ｻｰﾋﾞｽの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R5.04.13	令和5年度新任職員研修	恵泉会介護支援センター 施設長 恵泉会介護支援センターいきいき 管理者 恵泉会東和介護支援センター 管理者	1名
R5.06.13	個人情報について	恵泉会介護支援センターらくらく 管理者	5 名
R5.07.11	介護ソフトと仕事の効率化について	株式会社ワイズマン 仙台福祉支店	8 名
R5.08.17	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	6 名
R5.09.12	感染症BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員	8名
R5.10.04	令和5年度新任職員研修	恵泉会介護支援センター 施設長 恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	1 名
R5.10.11	高齢者虐待防止に関する研修会(他法人合同研修会)	登米市米山・南方地域包括支援センター 主任介護支援専門員 社会福祉士	10名
R5.11.13	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員 介護支援専門員	10名
R6.01.11	認知症について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	9名
R6.03.13	災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員	9名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参加者
R5.5.1 ～5.31	令和5年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員2名
R5.06.01	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.06.08	令和5年度介護認定調査員新任研修	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.07.28	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.09.11	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修打合せ	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R510.12	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会	登米市南方庁舎	職員1名

R510.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R510.31	令和5年度コーチング研修(実践編)	宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R5.11.09	令和5年度登米市権利擁護研修	登米市	登米市南方庁舎	職員2名
R5.11.16	令和5年度在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員3名
R5.11.24	症例カンファレンス	医療法人社団やまと やまと在宅診療所登米	中田アリーナ	職員1名
R5.12.05	令和5年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB開催	職員8名
R5.12.07	令和5年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R5.12.12	コミュニティケアミーティング	医療法人社団やまと やまと在宅診療所登米	登米市民病院	職員2名
R6.01.24	介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー	厚生労働省老健局	WEB開催	職員1名
R6.02.08	令和5年度登米市在宅医療・介護連携座談会	登米市	登米市民病院	職員2名
R6.02.14	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R6.03.05	令和5年度高次脳機能障害研修事業(圏域研修)	大崎保健所	WebeX開催	職員2名
R6.03.05	令和5年度ケアマネジャー・ケアスタッフ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院	職員1名

(3)その他の研修

年 月 日	内 容	主 催 者 講 師	開 催 地	参 加 者
R5.11.21	令和5年度恵泉会経営者研修	あすの監査法人	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R5.12.15	恵泉会職員研修大会	恵泉会研修大会実行委員会	WEB動画	職員10名
R6.01.29	令和5年度恵泉会次世代リーダー研修	社会福祉法人あけぼの会 介護老人保健施設 なごみのさと 町田大介氏	恵泉会法人本部2階研修室	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週火曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	開 催 地	出 席 者
R5.11.10	令和5年度 米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	職員2名
R5.11.15	登米市迫地域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員1名
R5.12.12	令和5年度 登米地区地域ネットワーク会議	登米総合支所	職員2名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　　容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
改善委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

令和5年度は介護支援専門員が1名減となり新人介護支援専門員1名を迎えてのスタートとなりました。10月より1名増員となった介護支援専門員も含め、主任介護支援専門員が教育担当となり育成に努めながら、居宅介護支援事業所としても年度を通して大きなトラブルもなく、安定した給付件数を維持できました。

特定事業所Ⅰを取得する事業所として、今年度も12月の時点で医療介護連携加算の要件を満たすことができ、令和6年度も医療介護連携加算を算定することが可能となっています。

令和6年度からは医療介護連携加算取得の算定要件が変更となるため、職員全員で取得に向けて意欲的に取り組んでいきたいと思います。また、各関係機関との連携を密に図りながら利用者本位の質の高いケアマネジメントが提供できるよう、日々研鑽を重ね向上心を持って業務に取り組んでいきたいと思います。

令和5年度
恵泉会介護支援センターらくらく　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

・互いの業務遂行状況に配慮し、業務調整や相談対応が行えたことで、一人ひとり責任感を持って意欲的に仕事に取り組むことができました。

・対人援助技術の研修の開催や、常にバイステックの原則を意識し、利用者・家族との信頼関係の構築に努めました。アンケート結果では感謝の言葉や励みとなる言葉も聞かれ良好な関係作りができました。

・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行うことができました。モニタリングを通して利用者の身体機能維持向上に向けた支援を継続的に行いました。

・BCPの策定に加え職員の周知のため研修を実施、また地域包括支援センターを講師に迎え、高齢者虐待に関する研修を開催、知識理解を深めることができました。

・在宅緩和ケア、難病等の各疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し利用者個々に対応ができました。認知症については、施設入所を希望するケースが増え課題となっています。介護者のケアも必要となる場合も多く、専門職として今後もさらなる研鑽が必要になります。

・少人数での新規対応、毎週の情報伝達会議等課題はあるが、主任介護支援専門員を中心に困難ケースの受け入れ、特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができました。

・ICTを活用し定期的な施設内研修の実施、地域ケア会議への参加、他事業所との研修会を実施することで、マネジメント機能の向上を図ることができました。

【　利　用　状　況　】

1．月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	46	45	45	47	50	51	48	54	53	58	56	55	608
女	93	96	100	103	113	112	122	113	117	114	113	116	1,312
計	139	141	145	150	163	163	170	167	170	172	169	171	1,920

2．月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	47	47	45	47	56	52	51	51	53	50	49	53	601
要介護2	61	60	63	67	68	73	76	72	73	76	73	75	837
要介護3	21	20	23	22	26	25	26	28	26	22	27	25	291
要介護4	5	8	8	7	7	7	7	8	10	14	14	12	107
要介護5	5	6	6	7	6	6	10	8	8	10	6	6	84
計	139	141	145	150	163	163	170	167	170	172	169	171	1,920

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	3	12	19	13	6	5	7	5	4	5	4	87
契約終了者数	3	4	5	2	2	4	3	2	6	1	8	10	50

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	32	32	35	33	34	35	37	33	34	35	33	35	408
訪問入浴	8	8	7	6	5	5	5	6	5	5	4	6	70
訪問看護	13	16	15	15	17	19	20	21	20	20	19	23	218
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	80	82	87	98	100	93	93	91	96	97	93	96	1,106
通所リハ	4	4	4	4	7	7	7	8	7	7	6	7	72
短期生活	18	20	20	22	21	21	21	25	20	17	17	22	244
認知短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
短期療養	0	0	1	2	1	1	2	1	2	1	0	0	11
福祉用具	88	88	90	95	98	96	103	102	106	105	103	108	1,182
地域密着通所	26	26	26	24	28	33	36	36	36	37	36	38	382
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	269	276	285	299	311	310	324	323	326	324	311	336	3,694

【 認 定 調 査 状 況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	5	10	9	5	9	8	4	3	3	5	4	8	73

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	4	4	36
要支援2	6	6	6	6	5	5	5	6	6	5	5	5	66
事業対象者	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	9
計	10	10	9	9	8	8	8	10	10	9	10	10	102

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	7	7	67
	中田町	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	26
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	10	9	9	8	8	8	10	10	9	10	10	111

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	64
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	76

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
通所型サービス	5	5	5	5	4	3	3	4	4	4	5	5	52
計	6	6	6	6	5	4	4	5	5	5	6	6	64

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R5.06.13	個人情報について	恵泉会介護支援センターらくらく 管理者	5名
R5.07.11	介護ソフトと仕事の効率化について	株式会社ワイズマン　仙台福祉支店	5名
R5.07.11	令和5年度新任職員研修	恵泉会介護支援センター 施設長 恵泉会介護支援センターらくらく 管理者	1名
R5.08.17	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	5名
R5.09.12	感染症BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員	5名
R5.10.11	他法人との合同研修会 (高齢者虐待に関する研修会)	米山・南方地域包括支援センター 主任介護支援専門員 社会福祉士	5名
R5.11.13	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 介護支援専門員	5名
R6.01.11	認知症について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	5名
R6.03.13	災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	5名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参加者
R5.05.08	令和5年度介護認定調査員新任研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.06.01	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.07.28	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.09.11	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修打ち合わせ	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.10.12	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.10.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.11.09	令和5年度登米市権利擁護研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.11.16	令和5年度在宅医療・介護連携室研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.12.05	令和5年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB開催	職員5名

R5.12.07	令和5年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R4.12.13	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R6.01.19	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	迫公民館	職員1名
R6.01.24	介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー	厚生労働省老健局	WEB開催	職員1名
R6.02.14	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R6.03.05	令和5年度高次脳機能障害研修事業(圏域研修)	大崎保健所	Webex開催	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内 容	主催者・講師	開 催 地	参加者
R5.07.12	令和5年度恵泉会新任研修	恵泉会	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R5.09.01	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R5.11.21	令和5年度恵泉会経営者研修	あすの監査法人 小菅良助氏 山田佳樹氏	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R5.12.15	令和5年度第44回恵泉会職員研修大会	恵泉会	WEB動画	職員5名
R5.12.15 ～ R5.12.19	令和5年度社会福祉施設長資格認定講習課程第4回集合研修	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	ロフォス湘南	職員1名
R6.01.29	令和5年度恵泉会次世代リーダー研修	社会福祉法人あけぼの会 介護老人保健施設 なごみのさと 町田大介氏	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1)定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2)その他の会議

開 催 日	内 容	開 催 地	出 席 者
R5.2.27	米山・南方地域ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	職員1名

3. 委 員 会 開 催 状 況

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

6月より1名増員となり、新任職員をバックアップしながら高い給付件数を維持できました。介護予防委託数も含め、新規依頼数が多く、受け入れについてセンター内で相談し給付に繋ぐことができました。

主任介護支援専門員を中心に困難ケースへの対応は、各関係機関と密に連携を図り質の高いケアマネジメントを行うことができました。

次期改正では、直接介護予防支援の契約を結ぶことができることや、ケアマネジャーの担当件数の上限も増えるため、更なる好業績となるよう目指します。

多様化する世帯、社会に柔軟に対応できるよう、介護支援専門員の質の向上に取り組んでいきます。

令和5年度
恵泉会東和介護支援センター　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成24年4月1日

【 重 点 項 目 】

・職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境作りに努め、万全の体調で職務を遂行することができました。

・情報伝達会議等を通じて利用者個々の抱える問題を検討したり、主任介護支援専門員を中心にアセスメント、課題分析について検討し資質向上につなげることができました。また、利用者の自立支援にもつなげることができました。

・地域包括支援センターやサービス事業所と利用者の情報を共有し、利用者支援にあたることができました。また、医療機関とは利用者入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め利用者が地域での生活を継続できるように連携強化することができました。

・積極的に研修会に参加し事業所内での伝達研修を実施し、専門的な知識の習得に努めることができました。

・感染症・災害対策委員会、高齢者虐待防止委員会にて、指針の策定や研修会を実施し必要な知識の習得と理解を深め、いかなる状況においても業務継続出来るようにBCP作成にあたることができました。

・特定事業所として他事業所との研修会を開催し、地域の事業所と一緒に資質向上を図り、特定事業所としてのリーダー的役割を果たすことができました。

・ケース支援に対して随時相談・支援体制をとり事業所全体で利用者支援を行い、事業所だけでは解決できない事例は地域包括支援センターに随時相談し問題解決につなげることができました。また、行政と共に利用者の生活が継続出来るよう支援にあたることができました。

【 利 用 者 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	41	43	42	35	37	38	44	34	34	33	35	455
女	102	107	104	99	91	97	93	99	92	90	89	86	1,149
計	141	148	147	141	126	134	131	143	126	124	122	121	1,604

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	31	33	31	28	23	25	25	29	26	21	23	22	317
要介護2	49	52	50	52	48	50	50	56	50	49	46	43	595
要介護3	37	36	35	32	30	33	32	28	28	28	30	31	380
要介護4	16	18	18	20	16	17	16	17	17	16	16	18	205
要介護5	8	9	13	9	9	9	8	13	5	10	7	7	107
計	141	148	147	141	126	134	131	143	126	124	122	121	1,604

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	22	5	1	4	3	6	6	3	0	2	7	2	61
契約終了者数	0	2	9	12	2	4	2	5	5	2	3	9	55

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	33	33	34	31	29	28	27	26	25	22	23	24	335
訪問入浴	4	10	11	10	8	9	8	8	8	7	9	8	100
訪問看護	22	23	24	22	23	23	21	19	19	17	19	18	250
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	81	82	79	74	65	71	71	70	68	68	64	62	855
通所リハ	17	18	18	18	17	16	18	18	15	14	15	15	199
福祉用具	89	91	90	83	82	83	80	85	80	74	76	77	990
短期生活	24	25	24	21	21	23	22	19	19	17	16	18	249
短期療養	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	5
対応型共同生	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
認知通所介護	3	3	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	31
地域密着型通所介護	17	17	18	18	23	18	24	25	21	21	22	23	247
計	290	302	301	280	271	274	273	276	257	243	247	248	3,262

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	8	11	5	7	8	8	4	3	4	6	2	6	72

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	2	4	3	3	4	4	5	5	4	5	41
要支援2	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	42
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
計	5	5	5	7	6	6	7	7	9	9	10	11	87

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	5	5	5	7	6	6	7	7	9	9	8	10	84
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	5	5	7	6	6	7	7	9	9	10	11	87

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	16
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	3	3	4	4	5	4	4	5	5	6	47

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	3	3	32
通所型サービス	3	3	3	3	3	3	4	3	5	6	5	7	48
計	5	5	5	5	5	5	7	6	9	10	8	10	80

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R5.06.13	個人情報について	恵泉会介護支援センターらくらく 管理者	4名
R5.07.11	介護ソフトと仕事の効率化について	株式会社ワイズマン　仙台福祉支店	4名
R5.08.17	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R5.09.12	感染症BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員	3名
R5.10.11	他法人との合同研修会(高齢者虐待防止)	登米市米山・南方包括支援センター 主任介護支援専門員 社会福祉士	4名
R5.11.04	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員 介護支援専門員	3名
R6.01.11	認知症について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R6.03.13	災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主催者	開催地	参 加 者
R5.06.01	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.07.28	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.10.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	宮城県社会福祉協議会	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.11.10 R5.12.18	令和5年度介護認定調査員現任研修	登米市	Web動画	職員4名
R5.12.08	令和5年度介護支援専門員実務研修実習指導研修	宮城県	ZOOM開催	職員1名
R5.12.20	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	ZOOM開催	職員1名
R6.01.19	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	迫公民館	職員2名
R6.01.24	介護事業所のための業務継続計画BCP作成セミナー	厚生労働省老健局	ZOOM開催	職員1名
R6.02.08	令和5年度在宅医療・介護連携座談会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院	職員1名
R6.03.05	令和5年度高次脳機能障害研修事業(圏域研修)	大崎保健所	Webex開催	職員1名
R6.03.05	令和5年度ケアマネジャー・ケアスタッフ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主 催 者・講 師	開　催　地	参 加 者
R5.04.24	令和5年度恵泉会人事考課者研修	法人本部	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名
R5.11.21	令和5年度恵泉会経営者研修	あすの監査法人 小菅良助氏 山田佳樹氏	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名
R5.12.15	令和5年度第44回恵泉会職員研修大会	恵泉会	WEB動画	職員4名
R6.01.29	令和5年度恵泉会次世代リーダー研修	(福)あけぼの会 介護老人保健施設 なごみのさと 町田大介氏	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	開　　催　　地	出 席 者
R6.01.26	令和5年度自立支援個別ケア会議	南方総合支所	職員1名
R6.01.31	令和5年度東和・登米地域ネットワーク会議	東和総合支所	職員1名
R6.03.06	ケース会議	東和総合支所	職員1名

3. 委員会開催状況

委　員　会　名	内　　容	開　催　日	参　加　職　員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
改善委員会	マニュアル・業務の改善および見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応、BCPの作成等に関する事	月1回	施設長、管理者、各委員
虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、各委員

【今 後 の 取 り 組 み】

令和5年4月から7月まで140件以上の給付管理件数を推移していましたが、施設入所などから、令和6年3月で130件と減少しています。前年度に比べて新規依頼は多くなっていることから、引き続き、地域住民に信頼されるケアマネジメントを実施することで、新規利用者獲得に努めていきます。

令和6年4月から、介護保険法改正により、介護予防支援を委託せず契約ができるようになるため、登米市及び地域包括支援センターと連携を図り円滑な支援に取り組みます。ただし、給付管理件数が増加することで職員の負担が大きくなる危険性もあり、コミュニケーションを図りながら、協力し合える関係を築き効率よく仕事ができる働きやすい環境づくりを行い、職員のメンタル面の支援にも配慮していきます。

各種研修会参加により、専門的知識を習得し利用者の多様なニーズに対応できるようにしながら、関係機関との連携を図り特定事業所としての役割を果たしていきます。

令和5年度
恵泉会とよま介護支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2．設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4．開 設 年 月 日　　平成25年5月1日

【　重　点　項　目　】

・心身共に健康で意欲を持って仕事に取り組める職場作りについては、職員一人ひとりがお互いの人格を尊重し、介護支援専門員特有のストレスを溜め込まないよう、話しやすい職場環境作りに心がけました。

・人材育成については、今年度新たに1名の新任介護支援専門員が配属となったことから、主任介護支援専門員が中心となり、ケアプランチェックや法令に基づいたきめ細かい助言を行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。

・各関係機関や団体との連携については、登米市福祉事務所や地域包括支援センター、各サービス事業者等と連携を図り、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れよう地域包括ケアシステム構築に努めました。

・研修会の参加については、新型コロナウイルス感染症が5類に変更となったことから、コロナ禍以前のように会場に集まっての研修会が徐々に再開されるとともに、リモートでの研修も引き続き開催され、各職員が積極的に参加し、専門職としての資質向上に努めました。

・各種委員会については、設置が義務化されている感染症・災害対策委員会や高齢者虐待防止委員会を含め、毎月定期的に開催し、BCPの策定や研修会の開催、利用者アンケートの実施等、充実した活動を行うことができました。

・地域包括支援センターや他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会を開催することにより、連携を強化するとともにお互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、米山・南方地域包括支援センターから支援困難な利用者の引き受けを行い、担当者のみに負担がかからないように随時状況の把握に努めながら、主任介護支援専門員を中心として事業所が一体として支援にあたりました。

【　利　用　状　況　】

1．月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	33	33	35	37	36	36	38	36	35	33	34	38	424
女	102	101	98	105	100	99	102	98	94	95	101	96	1,191
計	135	134	133	142	136	135	140	134	129	128	135	134	1,615

2．月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	45	41	45	46	44	41	41	39	36	33	34	34	479
要介護2	51	51	45	48	46	48	48	48	46	48	49	49	577
要介護3	21	21	22	26	26	28	27	26	26	27	28	28	306
要介護4	14	15	16	17	15	16	17	17	18	17	21	20	203
要介護5	4	6	5	5	5	2	7	4	3	3	3	3	50
計	135	134	133	142	136	135	140	134	129	128	135	134	1,615

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	2	4	2	2	2	2	1	0	7	2	3	30
契約終了者数	2	1	5	1	1	0	2	4	3	7	2	9	37

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	19	18	17	20	22	20	21	24	25	25	26	26	263
訪問入浴	2	2	2	2	3	4	5	5	6	6	5	3	45
訪問看護	24	25	24	25	27	28	28	27	24	26	27	27	312
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	91	85	90	93	92	89	90	87	86	82	88	91	1,064
通所リハ	8	7	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6	81
短期生活	14	14	14	13	13	17	18	17	21	17	14	21	193
短期療養	5	4	5	5	4	4	5	2	1	2	3	2	42
福祉用具	85	85	86	92	91	95	94	93	91	92	94	91	1,089
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地密通所介護	26	27	27	26	27	30	30	30	30	31	28	28	340
計	274	267	273	284	286	294	297	291	290	287	291	295	3,429

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	6	4	6	6	7	9	6	1	5	4	5	4	63

【 介護予防支援利用状況 】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	2	3	3	3	2	2	1	2	2	2	2	2	26
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	4	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	34
計	7	7	7	7	6	5	4	5	6	6	6	6	72

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	5	6	6	6	5	4	3	4	4	4	4	4	55
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	米山町	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	7	7	7	6	5	4	5	6	6	6	6	72

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	9
通所型サービス	6	6	6	6	6	5	4	4	5	5	5	5	63
計	7	7	7	7	6	5	4	5	6	6	6	6	72

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R5.04.13	令和5年度新任職員研修	恵泉会介護支援センター 施設長	1名
		恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	
		恵泉会東和介護支援センター 管理者	
R5.06.13	個人情報について	恵泉会介護支援センターらくらく 管理者	4名
R5.07.11	介護ソフトと仕事の効率化について	株式会社ワイズマン　仙台福祉支店	3名
R5.08.17	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R5.09.12	感染症BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
		恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員	
R5.10.11	他法人との合同研修会（高齢者虐待防止）	登米市米山・南方包括支援センター 主任介護支援専門員 社会福祉士	4名
R5.11.08	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員 介護支援専門員	4名
R6.01.11	認知症について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R6.03.13	災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
		恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主催者	開催地	参加者
R5.05.01 ～ R5.05.31	令和5年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R5.06.01	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.06.08	令和5年度介護認定調査員新任研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.07.28	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.09.11	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修打ち合わせ	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.10.12	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.11.16	令和5年度在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名

R5.12.07	令和5年度登米市認知症対応研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R5.12.07	令和5年度介護支援専門員実務研修 実習指導者研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R5.11.10 ～ R5.12.18	令和5年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB動画	職員4名
R6.01.24	介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー	厚生労働省老健局	WEB開催	職員1名
R6.02.08	令和5年度登米市在宅医療・介護連携座談会	登米市	登米市民病院	職員1名
R6.03.05	令和5年度高次脳機能障害研修事業(圏域研修)	宮城県北部保健福祉事務所	WEB開催	職員1名
R6.03.08	症例カンファレンス	やまと在宅診療所登米	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主催者・講師	開催地	参加者
R5.11.21	令和5年度恵泉会経営者研修	あすの監査法人 小菅良助氏 山田佳樹氏	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名
R5.12.15	令和5年度第44回恵泉会職員研修大会	恵泉会	WEB動画	職員4名
R6.03.04	令和5年度恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	開　催　地	出 席 者
R5.11.10	米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	職員1名
R5.12.12	登米地区地域ネットワーク会議	登米市登米総合支所	職員1名
R6.03.18	令和5年度登米市自立支援個別ケア会議	登米市南方庁舎	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　　容	開 催 日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
改善委員会	マニュアルと災害時要援護者台帳の作成及び見直しに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

令和5年度は年間を通して月135件前後の給付管理件数を維持することができ、前年度を約60件ほど上回ることができました。

令和6年度は介護報酬改定の施行に伴い、居宅介護支援の基本報酬が引き上げられたほか、オンラインモニタリングが導入されたり、介護報酬が半減する担当者数が引き上げられたりする（逓減制の緩和）などの変化ももたらされました。また、介護保険法の改正によって、居宅介護支援事業所も地域包括支援センターのように市町村から指定を受け、介護予防支援を担えるようになります。今後も安定した事業所運営を行うためには、安定的な給付管理件数を確保することが重要であり、引き続き良質なサービス提供を行い、地域の利用者から選ばれる事業所づくりに努めたいと思います。

令和5年度
登米市迫地域包括支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設　置　主　体　　登米市
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成18年4月1日

迫圏域では独居、身寄りや支援者がいない高齢者が多いことから、成年後見人の相談件数が多くみられました。令和5年度は迫圏域地域ケア会議を5回開催し、成年後見市長申し立てについては2件でした。高齢者虐待通報については10件となっており、世帯分離したケースは1件となりました。行政、医療機関、区長や民生委員、包括支援センター等で高齢者が地域で安心して過ごせるように地域包括ケアシステムの構築を図りました。また以前から相談が多かった新田地区の食・移動に関する地域課題について各関係機関に参加頂き、ネットワーク会議を開催し、社会資源マップの作成を行いました。

【　重　点　項　目　】

1. 各関係機関、地域住民や圏域の居宅サービス関係者等、専門的な支援方法などの助言を受け、支援計画と効果的なサービス提供につなげ高齢者の自立支援につなげました。
2. 本人、家族、近隣の住民、地域のネットワークを活用して高齢者への個別訪問、情報収集等を行い。閉じこもり、フレイル等の懸念のある高齢者の把握に努め、高齢者の心身の状況や家族についての実態把握を行いました。
3. 新型コロナウイルス感染症予防対策に関しては5類への移行に伴い、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に国や県の通知に合わせ、訪問や各種事業の開催を行いました。

【　利　用　状　況　】

1. 相　談　事　業

(1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	122	134	136	109	176	118	125	178	141	95	102	118	1,554
来所	42	37	46	40	54	35	45	32	36	96	26	47	536
訪問	195	205	212	196	203	207	217	208	189	121	182	145	2,280
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	359	376	394	345	433	360	387	418	366	312	310	310	4,370

(2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	246	270	243	250	257	263	272	312	255	215	234	220	3,037
家族	47	43	79	48	83	40	46	51	62	43	46	53	641
ケアマネ	18	27	23	19	20	14	29	12	12	10	10	8	202
サービス事業所	6	2	11	3	7	5	10	21	16	4	1	3	89
医療機関	15	8	13	11	16	7	2	5	15	19	3	13	127
民生委員・区長	4	4	1	4	1	3	4	4	3	1	1	1	131
社協	0	3	4	2	0	0	4	1	2	0	4	0	20
行政関係	22	10	14	10	39	28	15	8	8	9	8	9	180
その他	13	9	6	4	10	2	5	4	4	7	4	3	71
計	371	376	394	351	433	362	387	418	377	308	311	310	4,498

(3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	78	86	104	90	161	77	101	153	85	67	52	85	1,139
	実態把握	3	3	3	1	8	9	2	11	8	0	9	4	75
	認知症関係	0	11	13	4	10	12	6	5	6	6	6	5	84
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	虐待関係	2	1	8	1	2	0	0	0	2	5	0	1	86
	成年後見関係	4	4	5	4	5	0	4	4	0	5	5	1	41
	消費者被害	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防ケアマネジメント	要支援・事業対象者	240	239	248	214	241	251	258	238	236	203	214	199	2,781
	福祉サービス	1	8	8	15	0	2	12	5	8	3	4	3	69
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括的・継続的ケアマネジメント	ケアマネジメント支援	16	11	6	7	6	2	4	2	5	13	6	4	85
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		359	376	394	345	433	360	387	418	366	302	303	310	
予防給付関係	給付管理件数	215	211	211	209	208	210	211	210	211	203	201	196	2,496
	(内委託件数)	25	25	24	23	24	28	29	26	27	28	29	27	315
計		215	211	211	209	208	210	211	210	211	203	201	196	2,496

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R5.11.21	恵泉会財務会計・管理会計研修	あすの監査法人	職員1名
R5.12.04	法令順守、感染症予防	管理者・看護師	職員5名
R6.01.29	恵泉会リーダー研修	あけぼの会	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R5.05.01	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.02	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.08	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.09	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.16	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.24	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.26	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.05.31	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.06.01	令和5年度和話輪推進研修	登米市	迫公民館	職員2名
R5.06.01	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.06.20	令和5年度認知症カフェ研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R5.06.30	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	迫公民館	職員1名
R5.07.17	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R5.07.24	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R5.07.28	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.07.31	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R5.08.05	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R5.09.01	恵泉会人事考課者管理職研修	恵泉会	恵泉会在宅支援棟	職員1名
R5.10.11	令和5年度管内地域課題解決研修	宮城県東部保健福祉事務所	石巻合同庁舎	職員1名
R5.10.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名

R5.11.09	令和5年度登米市権利擁護研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.11.16	令和5年度在宅医療・介護連携研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.12.05	地域づくり研修	社会福祉協議会	迫老人福祉センター	職員1名
R5.12.07	認知症対応研修	登米市	南方庁舎	職員2名
R5.12.08	令和5年度地域課題情報研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.12.15	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等課題別研修会	宮城県	Web	職員1名
R6.01.17	令和5年度介護BCP策定支援セミナー	厚生労働省老健局	Web	職員1名
R6.01.22	令和5年度第1回市町村セミナー	東北厚生局	Web	職員1名
R6.01.24	令和5年度介護BCP策定支援セミナー	厚生労働省老健局	Web	職員1名
R6.01.29	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	宮城県	Web	職員1名
R6.01.30	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	宮城県	Web	職員1名
R6.02.08	登米市在宅医療・介護連携座談会	登米市	登米市民病院	職員1名
R6.02.14	令和5年度東部保健福祉事務所管内地域課題解決研修「ファシリテーション」	宮城県東部保健福祉事務所	石巻合同庁舎	職員1名
R6.02.19	宮城県認知症初期自立支援研修	宮城県	Web	職員1名
R6.02.27	令和5年度認知症地域ケア研修	宮城県	南方庁舎	職員1名
R6.03.05	令和5年度ケアマネジャーケアスタッフ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協会	登米市民病院	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第4火曜日	管理者他1名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開 催 日	内　容	場　所	出　席　者
R5.04.04	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R5.04.11	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.04.13	癒しの音楽カフェ	みやぎ生協加賀野店	職員2名
R5.04.13	はさま元気応援研修会担当者打ち合わせ	迫支所内	職員1名
R5.04.26	職種別事業推進会議(保健師・看護師)	南方庁舎	職員1名
R5.04.27	職種別事業推進会議(主任介護支援専門員)	南方庁舎	職員2名
R5.04.27	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.05.11	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎	職員2名
R5.05.15	そ・えーる登米(YouTube)打ち合わせ	そ・えーる登米	職員2名
R5.05.18	認知症当事者の話を聞く会	はさまデイサービスセンター	職員1名
R5.05.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員1名
R5.05.25	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R5.05.29	きらり運営推進会議	なごみの家きらり	職員1名
R5.06.12	出前講座(八幡ミニデイサービス咲話会)	八幡親交会館	職員2名
R5.06.13	オレンジチャンネルYouTub撮影	そ・えーる登米	職員2名
R5.06.13	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.06.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員1名
R5.07.03	迫圏域高齢者ネットワーク会議打ち合わせ	迫地域包括支援センター内	職員5名
R5.07.03	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	迫地域包括支援センター内	職員3名
R5.07.06	おでってnet杯第6回グランドゴルフ迫町交流大会	梅ノ木グリーンパーク	職員1名
R5.07.03	在宅医療・介護連携事業「連携会議」	南方庁舎	職員1名
R5.07.12	健康状態不明瞭者の訪問対象者打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R5.07.13	令和5年度認知症患者・家族支援交流会とめゆたり	はさまデイサービスセンター	職員1名
R5.07.14	出前講座「介護予防について」	梅ノ木グリーンパーク集会所	職員2名
R5.07.14	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員2名

R5.07.20	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R5.07.21	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R5.07.27	認知症サポーター養成講座	迫老人福祉センター	職員2名
R5.07.27	出前講座「認知症について」	新田駅前生活センター	職員2名
R5.07.31	関係者調整会議(ケース検討)	迫保健センター	職員1名
R5.08.08	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.08.15	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.08.22	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員2名
R5.08.24	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.08.25	認知症啓発活動打ち合わせ	みやぎ生協加賀野店	職員1名
R5.09.14	認知症サポーターステップアップ講座	南方庁舎	職員1名
R5.09.21	アルツハイマー月間啓発活動	みやぎ生協加賀野店	職員2名
R5.09.26	北方小学校講話「認知症について」	北方小学校	職員2名
R5.09.28	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R5.09.28	デイサービスプラスワ運営推進会議	登米中央商工会館	職員1名
R5.09.28	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.09.29	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R5.10.05	福寿大学事前打ち合わせ	迫総合支所	職員2名
R5.10.10	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.10.12	出前講座(佐沼川東友楽会)	錦区集会所	職員2名
R5.10.18	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員2名
R5.10.19	令和5年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	南方庁舎	職員1名
R5.10.23	はさま元気応援研修会担当者打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R5.10.24	佐沼福寿大学学習会「ロコモティブシンドロームについて」	迫公民館	職員2名
R5.10.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.11.02	北方民生委員意見交換会	迫公民館	職員2名
R5.11.07	あんディ・スポルト運営推進会議	あんディ・スポルト	職員1名
R5.11.07	関係者調整会議(ケース検討)	迫保健センター	職員2名
R5.11.08	民協定例会に係る打ち合わせ	迫公民館	職員1名
R5.11.15	登米市迫地域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員4名
R5.11.20	社会福祉士打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R5.11.27	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫総合支所	職員2名
R5.11.29	なごみの家きらり運営推進会議	なごみの家きらり	職員1名
R5.11.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.11.29	出前講座(佐沼駅前行政区ミニデイ)打ち合わせ	迫総合支所	職員2名
R5.11.30	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R5.11.30	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R5.12.07	はさま元気応援研修会	迫公民館軽運動場	職員2名
R5.12.11	はさまデイサービス認知症家族交流会	はさまデイサービスセンター	職員1名
R5.12.12	グループホームはせやま家族会研修会	迫公民館	職員2名
R5.12.12	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.12.18	出前講座(佐沼駅前ミニデイ)	佐沼駅前区集会所	職員2名
R5.12.21	在宅医療・介護連携事業「連携会議」	南方庁舎	職員1名
R5.12.22	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R5.12.22	関係者調整会議(ケース検討)	カーサにしき	職員1名
R5.12.27	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.01.04	関係者調整会議(ケース検討)	登米市民病院	職員2名
R6.01.19	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R6.01.24	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.01.25	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R6.01.26	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R6.01.30	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R6.02.01	職種別事業推進会議社会福祉士反省会	南方庁舎	職員1名
R6.02.06	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R6.02.08	生活圏域地域ケア会議	迫公民館	職員2名
R6.02.13	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.02.27	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員1名

R6.02.28	令和5年度事業評価	迫総合支所	職員2名
R6.02.28	職種別事業推進会議看護師・保健師	南方庁舎	職員1名
R6.02.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.03.06	認知症サポーターステップアップ養成講座	南方庁舎	職員1名
R6.03.12	在宅医療・介護連携事業「連携会議」	南方庁舎	職員1名
R6.03.18	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員2名
R6.03.21	あんディ・まめスポ運営推進会議	あんディ・まめスポ	職員1名
R6.03.21	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 認知症についてより一層の普及と啓発を図るとともに、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の理解の促進と共生できる地域支援の体制の構築を図っていきます。
2. 効率化・効果的な実態把握を通じて、閉じこもり、フレイル等の懸念のある高齢者を見出し、状況に合わせた支援を行なうとともに、高齢者の介護予防を図っていきます。
3. 圏域地域ケア会議から介護予防の重度化防止や、地域課題の発掘に繋げていきます。

令和5年度
サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

【 施 設 概 要 】

1) 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2) 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3) 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日　　平成28年2月1日
5) 事業・利用定員

事　　業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に5類感染症へ移行になりましたが、健康チエックなどの感染対策を行い、入居者と家族・親族の面会・外出・外泊など対面での交流を大切にしてきました。また、恵はあとを会場に新型コロナワクチン接種の実施や日々の感染対策・環境整備など、安心して生活を送っていただけるように努めました。令和5年度はコロナウイルス感染症に罹患した入居者様は2名おりましたが、いずれも感染は拡大することなく終息しております。

入居者の皆様では、趣味活動、近隣への散歩・買い物、畑仕事やディサービスの利用や仕事に通う入居者様のほか、車を運転する入居者様が増え、入居者ごとのライフスタイルを尊重し、それに合った距離感で支援し、継続して元気で明るく暮らしていただけるよう見守りをしています。また買い出しが難しい入居者に対し、月に3回程度、町内のコンビニエンスストアに依頼し、訪問販売の買い物支援を行いました。開設して8年が経過し、入居者様も年齢を重ね、介護サービスを希望される入居者様が増えたことで、法人内のサービス検討会議で話し合いを重ね、安心して生活が出来る環境作りとして、恵泉会とよま介護支援センターとヘルパーステーションが令和5年10月1日付けで同一建物内に移転・設置となりました。また入居者の体調不良時は、バイタルを確認、遠山荘の看護師に相談をし、家族へ連絡するなど、安心と迅速な対応を心がけました。

令和5年度もサービスの検討や地域包括支援センターへパンフレットや料金表を持参し広報活動を行うなどし、経営面の改善を推し進めてきましたが入居率は73%と厳しい状況が続いており、引き続き入居率向上に努めます。

【 重 点 項 目 】

1. 入居者の自主性の尊重
入居者ひとりひとりのライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。

2. 新型コロナウイルス等感染症対策
入居者においては通院・外出・面会等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、感染防止の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗いなどを呼び掛けました。食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温、食堂テーブルには飛沫防止パネルを設置し、食後のテーブルやイスの除菌を行いました。面会、外出・外泊では感染対策と健康チエック表での確認を入居者・ご家族にお願いをしながら、交流の機会を大切にしてきました。

3. 健康の保持
入居者より体調不調の訴えがあった場合は、バイタルを測定し、ご家族へ連絡、迅速な対応を心がけました。また、訪問看護・訪問診療への連絡のほか、遠山荘看護師に体調不良の相談や対応をお願いしています。身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族やケアマネジャーなど関係機関に連絡、情報の共有をし、安心に繋がるように努めました。

4. 避難訓練等の実施
地震や火災などの災害に備えて総合防災訓練や夜間想定の避難訓練を実施したほか、職員は不審者対応として刺股の使い方や緊急搬送の電話のかけ方・救急救命訓練に参加するなどし、安心安全に向けての取り組みを行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　9,675 名
2. 年 間 稼 働 率　　73.43 %
3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自　立	150	155	150	155	155	150	155	170	186	186	174	186	1,972
要支援1	120	124	120	93	93	90	93	90	93	94	116	119	1,245
要支援2	0	0	0	31	31	30	31	30	31	43	58	89	374
要介護 1	330	341	330	310	310	276	261	210	186	186	174	191	3,105
要介護 2	180	179	150	186	186	180	186	210	248	248	232	217	2,402
要介護 3	30	31	30	31	31	31	31	50	62	62	58	62	509
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	26	31	11	0	0	68
計	810	830	780	806	806	757	757	786	837	830	812	864	9,675

4. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
新規入所者数	2	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0		8
退 所 者 数	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1		5
月末入所者数	26	25	25	25	25	24	23	26	26	27	28	27		+ 3

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年月日	内　　容	講師（講演者）	参加者
R5.05.27	個人情報保護法について	管理者	職員8名
R5.06.09	消防設備の取り扱いについて	管理者	職員3名
R5.07.27	キッズつぼみ内部研修参加:刺す股の使い方について	登米警察署	職員2名
R5.09.22	キッズつぼみ内部研修参加:消火器訓練及び防設備の取り扱いについて	登米市消防署	職員1名
R5.10.19	キッズつぼみ内部研修参加:救急救命研修	登米警察署	職員1名
R5.11.15	コンプライアンス研修	管理者	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況
   (1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月1回	管理者・生活相談員

   (2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
R6.09.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.10.19	入居者申込者についての審査(3件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.01.18	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.01.29	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師

R5.08.23	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R6.02.20	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況
   (1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
研修委員会	内部研修の計画と実施	年2回	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	年2回	管理者・生活相談員

【今後の取り組み】

1. 住み慣れた思い出深い自宅を離れ「恵はあと」での生活をはじめられた方々に、これからの人生を「恵はあと」に入居して良かったと思っていただけるような支援を目指していきます。

2. 入居者、ご家族、担当ケアマネジャーと相談をし、必要に応じて外部サービスとも連携をするなど、安心して長期間住むことができるようにすすめてまいります。

3. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催などにより、自助・共助・公助の仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。併設しているキッズつぼみ・とよま居宅介護支援センター・ヘルパーステーションとの連携にも努めるとともに、BCP(事業継続計画)の図上訓練も行います

4. 感染症拡大防止について、国や県の情報や指示のもと、対応します。感染症対策を行いながら、面会・外出・外泊などご家族や地域住民との交流の機会を大切にしていきます。

5. 広報活動の工夫をし、入居者の獲得に努め、入居率のアップと安定した経営を目指します。
職員の配置については必要な時間帯にパート職員を配置し、ヘルパーの兼務をするなど効率的な業務を行い経営の改善に努めます。

6. 入退去時の物件状況の確認を入居者と連帯保証人・職員の双方で行い、退去時の原状回復等のトラブルにならないようにしていきます。

令和5年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

【法 人 総 括】

①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
件数	202	1,043	130	1,375	100.0%
転倒	42	148	24	214	15.5%
転落	24	116	15	155	11.3%
誤嚥	1	3	4	8	0.6%
異食	9	14	0	23	1.7%
加害行為	5	20	1	26	1.9%
器物破壊	4	7	9	20	1.5%
投薬ミス	6	43	12	61	4.4%
施設外飛び出し	11	12	6	29	2.1%
送迎・訪問	3	6	21	30	2.2%
設備不良	2	2	0	4	0.3%
連絡ミス	2	5	2	9	0.7%
自傷	1	129	4	134	9.7%
介護・支援ミス	21	253	7	281	20.4%
食事提供ミス	25	38	1	64	4.7%
その他	46	247	24	317	23.0%
（内出血）	(0)	(37)	(0)	(37)	(2.7%)
（擦過傷）	(0)	(20)	(1)	(21)	(1.5%)
（私物返し忘れ）	(9)	(87)	(3)	(99)	(7.2%)
（上記以外）	(37)	(103)	(20)	(160)	(11.6%)
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	202	1,043	130	1,375	100.0%

②苦情処理

	苦情処理
合計	2

Ⅰ. 受付方法

来所	0
電話	2
訪問	0
文書	0
その他	0
計	2

Ⅱ. 苦情の分類

ケアの内容	0
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理（遺産・遺言）	0
その他	2
（公用車の運転マナーについて）	(1)
（火災通報装置誤作動による対応不足と職員への教育不足について）	(1)
計	2

Ⅲ. 第三者委員関連（申出人の希望）

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	2
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	2